

愛知県美術館年報

目次

収集・保存・管理

1	収集	4
	収集方針	
	収集委員会	
	新収蔵品と収集の状況	
	美術品等取得基金について	
	新収蔵作品	
	収集作品一覧	
	購入／寄贈／管理換え等	
	寄託	
2	保存	31
	保存事業の実施状況	
3	管理	33
	所蔵作品管理状況	
	作品の管理	
	作品の貸出	
	貸出の概要	
	木村定三コレクションの調査研究および公開	
	藤井達吉関係資料の調査研究および公開	

展示・教育普及

1	コレクション展	34
	展示の概要	
	コレクション展の開催状況と入場者数	
	コレクション展 展示作品リスト	
	コレクション企画	
	APMoA Project, ARCH	
	移動美術館	
	愛知県陶磁美術館での長期展示	
2	企画展	49
	企画展の入場者数	
	企画展の開催状況	
3	関連事業	57
	あいちトリエンナーレ2016	
4	映像事業	58
	愛知県美術館コレクション作品上映会	
	第21回アートフィルム・フェスティバル	
	愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル	
	映像作品の制作	
5	教育普及	59
	教育普及事業の実施状況	
	出版・発行	
	講演会・シンポジウム・展示説明会・関連イベント等	
	各種教育プログラム	
	各種団体による鑑賞への対応	
	博物館実習生の受け入れ	
	学生アシスタントの受け入れ	
	美術館友の会との協力	

調査研究	66
------	----

防災	70
----	----

ギャラリー（貸館）	71
美術館ギャラリー利用状況	
利用団体一覧	

組織および職員構成	74
-----------	----

関係委員会名簿	75
---------	----

収集・保存・管理

1 収集

収集方針

- ・20世紀の優れた国内外の作品及び20世紀の美術動向を理解する上で役立つ作品
- ・現在を刻印するにふさわしい作品
- ・愛知県としての位置をふまえた特色あるコレクションを形成する作品
- ・上記の作品・作家を理解する上で役立つ資料

収集委員会（委員名簿は75頁）

開催日：第1回 2016年4月25日
第2回 2016年12月1日

新収蔵品と収集の状況

上記の収集方針にそって87件の作品を購入し、127件の作品の寄贈を受け、合計214件の作品を新たに収集した。また3件の管理換え等を行った。

美術品収集状況

種 別	購 入		受 贈	管理換え等
	件 数	金額(円・税込)	件 数	件 数
日 本 画	0	0	0	0
絵 画	6	574,732,000	10	0
水 彩・素 描	0	0	1	0
彫 刻・立 体	8	23,382,000	67	1
インスタレーション	0	0	0	0
版 画	0	0	38	0
写 真	29	31,489,800	9	0
映 像	39	5,259,600	0	2
工 芸	0	0	0	0
書	0	0	0	0
考 古 遺 物	0	0	0	0
資 料	5	2,084,400	2	0
計	87	636,947,800	127	3

所蔵作品全体の状況（2017（平成29）年3月末現在／単位：件）

区分		工芸	書	水彩・素描	写真	インスタレーション	日本画	資料	絵画	版画	考古遺物	彫刻・立体	映像	合計
		FA/JA	FC/JC	FD/JD	FF/JF	FI/JI	FJ/JJ	FM/JM	FO/JO	FP/JP	FR/JR	FS/JS	FV/JV	
旧館（愛知県文化会館）から引き継いだもの	購 入	0	0	238	0	0	101	43	320	64	0	26	0	792
	寄 贈	952	70	75	0	0	435	31	67	44	0	3	0	1677
	管理換え等	0	0	0	0	0	18	9	15	0	0	0	0	42
愛知県美術館がH28年度までに収集したもの	基金購入	1	0	141	36	4	40	6	147	320	0	89	42	826
	寄附金購入	0	0	0	0	0	1	0	6	2	0	0	0	9
	一般財源購入	0	0	14	0	0	0	0	15	6	0	12	0	47
	寄 贈	1235	217	447	214	0	642	247	448	450	239	317	1	4457
	管理換え等	5	0	0	0	0	12	13	5	2	0	3	2	42
文化情報センターから	管理換え等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	23
以上全合計	購 入	1	0	393	36	4	142	49	488	392	0	127	42	1674
	寄 贈	2187	287	522	214	0	1077	278	515	494	239	320	1	6134
	管理換え等	5	0	0	0	0	30	22	20	2	0	3	25	107
総 計		2193	287	915	250	4	1249	349	1023	888	239	450	68	7915

上記の内、一括コレクションの内訳

藤井達古コレクション	957	70	3	0	0	408	19	10	10	0	0	0	1477
木村定三コレクション	1231	217	186	0	0	582	222	252	148	239	228	0	3305

美術品等取得基金について

愛知県美術館と愛知県陶磁資料館（現愛知県陶磁美術館）が、芸術的価値の高い美術品等を機動的、継続的に収集するための財源として1988（昭和63）年4月に設置された。基金には、県からの積立金のほかに、美術品等の収集を支援する民間からの寄附金が含まれている。

運用状況（2017（平成29）年3月末現在）

基金総額		122億6,788万4,589円
運用内訳	美術品	109億6,630万9,127円
	現 金	13億157万5,462円

*内、美術館所蔵作品は、835件

新収蔵作品

美術品等取得基金による購入は、2007～2009（平成19～21）年度に3ヶ年で陶磁資料館（現陶磁美術館）と合わせ1億2千万円（内、美術館9千万円）という執行枠が設けられ、2010～2012（平成22～24）年度、2013～2015（平成25～27）年度、2016～2018（平成28～30）年度の各3ヶ年についても同様となっている。この金額で収集方針に則した中心的な作品の購入は容易でないが、2008（平成20）年度に安井曾太郎、2011（平成23）年度に梅原龍三郎、2014（平成26）年度に奈良美智の絵画を購入し、さらに2011（平成23）年度には企業からの寄附金2億円によってフェルナン・レジェの油彩を、2012（平成24）年度には個人からの寄附金3億円によりポール・ゴーギャンの油彩と版画を購入することができた。

2016（平成28）年度は、個人からの寄附金によりエドヴァルド・ムンクの絵画を購入することができた。基金による購入では、現代彫刻を牽引する作家の一人であいちトリエンナーレ2016出展作家でもあるマーク・マンダースの作品や、具体美術協会（具体）の主要メンバーであった田中敦子の絵画を選んだ。また、前衛グループ「ゼロ次元」に関連する映像・資料43件を一括購入したほか、現代までの国内外の動向を示す絵画4件、彫刻・立体6件、写真29件、映像1件を購入した。作家やその遺族、収集家から、展覧会や日常的な調査等を機に127件を受贈した。また管理換え等として、愛知県産業貿易館（名古屋市中区）の解体にともない引き取った作品1件、オリジナル映像制作成果物の新規登録作品が2件ある。

収集作品一覧

作品データは、掲載番号、種別に続けて、作家名、作品名、制作年、技法・材質、寸法（平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行、映像作品は時間、画面比率）を和英で記載し、所蔵作品登録番号、寄贈者名を付した。

購入作品（基金）（87件）

1 絵画

エドヴァルド・ムンク
イブセン『幽霊』からの一場面

1906年
テンペラ、画布
45.7×76.5 cm

Edvard MUNCH
Scene from Ibsen's *Ghosts*
1906
tempera on canvas
45.7×76.5 cm

FO201600001000
寺島八千代氏からの寄附金による購入



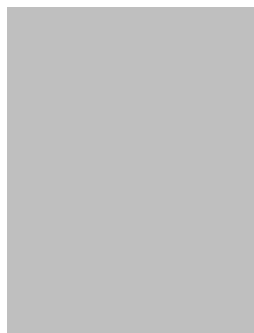
2 絵画

阿部芳文（展也）
雑誌『みちるべ』表紙原画

1943年
混合技法、紙
31.0×23.5 cm

ABE Yoshifumi (Nobuya)
Cover Image for the Magazine *Tagapaguturo*
1943
mixed media on paper
31.0×23.5 cm

JO201600001000



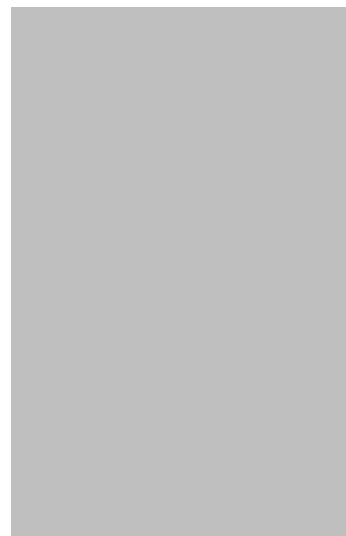
3 絵画

O JUN
オリルコ

2013年
油彩、画布
290.0×190.0 cm

O JUN
ORIRUCO
2013
oil on canvas
290.0×190.0 cm

JO201600002000



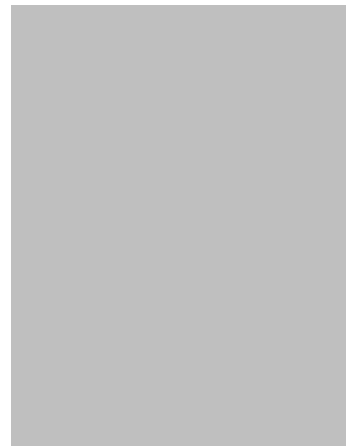
4 絵画

サイモン・フジワラ
驚くべき獣たち（貧しい男の背中）

2015年
毛を刈った毛皮のコート、木材
145.5×110.2×2.6 cm

Simon FUJIWARA
Fabulous Beasts (Poor Man's Back)
2015
shaved fur coat on wooden stretcher
145.5×110.2×2.6 cm

FO201600002000



5 絵画

田中敦子
Untitled

1967年
合成樹脂塗料、画布
96.0×194.0 cm

TANAKA Atsuko
Untitled
1967
synthetic resin paint on canvas
96.0×194.0 cm

JO201600003000



6 絵画

内藤礼
color beginning

2014年
アクリル絵具、画布
97.0×116.0 cm

NAITO Rei
color beginning
2014
acrylic on canvas
97.0×116.0 cm

JO201600004000



7 彫刻・立体

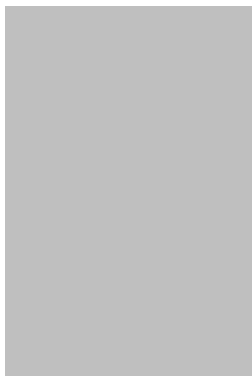
加納光於／大岡信

アララットの船あるいは空の蜜

1971-72年
木・金属・ガラス他
68.0×44.2×22.8 cm

KANO Mitsuo/ OOKA Makoto
Ship for Ararat – Honey of the Sky
1971-72
wood, metal, glass etc.
68.0×44.2×22.8 cm

JS201600001000



8 彫刻・立体

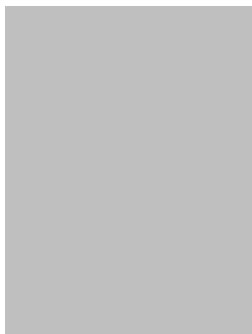
寺内曜子

Hot Line 68

1986年
イギリス製電話ケーブル
148.0×138.0×105.0 cm

TERAUCHI Yoko
Hot Line 68
1986
telephone cable (British)
148.0×138.0×105.0 cm

JS201600002000



9 彫刻・立体

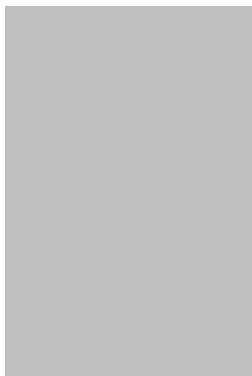
内藤礼

ひと

2016年
アクリル絵具、木
5.0×1.5×1.0 cm

NAITO Rei
human
2016
acrylic on wood
5.0×1.5×1.0 cm

JS201600003000



10 彫刻・立体

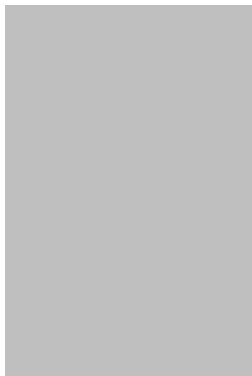
内藤礼

ひと

2016年
アクリル絵具、木
5.4×1.5×1.0 cm

NAITO Rei
human
2016
acrylic on wood
5.4×1.5×1.0 cm

JS201600004000



11 彫刻・立体

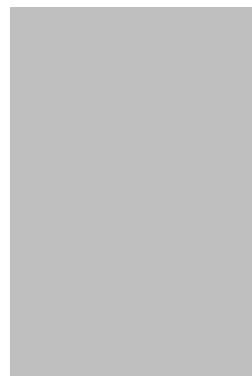
内藤礼

ひと

2016年
アクリル絵具、木
4.7×1.5×0.95 cm

NAITO Rei
human
2016
acrylic on wood
4.7×1.5×0.95 cm

JS201600005000



12 彫刻・立体

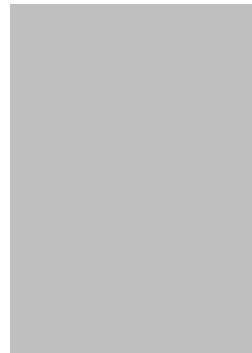
マーク・マンダース

Dry Clay Figure

2014年
彩色したブロンズ・木
101.3×42.0×45.1 cm

Mark MANDERS
Dry Clay Figure
2014
painted bronze, wood
101.3×42.0×45.1 cm

FS201600001000



13 彫刻・立体

吉田哲也

Untitled

1998年
トタン・はんだ
0.4×18.5×1.5 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1998
galvanized iron sheet, solder
0.4×18.5×1.5 cm

JS201600006000



14 彫刻・立体

吉田哲也

Untitled

1998年
トタン・はんだ
0.8×21.0×3.7 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1998
galvanized iron sheet, solder
0.8×21.0×3.7 cm

JS201600007000



15 写真

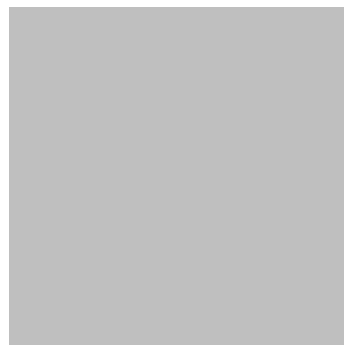
新井卓

上野町から掘り出された腕時計／長崎原爆資料館のための多焦点モニュメント、マケットNo.3 「EXPOSED IN A HUNDRED SUNS／百の太陽に灼かれて」シリーズより

2014年／2016年
ダゲレオタイプ
50.0×50.0 cm

ARAI Takashi
A Maquette for a Multiple Monument for the Wristwatch Dug Up from Ueno-machi No. 3, Nagasaki Atomic Bomb Museum, from the series of *EXPOSED IN A HUNDRED SUNS*
2014/ 2016
daguerreotype
50.0×50.0 cm

JF201600001000



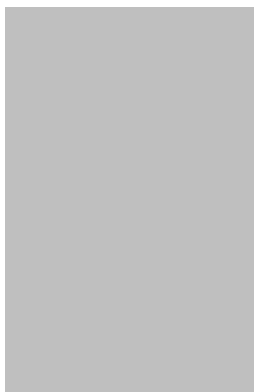
16 写真

オノデラユキ
Transvest-Robert

2002年
ゼラチン・シルバー・プリント
194.0×128.0 cm

ONODERA Yuki
Transvest-Robert
2002
gelatin silver print
194.0×128.0 cm

JF201600002000



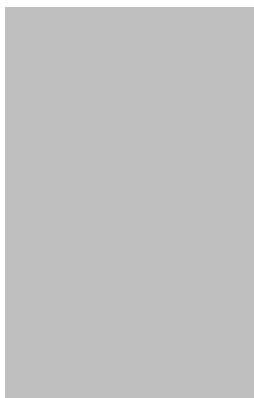
17 写真

オノデラユキ
Transvest-Claude

2003年
ゼラチン・シルバー・プリント
188.0×123.0 cm

ONODERA Yuki
Transvest-Claude
2003
gelatin silver print
188.0×123.0 cm

JF201600003000



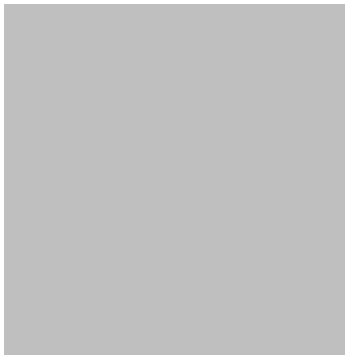
18 写真

北野謙
東京ドーム／東京、No.1「溶游する都市」
シリーズより

1990年／2010年
ゼラチン・シルバー・プリント
158.8×142.2 cm

KITANO Ken
Tokyo Dome, Tokyo, No. 1, from the series
of *Flow and Fusion*
1990/ 2010
gelatin silver print
158.8×142.2 cm

JF201600004000



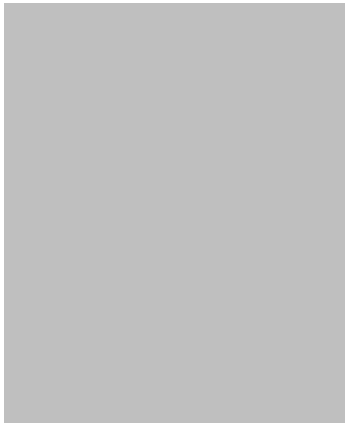
19 写真

北野謙
バリ舞踏の踊り子17人を重ねた肖像、2009
年9月29日、30日、インドネシア、バリ島、
ウブド村、No.1「our face」シリーズより

2010年
ゼラチン・シルバー・プリント
177.5×142.6 cm

KITANO Ken
17 performers of traditional Balinese dance,
September 29 and 30, 2009, Ubud, Bali,
Indonesia, No. 1, from the series of *our face*
2010
gelatin silver print
177.5×142.6 cm

JF201600005000



20 写真

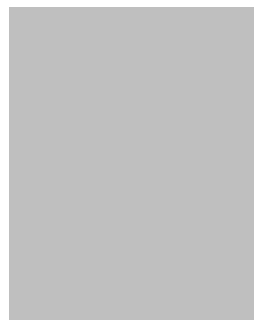
北野謙
2014年香港反政府デモ“雨傘革命”に参加す
る25人を重ねた肖像、2014年10月12日、
13日、14日、占拠エリア（金鐘、銅鑼湾、旺角）
香港 No.2「our face」シリーズより

2014年
ゼラチン・シルバー・プリント
177.0×142.2 cm

KITANO Ken
25 participants at 2014 Hong Kong protests
“Umbrella Revolution” October 12-14, 2014,
occupied area (Admiralty, Causeway Bay,
Mong kok) , Hong Kong, No. 2, from the
series of our face

2014
gelatin silver print
177.0×142.2 cm

JF201600006000



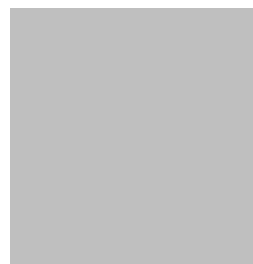
21 写真

東松照明
上野町から掘り出された腕時計

1961年／2016年
インクジェット・プリント
42.0×29.7 cm（シートサイズ）

TOMATSU Shomei
A wristwatch dug up from Ueno-machi
1961/ 2016
inkjet print
42.0×29.7 cm（sheet size）

JF201600007000



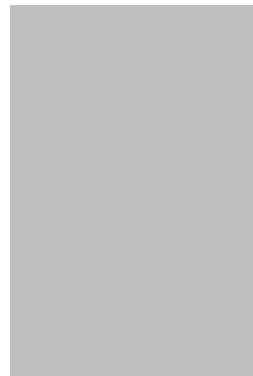
22 写真

畠山直哉
Blast #03906

1997年／2013年
発色現像方式印画
150.0×100.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Blast #03906
1997/ 2013
chromogenic print
150.0×100.0 cm

JF201600008000



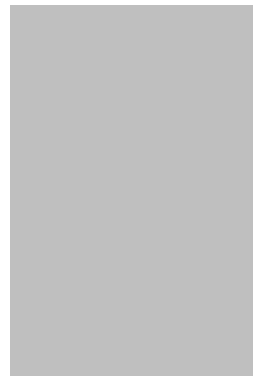
23 写真

畠山直哉
Blast #03911

1997年／2013年
発色現像方式印画
150.0×100.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Blast #03911
1997/ 2013
chromogenic print
150.0×100.0 cm

JF201600009000



24 写真

畠山直哉
Blast #13609

2007年／2013年
発色現像方式印画
100.0×150.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Blast #13609
2007/ 2013
chromogenic print
100.0×150.0 cm

JF201600010000



25 写真
畠山直哉
Lime Hills (Quarry Series) LH22107

1988年／2008年
発色現像方式印画
30.8×38.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Lime Hills (Quarry Series) LH22107
1988/ 2008
chromogenic print
30.8×38.0 cm

JF201600011000

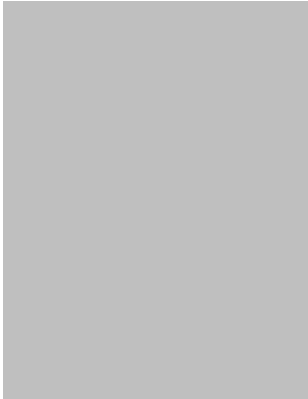
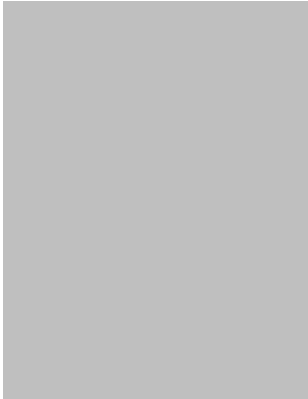


30 写真
シャルル・フレジェ
WINNER FACE

2002年
発色現像方式印画
各30.5×24.0 cm (14点組)

Charles FRÉGER
WINNER FACE
2002
chromogenic print
30.5×24.0 cm each (14 sheets)

FF201600001000



26 写真
畠山直哉
Lime Hills (Quarry Series) LH23514

1988年／2002年
発色現像方式印画
30.8×38.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Lime Hills (Quarry Series) LH23514
1988/ 2002
chromogenic print
30.8×38.0 cm

JF201600012000

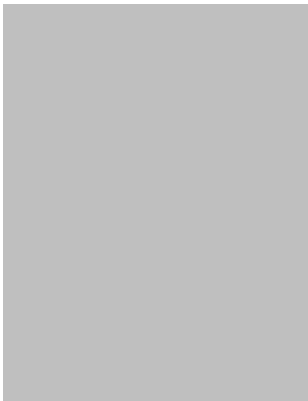
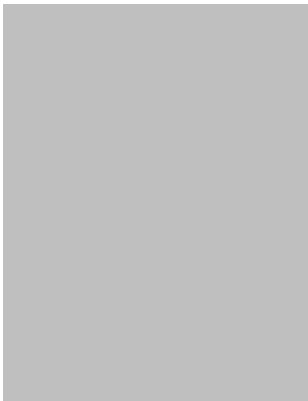


27 写真
畠山直哉
Lime Hills (Quarry Series) LH27403

1989年／2002年
発色現像方式印画
30.8×38.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Lime Hills (Quarry Series) LH27403
1989/ 2002
chromogenic print
30.8×38.0 cm

JF201600013000

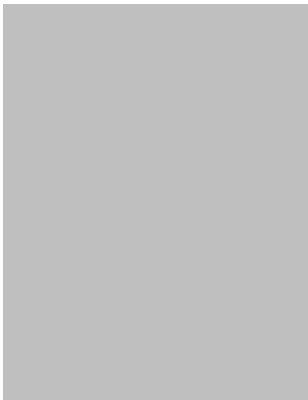
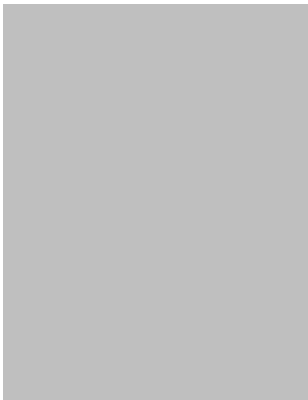


28 写真
畠山直哉
Lime Hills (Quarry Series) LH27515

1989年／2002年
発色現像方式印画
30.8×38.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Lime Hills (Quarry Series) LH27515
1989/ 2002
chromogenic print
30.8×38.0 cm

JF201600014000



29 写真
畠山直哉
Lime Hills (Quarry Series) LH29214

1990年／2016年
発色現像方式印画
30.8×38.0 cm

HATAKEYAMA Naoya
Lime Hills (Quarry Series) LH29214
1990/ 2016
chromogenic print
30.8×38.0 cm

JF201600015000



31 写真

シャルル・フレジェ
WILDER MANN クランプス オーストリア
バート・ミッテルンドルフ

2010-11年
インクジェット・プリント
101.0×71.0 cm

Charles FRÉGER
Krampus, Bad Mitterndorf, Austria,
WILDER MANN
2010-11
inkjet print
101.0×71.0 cm

FF201600002000

32 写真

シャルル・フレジェ
WILDER MANN ソヴァージュ スイス ル・
ノワールモン

2010-11年
インクジェット・プリント
101.0×72.0 cm

Charles FRÉGER
Sauvages, Le Noirmont, Switzerland,
WILDER MANN
2010-11
inkjet print
101.0×72.0 cm

FF201600003000

33 写真

シャルル・フレジェ
WILDER MANN カブラ（山羊）ルーマニ
アマリニ フモール修道院

2010-11年
インクジェット・プリント
101.0×73.0 cm

Charles FRÉGER
Capra (Goat) , Mălini, Mănăstirea
Humorului, Romania, WILDER MANN
2010-11
inkjet print
101.0×73.0 cm

FF201600004000

34 写真

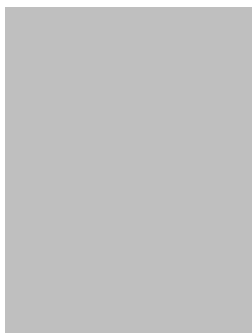
シャルル・フレジェ
YOKAINOSHIMA カセ鳥 山形県上市カ
セ鳥

2013-15年
インクジェット・プリント
101.0×75.0 cm

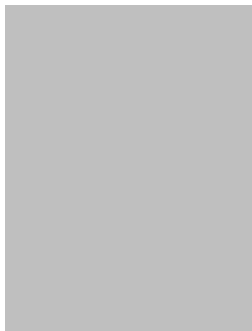
Charles FRÉGER
KASEDORI, Kaminoyama, Yamagata
Prefecture, Kasedori Festival,
YOKAINOSHIMA
2013-15
inkjet print
101.0×75.0 cm

FF201600005000

35 写真
シャルル・フレジェ
YOKAINOSHIMA 雄鹿 愛媛県西予市遊子
谷遊子谷七鹿踊り
2013-15年
インクジェット・プリント
101.0×76.0 cm
Charles FRÉGER
ONJISHI, Yusutani, Seiyō, Ehime
Prefecture, Yusutani Nanatsushika Odori,
YOKAINOSHIMA
2013-15
inkjet print
101.0×76.0 cm
FF201600006000



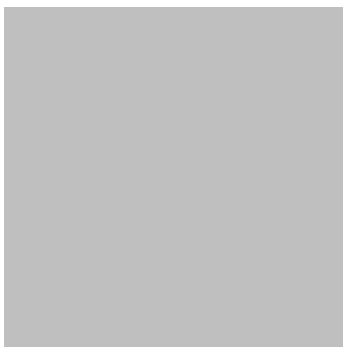
36 写真
シャルル・フレジェ
YOKAINOSHIMA オネオンデの踊り子 長
崎県瀬江島狩立オネオンデ
2013-15年
インクジェット・プリント
101.0×76.0 cm
Charles FRÉGER
ONEONDE NO ODORIKO, Karitate,
Fukuejima, Nagasaki Prefecture, Oneonde
Festival, YOKAINOSHIMA
2013-15
inkjet print
101.0×76.0 cm
FF201600007000



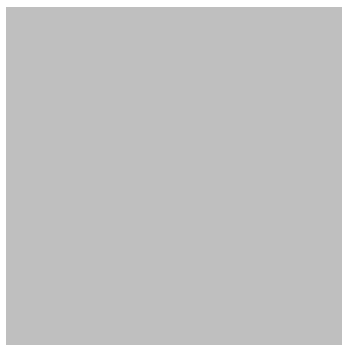
37 写真
ヴィック・ムニース
サンドキャッスル3番 「サンドキャッスル」
シリーズより
2014年
発色現像方式印画
101.6×120.65 cm
Vik MUNIZ
Sandcastle #3, Series of *Sandcastle*
2014
chromogenic print
101.6×120.65 cm
FF201600008000



38 写真
米田知子
マーラーの眼鏡—交響曲（未完成）第10
番の楽譜を見る 「Between Visible and
Invisible」シリーズより
1999年
ゼラチン・シルバー・プリント
75.0×75.0 cm
YONEDA Tomoko
Mahler's Glasses—Viewing his last Symphony
No. 10, from the series of *Between Visible and
Invisible*
1999
gelatin silver print
75.0×75.0 cm
JF201600016000



39 写真
米田知子
藤田嗣治の眼鏡—日本出国を助けたシャーマン
GHQ民政官に送った電報を見る 「Between
Visible and Invisible」シリーズより
2015年
ゼラチン・シルバー・プリント
75.0×75.0 cm
YONEDA Tomoko
Foujita's Glasses—Viewing a telegram he
sent to GHQ officer Sherman who helped
him leave Japan, from the series of *Between
Visible and Invisible*
2015
gelatin silver print
75.0×75.0 cm
JF201600017000



40 写真
米田知子
森—ソンムの戦いがあった森／デルピルの
森・フランス 「Scene」シリーズより
2000年
発色現像方式印画
75.5×96.0 cm
YONEDA Tomoko
Forest—Location of the Battle of Somme,
Delville Wood, France, from the series of
Scene
2000
chromogenic print
75.5×96.0 cm
JF201600018000



41 写真
米田知子
道—サイパン島在留邦人玉砕があった崖に続
く道 「Scene」シリーズより
2003年／2016年
発色現像方式印画
75.5×96.0 cm
YONEDA Tomoko
Path—Path to the cliff where Japanese
committed suicide after the American
landings, Saipan, from the series of *Scene*
2003/ 2016
chromogenic print
75.5×96.0 cm
JF201600019000



42 写真
米田知子
地雷原—地雷が埋まっている休憩所／非武装
地帯・坡州・韓国 「Scene」シリーズより
2004年
発色現像方式印画
75.5×96.0 cm
YONEDA Tomoko
Minefield—View of minefield located by
tourist attraction in the Demilitarized Zone,
Paju City, South Korea, from the series of
Scene
2004
chromogenic print
75.5×96.0 cm
JF201600020000



43 写真
米田知子
プラットフォーム—伊藤博文暗殺現場、ハルビン・中国 「Scene」シリーズより

2007年／2016年
発色現像方式印画
75.5×96.0 cm

YONEDA Tomoko
Platform—Location where Resident-General of Korea and former Prime Minister of Japan, Ito Hirobumi was assassinated by An Jung-geun, a Korean independent activist, Harbin, China, from the series of *Scene*
2007/ 2016
chromogenic print
75.5×96.0 cm

JF201600021000



44 映像
伊藤高志
SPACY

1981年
16mmフィルム、ブルーレイディスク
10分

ITO Takashi
SPACY
1981
16mm film, Blu-ray Disc
10 minutes

JV201600001000



45 映像
ゼロ次元
《いなばの白うさぎ》フィルムおよび編集素材

1970年
16mmフィルム、6mm音声テープ、カセットテープ

—

Zero Jigen
The White Hare of Inaba with unedited footage
1970
16mm film, 6mm audio tape, cassette tape

—

JV201600002000



46 映像
ゼロ次元
《バラモン》および編集素材

1975年頃
16mmフィルム

—

Zero Jigen
The Brahman with unedited footage
ca. 1975
16mm film

—

JV201600003000



47 映像
ゼロ次元
アースデイ

制作年不詳
16mmフィルム

—

Zero Jigen
Ritual for The Earth Day
date unknown
16mm film

—

JV201600004000

48 映像
ゼロ次元
関東学院儀式

制作年不詳
16mmフィルム

—

Zero Jigen
Ritual for Kanto Gakuin University
date unknown
16mm film

—

JV201600005000

49 映像
ゼロ次元
京都、五色園

制作年不詳
16mmフィルム

—

Zero Jigen
Ritual in Kyoto and Goshikien Park
date unknown
16mm film

—

JV201600006000

50 映像
ゼロ次元
九十九里

制作年不詳
16mmフィルム

—

Zero Jigen
Ritual at Kujukuri-hama Seashore
date unknown
16mm film

—

JV201600007000

51 映像
ゼロ次元
五色園

制作年不詳
16mmフィルム

—

Zero Jigen
Ritual at Goshikien Park
date unknown
16mm film

—

JV201600008000

52 映像
ゼロ次元
シベール
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Ritual for *Cybele*
date unknown
16mm film
—

JV201600009000

53 映像
ゼロ次元
超音波と麦畑など
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Ultrasonic Waves Operations and ritual at
barley fields etc.
date unknown
16mm film
—

JV201600010000

54 映像
ゼロ次元
ハレ・クリシュナ（関東学院・名古屋）
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Hare Krishnas at Kanto Gakuin University
and Nagoya
date unknown
16mm film
—

JV201600011000

55 映像
ゼロ次元
万博破壊九州大会
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Expo '70 Destruction Joint-Struggle Group:
Ritual for Anti-War Expo in Kyushu
date unknown
16mm film
—

JV201600012000

56 映像
ゼロ次元
反博（池袋）
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Expo '70 Destruction Black Festival
at Ikebukuro Art Theater
date unknown
16mm film
—

JV201600013000

57 映像
ゼロ次元
反博（男爵、池袋）、五色園
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Expo '70 Destruction Joint-Struggle Group at
Danshaku Restaurant, Kyoto, Ikebukuro, and
Goshikien Park
date unknown
16mm film
—

JV201600014000

58 映像
ゼロ次元
法政大学ほか
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Ritual at Hosei University
date unknown
16mm film
—

JV201600015000

59 映像
ゼロ次元
麦ばたけ、温泉
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Ritual at barley fields and Odaru spa
date unknown
16mm film
—

JV201600016000

60 映像
ゼロ次元
夢の島
制作年不詳
16mmフィルム
—

Zero Jigen
Ritual at Yumenoshima Island
date unknown
16mm film
—

JV201600017000

61 映像
ゼロ次元
イイノホール
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Insanity Trade Fair: Year-end Underground
Festival at Iino Hall
date unknown
8mm film
—

JV201600018000

62 映像

ゼロ次元
こども2人

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Unidentified footages (KATO Yoshihiro, a
boy and a girl)
date unknown
8mm film
—

JV201600019000

63 映像

ゼロ次元
セックス猟奇地帯

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Ritual for Film: *Nippon '69 Sex Bizarre Zone*
date unknown
8mm film
—

JV201600020000

64 映像

ゼロ次元
ブラッケージ風実験映像

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Experimental footage in Stan Brakhage Style
date unknown
8mm film
—

JV201600021000

65 映像

ゼロ次元
明星など

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Unidentified footages
date unknown
8mm film
—

JV201600022000

66 映像

ゼロ次元
メーデーのクロハタ

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Kurohata on May Day
date unknown
8mm film
—

JV201600023000

67 映像

ゼロ次元
レモン、土方

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Lemon and HIJIKATA Tatsumi
date unknown
8mm film
—

JV201600024000

68 映像

ゼロ次元
解体感覚（奇脳舌サーカス）

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Sense of Dismantling (Kinoshita Circus)
date unknown
8mm film
—

JV201600025000

69 映像

ゼロ次元
狂気見本市劇場

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Insanity Trade Fair Theater
date unknown
8mm film
—

JV201600026000

70 映像

ゼロ次元
狂人列島

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Ritual for Film: *The Deserted Archipelago*
date unknown
8mm film
—

JV201600027000

71 映像

ゼロ次元
寺でハイキング、全裸、体操

制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Unidentified footage (hiking at a temple,
buck-naked men, physical exercise)
date unknown
8mm film
—

JV201600028000

72 映像
ゼロ次元
女神に食われた男達の物語
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
A tale of Men Eaten by a Goddess
date unknown
8mm film
—

JV201600029000

73 映像
ゼロ次元
女神に踏まれた男達の物語
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
A tale of Men Stepped over by a Goddess 1
date unknown
8mm film
—

JV201600030000

74 映像
ゼロ次元
上條結婚式、三井浜キャンプ場
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Unidentified footage (KAMIJO's Wedding
Ceremony, Camp at Mitsuihama Seashore)
date unknown
8mm film
—

JV201600031000

75 映像
ゼロ次元
新宿駅前、加藤ほか1人
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Ritual at Shinjuku Station by KATO
Yoshihiro and EIJU Hiro
date unknown
8mm film
—

JV201600032000

76 映像
ゼロ次元
深刻な宇宙 (セックス猟奇地帯)
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Serious Universe (Ritual for Film: *Nippon*
'69 Sex Bizarre Zone)
date unknown
8mm film
—

JV201600033000

77 映像
ゼロ次元
続・王室の花
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Flowers of The Royal Family 2
date unknown
8mm film
—

JV201600034000

78 映像
ゼロ次元
超音波作戦
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Ultrasonic Waves Operations
date unknown
8mm film
—

JV201600035000

79 映像
ゼロ次元
名古屋狂気見本市
制作年不詳
8mmフィルム
—

Zero Jigen
Japan Super-Art Trade Fair
date unknown
8mm film
—

JV201600036000

80 映像
ゼロ次元
王室の花
制作年不詳
レギュラー8mmフィルム
—

Zero Jigen
Flowers of The Royal Family 1
date unknown
regular 8mm film
—

JV201600037000

81 映像
ゼロ次元
アングラポップ
制作年不詳
レギュラー8mmフィルム
—

Zero Jigen
Angura Pop
date unknown
regular 8mm film
—

JV201600038000

82 映像
ゼロ次元
女神に踏まれた男達の物語
制作年不詳
レギュラー8mmフィルム
—
Zero Jigen
A Tale of Men Stepped over by a Goddess 2
date unknown
regular 8mm film
—
JV201600039000

83 資料
ゼロ次元
ゼロ次元音声資料
制作年不詳
6mm音声テープ
—
Zero Jigen
Audio materials
date unknown
6mm audio tape
—
JM201600001000

84 資料
ゼロ次元ほか
ゼロ次元印刷物資料
制作年不詳
雑誌、紙資料ほか
—
Zero Jigen and others
Printed materials
date unknown
magazines and other printed materials
—
JM201600002000

85 資料
北出幸男ほか
ゼロ次元写真資料
制作年不詳
写真
—
KITADE Yukio and others
Photographic materials
date unknown
photographs
—
JM201600003000

86 資料
あさいますお
加藤好弘収集あさいますお関連資料
制作年不詳
雑誌、紙資料ほか
—
ASAI Masuo
Publications by ASAI Masuo collected by
KATO Yoshihiro
date unknown
magazines and other printed materials
—
JM201600004000

87 資料
糸井貫二
光の版画
制作年不詳
写真、スクラップブック
—
ITOI Kanji
Prints of Light
date unknown
a scrapbook with photograms etc.
—
JM201600005000

寄贈作品（127件）

88 絵画
麻生三郎
ハレテイル
1994年
油彩、画布
130.3×194.0 cm
—
ASO Saburo
Clear
1994
oil on canvas
130.3×194.0 cm
—
JO201600005000
麻生美智子氏寄贈



89 絵画
加納光於
《胸壁にて》I
1979年
エンコースティック、紙
26.3×36.2 cm
—
KANO Mitsuo
"At the Chest Wall" I
1979
encaustic on paper
26.3×36.2 cm
—
JO201600006000
作者寄贈



90 絵画
加納光於
《胸壁にて》II
1979年
エンコースティック、紙
26.1×36.1 cm
—
KANO Mitsuo
"At the Chest Wall" II
1979
encaustic on paper
26.1×36.1 cm
—
JO201600007000
作者寄贈



91 絵画
加納光於
《胸壁にて》Ⅲ
1979年
エンコースティック、紙
26.2×37.2 cm

KANO Mitsuo
"At the Chest Wall" III
1979
encaustic on paper
26.2×37.2 cm

JO201600008000
作者寄贈



92 絵画
加納光於
《胸壁にて》Ⅳ
1979年
エンコースティック、紙
26.1×36.4 cm

KANO Mitsuo
"At the Chest Wall" IV
1979
encaustic on paper
26.1×36.4 cm

JO201600009000
作者寄贈



93 絵画
加納光於
《胸壁にて》Ⅴ
1979年
エンコースティック、紙
26.2×36.3 cm

KANO Mitsuo
"At the Chest Wall" V
1979
encaustic on paper
26.2×36.3 cm

JO201600010000
作者寄贈



94 絵画
加納光於
《鱗片のセミオティク》Ⅰ
2000年
油彩、画布
194.0×390.9 cm

KANO Mitsuo
"Semiotics of Scale" I
2000
oil on canvas
194.0×390.9 cm

JO201600011000
作者寄贈



95 絵画
北川民次
トランスのある風景
1962年
油彩、画布
91.0×116.3 cm

KITAGAWA Tamiji
Scenery with Transformers
1962
oil on canvas
91.0×116.3 cm

JO201600012000
加藤多美子氏寄贈



96 絵画
鈴木不知
自画像
1917年
油彩、画布
73.0×53.0 cm

SUZUKI Fuchi
Self-Portrait
1917
oil on canvas
73.0×53.0 cm

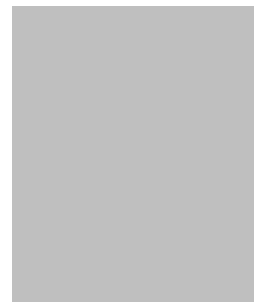
JO201600014000
鈴木康己氏寄贈



97 絵画
三輪美津子
EBBA-No. 7
2002年
油彩、画布
194.0×162.0 cm

MIWA Mitsuko
EBBA-No. 7
2002
oil on canvas
194.0×162.0 cm

JO201600013000
黒田賢三氏寄贈



98 水彩・素描
ジェリー・グレッツィンガー
ジェリーズ・マップ
2013-15年
アクリル・マーカー・色鉛筆・インク・コ
ラージュ・インクジェット・プリント、紙
各25.4×20.3 cm (60枚組)

Jerry GRETZINGER
Jerry's Map
2013-15
acrylic, marker, colored pencil, ink, collage
and inkjet print on heavy paper
25.4×20.3 cm each (60 sheets)

FD201600001000
作者寄贈



99 彫刻・立体
加納光於
ATRIUM—奥庭
1968年
木・金属
22.0×24.2×3.5 cm

KANO Mitsuo
ATRIUM-Back Yard
1968
wood and metal
22.0×24.2×3.5 cm

JS201600008000
作者寄贈



100 彫刻・立体

加納光於
遮るものへ

1969年
木・金属・ガラス他
26.0×15.5×4.2 cm (閉)
26.0×30.3×2.9 cm (開)

KANO Mitsuo
To Unobstructed
1969
wood, metal, glass etc.
26.0×15.5×4.2 cm (closed),
26.0×30.3×2.9 cm (open)

JS201600009000
作者寄贈



104 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅱ

1973年
木・金属・布・弦
57.1×91.0×26.3 cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅱ
1973
wood, metal, cloth and strings
57.1×91.0×26.3 cm

JS201600013000
作者寄贈



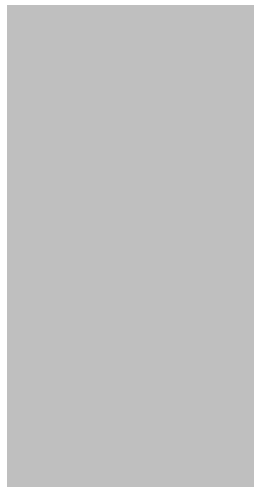
101 彫刻・立体

加納光於
鳩舎ー引力

1972年
木・金属・プラスチック
44.0×15.9×10.6 cm

KANO Mitsuo
Pigeon House-Attraction
1972
wood, metal and plastic
44.0×15.9×10.6 cm

JS201600010000
作者寄贈



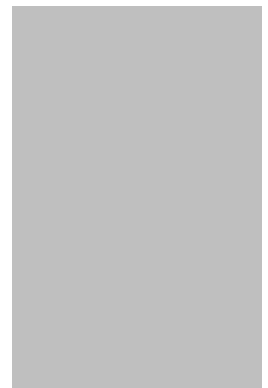
105 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅲ

1973年
木・金属・ガラス他
68.0×45.0×19.6 cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅲ
1973
wood, metal, glass etc.
68.0×45.0×19.6 cm

JS201600014000
作者寄贈



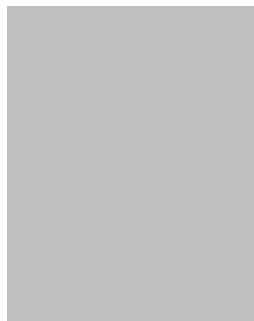
102 彫刻・立体

加納光於
アララットの船あるいは空の蜜(ダイヤグラム)

1972年
木・金属
39.2×31.6×20.5 cm

KANO Mitsuo
Ship for Ararat-Honey of the Sky (Diagram)
1972
wood and metal
39.2×31.6×20.5 cm

JS201600011000
作者寄贈



106 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅳ

1973年
木・金属・ゴム他
30.5×51.0×30.5 cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅳ
1973
wood, metal, rubber etc.
30.5×51.0×30.5 cm

JS201600015000
作者寄贈



103 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅰ

1973年
木・金属
74.0×179.0×31.4 cm (アクリル台を含む)

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅰ
1973
wood and metal
74.0×179.0×31.4 cm (including acrylic
pedestal)

JS201600012000
作者寄贈



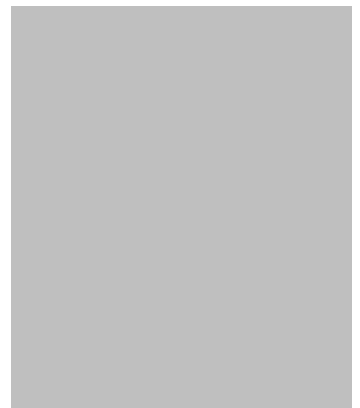
107 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅴ

1973年
木・金属・アクリル他
45.0×38.6×29.0 cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅴ
1973
wood, metal, acrylic etc.
45.0×38.6×29.0 cm

JS201600016000
作者寄贈



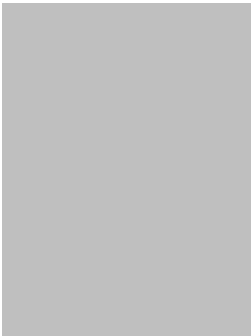
108 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅵ

1973年
木・金属・ワックス他
54.8×41.0×11.0 cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅵ
1973
wood, metal, wax etc.
54.8×41.0×11.0 cm

JS201600017000
作者寄贈



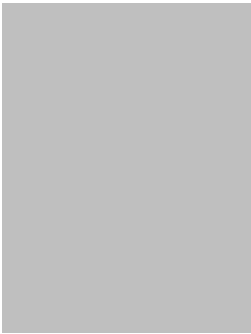
109 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅶ

1973年
木・ガラス・ワックス他
47.9×35.5×5.7 cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅶ
1973
wood, glass, wax etc.
47.9×35.5×5.7 cm

JS201600018000
作者寄贈



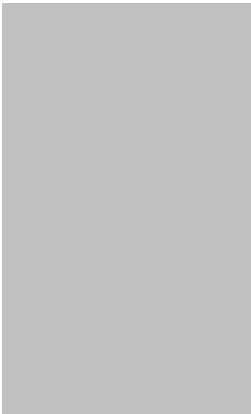
110 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》Ⅷ

1973年
木・金属・ガラス他
42.0×29.8×8.3 cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots" Ⅷ
1973
wood, metal, glass etc.
42.0×29.8×8.3 cm

JS201600019000
作者寄贈



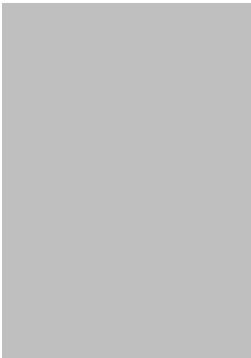
111 彫刻・立体

加納光於
《葡萄弾》蜜蜂のためのモニュメント

1973-97年
木・金属
37.0×23.5（直径）cm

KANO Mitsuo
"Grapeshots": Monument for Bees
1973-97
wood and metal
37.0×23.5（d）cm

JS201600020000
作者寄贈



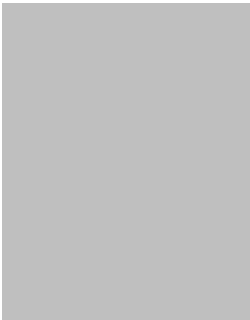
112 彫刻・立体

加納光於
恐るべき重色

1974年
木・金属・絵具他
45.3×35.4×4.8 cm

KANO Mitsuo
Formidable Violet
1974
wood, metal, paint etc.
45.3×35.4×4.8 cm

JS201600021000
作者寄贈



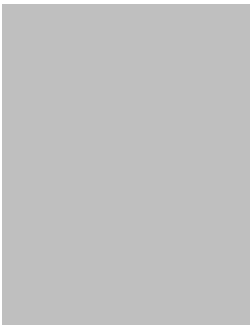
113 彫刻・立体

加納光於
掌のなかの稲妻

1974年
木・金属・羽毛他
30.5×23.5×7.0 cm

KANO Mitsuo
Lightning among the Palm
1974
wood, metal, fethers etc.
30.5×23.5×7.0 cm

JS201600022000
作者寄贈



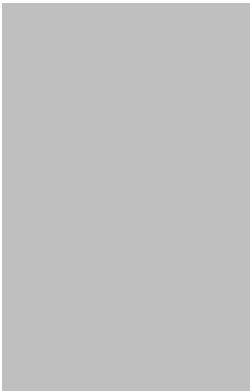
114 彫刻・立体

加納光於
Untitled

1974年
木・金属・絵具
18.3×11.2×6.0 cm

KANO Mitsuo
Untitled
1974
wood, metal and paint
18.3×11.2×6.0 cm

JS201600023000
作者寄贈



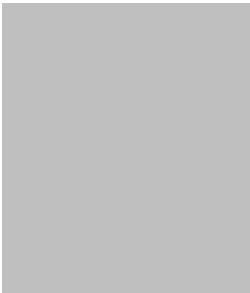
115 彫刻・立体

加納光於
潮だまり

1974年
木・金属・フェルト他
27.6×24.1×6.1 cm

KANO Mitsuo
Tidal Pool
1974
wood, metal, felt etc.
27.6×24.1×6.1 cm

JS201600024000
作者寄贈



116 彫刻・立体

加納光於
『索具一方向引力』

1975年
木・金属・ガラス・紙
37.4×20.8×6.6 cm 31.2×8.2×1.2 cm（本）

KANO Mitsuo
"Rigging-Cubic Attraction"
1975
wood, metal, glass and paper
37.4×20.8×6.6 cm, 31.2×8.2×1.2 cm(book)

JS201600025000
作者寄贈



117 彫刻・立体

加納光於
約束

1975年
木・金属・ガラス
11.8×11.0×4.0 cm (閉)
11.8×21.2×2.4 cm (開)

KANO Mitsuo
Promise
1975
wood, metal and glass
11.8×11.0×4.0 cm (closed)
11.8×21.2×2.4 cm (open)

JS201600026000
作者寄贈



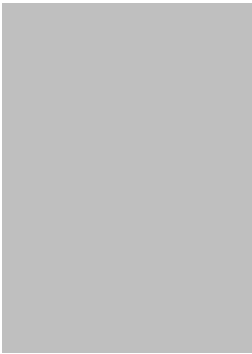
121 彫刻・立体

加納光於
かがやく卵

1975年
木・金属他
29.2×20.4×7.0 cm

KANO Mitsuo
Shining Egg
1975
wood, metal etc.
29.2×20.4×7.0 cm

JS201600030000
作者寄贈



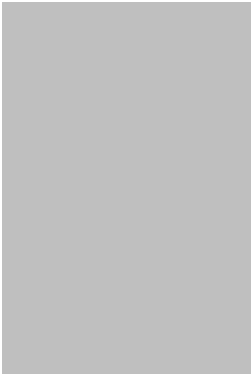
118 彫刻・立体

加納光於
Untitled

1975年
木・金属・胡桃
46.2×29.8×8.6 cm

KANO Mitsuo
Untitled
1975
wood, metal and walnut
46.2×29.8×8.6 cm

JS201600027000
作者寄贈



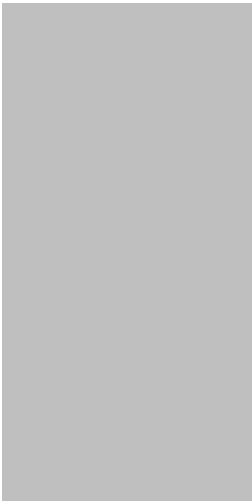
122 彫刻・立体

加納光於
扉をたたくものは誰か

1975年
木・金属・アクリル
38.7×18.1×10.0 cm

KANO Mitsuo
Who Are the Ones That Hit the Door
1975
wood, metal and acrylic
38.7×18.1×10.0 cm

JS201600031000
作者寄贈



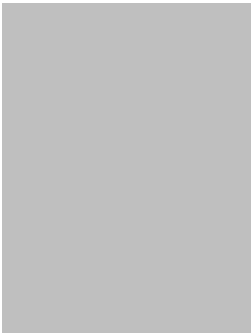
119 彫刻・立体

加納光於
東方の水場へ

1975年
木・金属・コルク他
42.0×31.5×10.3 cm

KANO Mitsuo
East to the Water Park
1975
wood, metal, cork etc.
42.0×31.5×10.3 cm

JS201600028000
作者寄贈



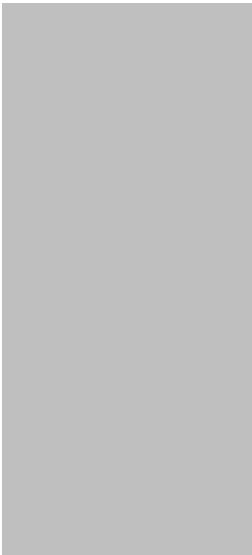
123 彫刻・立体

加納光於
キリマンジャロ・プラン

1975年
金属
43.2×18.1×8.0 cm

KANO Mitsuo
Kilimanjaro Plan
1975
metal
43.2×18.1×8.0 cm

JS201600032000
作者寄贈



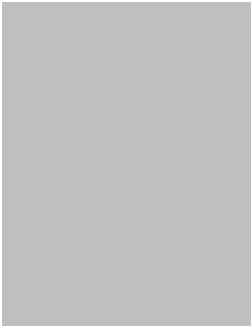
120 彫刻・立体

加納光於
昼顔

1975年
木・金属・胡桃他
30.6×22.6×18.8 cm

KANO Mitsuo
Convolvulus
1975
wood, metal, walnut etc.
30.6×22.6×18.8 cm

JS201600029000
作者寄贈



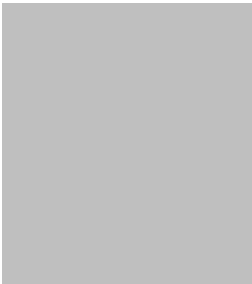
124 彫刻・立体

加納光於
暁に呼ばれて

1975年
木・金属・セルロイド
19.2×17.5×17.1 cm

KANO Mitsuo
It Has Been Called to Dawn
1975
wood, metal and celluloid
19.2×17.5×17.1 cm

JS201600033000
作者寄贈



125 彫刻・立体

加納光於
書物－舵柄、I

1975年
金属・コンクリート・水平器
29.9×30.1×5.0 cm

KANO Mitsuo
Book-Tiller I
1975
metal, concrete and level gauge
29.9×30.1×5.0 cm

JS201600034000
作者寄贈



126 彫刻・立体

加納光於
書物－舵柄、Ⅲ

1975年
金属・コンクリート・水平器
30.0×30.0×5.0 cm

KANO Mitsuo
Book-Tiller III
1975
metal, concrete and level gauge
30.0×30.0×5.0 cm

JS201600035000
作者寄贈



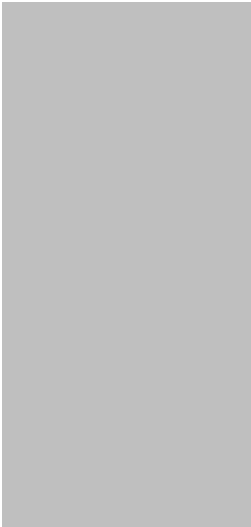
127 彫刻・立体

加納光於
《日誌》

1975-97年
木・金属・紙・ワックス
54.0×18.1×22.8 cm

KANO Mitsuo
"Diary"
1975-97
wood, metal, paper and wax
54.0×18.1×22.8 cm

JS201600036000
作者寄贈



128 彫刻・立体

加納光於
立ちあがる水

1976年
木・金属・紙・絵具
32.6×26.0×5.2 cm

KANO Mitsuo
Stand Up Water
1976
wood, metal, paper and paint
32.6×26.0×5.2 cm

JS201600037000
作者寄贈



129 彫刻・立体

加納光於
Untitled

1978年
木・金属・絵具
25.4×20.0×3.6 cm

KANO Mitsuo
Untitled
1978
wood, metal and paint
25.4×20.0×3.6 cm

JS201600038000
作者寄贈



130 彫刻・立体

加納光於
カラヴァジョオのいる手帖

1979年
木・金属・紙他
29.9×25.3×7.5 cm

KANO Mitsuo
Pocketbook with Caravaggio
1979
wood, metal, paper etc.
29.9×25.3×7.5 cm

JS201600039000
作者寄贈



131 彫刻・立体

加納光於
Untitled

1980年
木・金属・絵具他
33.1×28.3×4.2 cm

KANO Mitsuo
Untitled
1980
wood, metal, paint etc.
33.1×28.3×4.2 cm

JS201600040000
作者寄贈



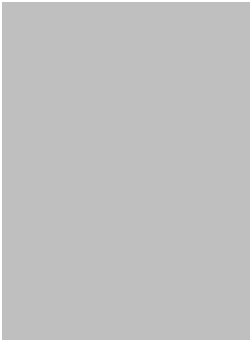
132 彫刻・立体

加納光於
帰還

1981年
木・金属・羽毛
25.2×15.4×7.5 cm

KANO Mitsuo
Return
1981
wood, metal and fethers
25.2×15.4×7.5 cm

JS201600041000
作者寄贈



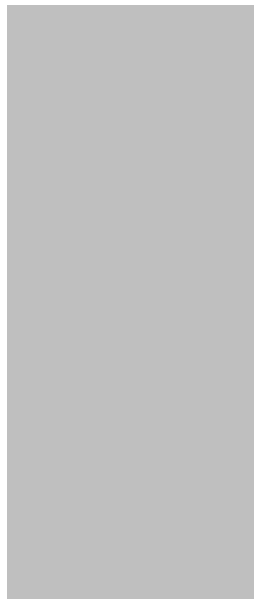
133 彫刻・立体

加納光於
海蟹

1997年
木・金属
91.0×31.5×25.5 cm

KANO Mitsuo
Sea Firefly
1997
wood and metal
91.0×31.5×25.5 cm

JS201600042000
作者寄贈



137 彫刻・立体

ライアン・ガンダー

It stole your thunder- (Alchemy Box #25) / It stole my thunder

2011年
ダンボール箱 (中に資料一式) / アクリル絵具、シナ合板
198.7×166.0×10.5 cm/198.7×166.0×10.5 cm

Ryan GANDER
It stole your thunder- (Alchemy Box #25) / It stole my thunder
2011
cardboard box containing articles/ acrylic on wood
198.7×166.0×10.5 cm/198.7×166.0×10.5 cm

FS201600002000
黒田賢三氏寄贈



138 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1996年
針金
20.3×1.4×8.3 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1996
wire
20.3×1.4×8.3 cm

JS201600046000
吉田博氏寄贈



139 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1996年
針金
19.5×1.0×7.0 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1996
wire
19.5×1.0×7.0 cm

JS201600047000
吉田博氏寄贈



140 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1996年
針金
21.0×1.4×7.0 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1996
wire
21.0×1.4×7.0 cm

JS201600048000
吉田博氏寄贈



141 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1997年
針金
3.2×6.0×0.3 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1997
wire
3.2×6.0×0.3 cm

JS201600049000
吉田博氏寄贈



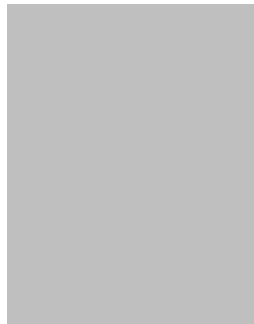
134 彫刻・立体

加納光於
双児形あるいは逃げる指先

1997年
木・金属
63.6×51.1×11.2 cm

KANO Mitsuo
Shape of Twins or Fingertips to Escape
1997
wood and metal
63.6×51.1×11.2 cm

JS201600043000
作者寄贈



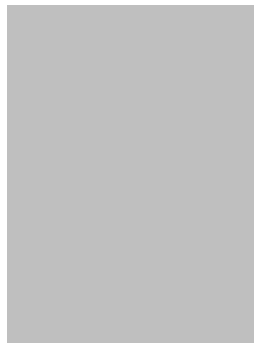
135 彫刻・立体

加納光於
夕なぎ

1997年
木・金属
109.4×46.0×13.5 cm

KANO Mitsuo
An Evening Calm
1997
wood and metal
109.4×46.0×13.5 cm

JS201600044000
作者寄贈



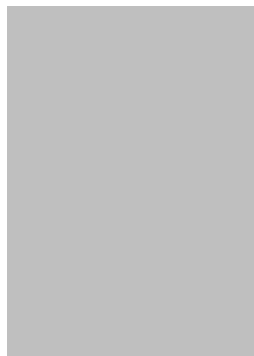
136 彫刻・立体

加納光於
暁に呼ばれてあるいは舵柄の行方

1997年
木・金属
259.0×182.0×13.5 cm

KANO Mitsuo
It Has Been Called to Dawn or Whereabouts of Tiller
1997
wood and metal
259.0×182.0×13.5 cm

JS201600045000
作者寄贈



142 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1997年
針金
3.5×6.8×0.6 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1997
wire
3.5×6.8×0.6 cm

JS201600050000
吉田博氏寄贈



147 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.4×1.7×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.4×1.7×0.2 cm

JS201600055000
吉田博氏寄贈



143 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1997年
針金
4.1×7.8×0.3 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1997
wire
4.1×7.8×0.3 cm

JS201600051000
吉田博氏寄贈



148 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.5×1.7×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.5×1.7×0.2 cm

JS201600056000
吉田博氏寄贈



144 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1998年
針金
0.3×28.6×0.7 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1998
wire
0.3×28.6×0.7 cm

JS201600052000
吉田博氏寄贈



149 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.4×1.8×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.4×1.8×0.2 cm

JS201600057000
吉田博氏寄贈



145 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1998年頃
トタン
13.0×23.0×8.4 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1998
galvanized iron sheet
13.0×23.0×8.4 cm

JS201600053000
吉田博氏寄贈



150 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.5×1.7×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.5×1.7×0.2 cm

JS201600058000
吉田博氏寄贈



146 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.4×1.6×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.4×1.6×0.2 cm

JS201600054000
吉田博氏寄贈



151 彫刻・立体
吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.5×1.8×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.5×1.8×0.2 cm

JS201600059000
吉田博氏寄贈



152 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.5×1.7×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.5×1.7×0.2 cm

JS201600060000
吉田博氏寄贈



157 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
針金
20.7×1.4×7.3 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
wire
20.7×1.4×7.3 cm

JS201600065000
吉田博氏寄贈



153 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.3×2.6×0.1 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.3×2.6×0.1 cm

JS201600061000
吉田博氏寄贈



158 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
針金
0.4×29.0×0.1 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
wire
0.4×29.0×0.1 cm

JS201600066000
吉田博氏寄贈



154 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.3×1.8×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.3×1.8×0.2 cm

JS201600062000
吉田博氏寄贈



159 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
針金
0.4×31.0×0.1 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
wire
0.4×31.0×0.1 cm

JS201600067000
吉田博氏寄贈



155 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1999年頃
針金
0.6×0.5×0.5 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
ca. 1999
wire
0.6×0.5×0.5 cm

JS201600063000
吉田博氏寄贈



160 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
トタン
2.5×22.5×10.3 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
galvanized iron sheet
2.5×22.5×10.3 cm

JS201600068000
吉田博氏寄贈



156 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
トタン
0.7×20.5×9.9 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
galvanized iron sheet
0.7×20.5×9.9 cm

JS201600064000
吉田博氏寄贈



161 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
石膏
1.8×5.1×10.4 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
plaster
1.8×5.1×10.4 cm

JS201600069000
吉田博氏寄贈



162 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
石膏
3.3×12.0×5.0 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
plaster
3.3×12.0×5.0 cm

JS201600070000
吉田博氏寄贈



163 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
トタン、はんだ
21.0×23.5×8.5 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
galvanized iron sheet, solder
21.0×23.5×8.5 cm

JS201600071000
吉田博氏寄贈



164 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
トタン、はんだ
4.0×29.0×8.0 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
galvanized iron sheet, solder
4.0×29.0×8.0 cm

JS201600072000
吉田博氏寄贈



165 彫刻・立体

吉田哲也
Untitled

1990年代
針金
0.1×9.0×0.2 cm

YOSHIDA Tetsuya
Untitled
1990s
wire
0.1×9.0×0.2 cm

JS201600073000
吉田博氏寄贈



166 版画

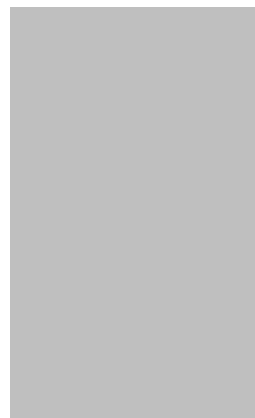
加納光於

「波動説」—intaglioをめぐって No. 1

1984-85年
カラーインタリオ、紙
49.3×29.8 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 1
1984-85
color intaglio on paper
49.3×29.8 cm

JP201600001000
作者寄贈



167 版画

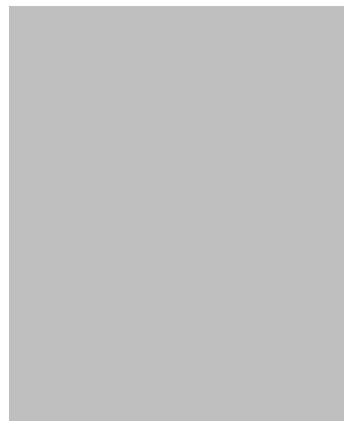
加納光於

「波動説」—intaglioをめぐって No. 2

1984-85年
カラーインタリオ、紙
41.8×33.7 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 2
1984-85
color intaglio on paper
41.8×33.7 cm

JP201600002000
作者寄贈



168 版画

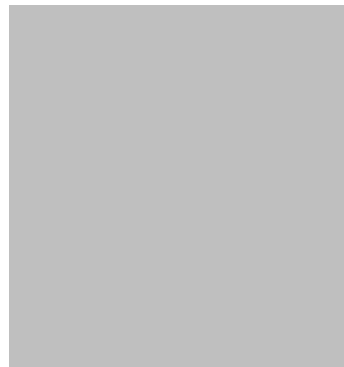
加納光於

「波動説」—intaglioをめぐって No. 4

1984-85年
カラーインタリオ、紙
45.0×42.2 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 4
1984-85
color intaglio on paper
45.0×42.2 cm

JP201600003000
作者寄贈



169 版画

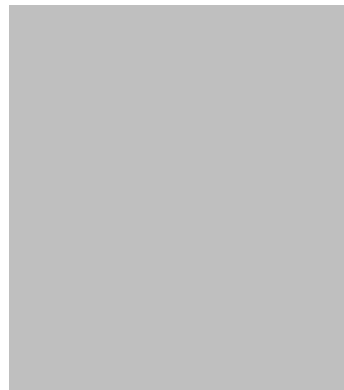
加納光於

「波動説」—intaglioをめぐって No. 5

1984-85年
カラーインタリオ、紙
35.1×30.7 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 5
1984-85
color intaglio on paper
35.1×30.7 cm

JP201600004000
作者寄贈

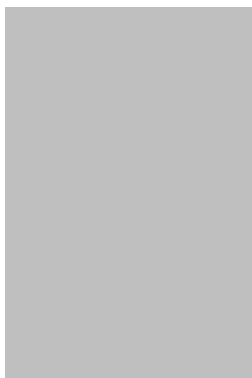


170 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 7

1984-85年
カラーインタリオ、紙
44.3×28.6 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 7
1984-85
color intaglio on paper
44.3×28.6 cm

JP201600005000
作者寄贈



174 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 14

1984-85年
カラーインタリオ、紙
44.5×61.6 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 14
1984-85
color intaglio on paper
44.5×61.6 cm

JP201600009000
作者寄贈

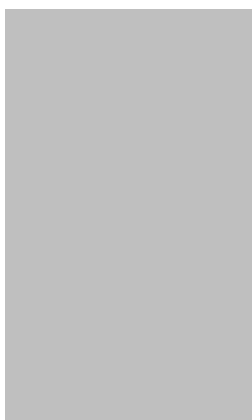


171 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 8

1984-85年
カラーインタリオ、紙
49.5×29.6 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 8
1984-85
color intaglio on paper
49.5×29.6 cm

JP201600006000
作者寄贈

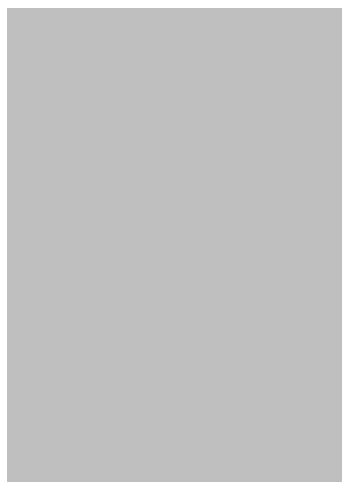


175 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 17

1984-85年
カラーインタリオ、紙
59.8×41.9 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 17
1984-85
color intaglio on paper
59.8×41.9 cm

JP201600010000
作者寄贈



172 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 10

1984-85年
カラーインタリオ、紙
42.0×56.7 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 10
1984-85
color intaglio on paper
42.0×56.7 cm

JP201600007000
作者寄贈



176 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 19

1984-85年
カラーインタリオ、紙
44.4×58.1 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 19
1984-85
color intaglio on paper
44.4×58.1 cm

JP201600011000
作者寄贈



173 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 12

1984-85年
カラーインタリオ、紙
41.9×56.5 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 12
1984-85
color intaglio on paper
41.9×56.5 cm

JP201600008000
作者寄贈



177 版画
加納光於
「波動説」—intaglioをめぐって No. 24

1984-85年
カラーインタリオ、紙
44.5×61.6 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 24
1984-85
color intaglio on paper
44.5×61.6 cm

JP201600012000
作者寄贈



178 版画

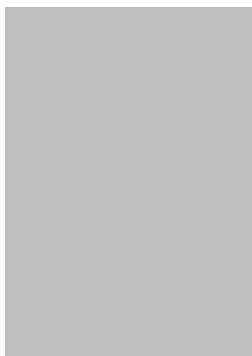
加納光於

「波動説」－intaglioをめぐって No. 26

1984-85年
カラーインタリオ、紙
59.6×41.9 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 26
1984-85
color intaglio on paper
59.6×41.9 cm

JP201600013000
作者寄贈



182 版画

加納光於

風のールカ・パチオウリにⅡ

1987年
カラーインタリオ、紙
37.8×49.3 cm

KANO Mitsuo
Of the Wind-For Luca Pacioli II
1987
color intaglio on paper
37.8×49.3 cm

JP201600017000
作者寄贈



179 版画

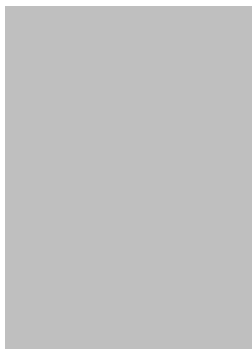
加納光於

「波動説」－intaglioをめぐって No. 29

1984-85年
カラーインタリオ、紙
61.6×49.3 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 29
1984-85
color intaglio on paper
61.6×49.3 cm

JP201600014000
作者寄贈



183 版画

加納光於

風のールカ・パチオウリにⅢ

1987年
カラーインタリオ、紙
31.4×37.1 cm

KANO Mitsuo
Of the Wind-For Luca Pacioli III
1987
color intaglio on paper
31.4×37.1 cm

JP201600018000
作者寄贈



180 版画

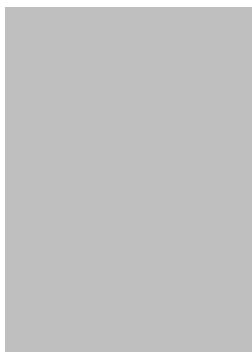
加納光於

「波動説」－intaglioをめぐって No. 30

1984-85年
カラーインタリオ、紙
61.7×24.7 cm

KANO Mitsuo
Wave Theory-Concerning intaglio No. 30
1984-85
color intaglio on paper
61.7×24.7 cm

JP201600015000
作者寄贈



184 版画

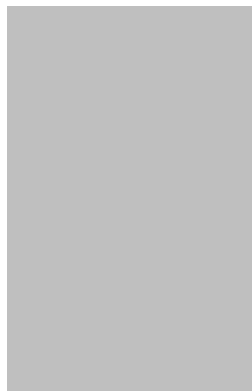
加納光於

《汽水よ、ゆるやかにそして速く》Ⅳ

1990年
カラーインタリオ、紙
62.5×39.5 cm

KANO Mitsuo
Estuary!...Gently and Rapidly IV
1990
color intaglio on paper
62.5×39.5 cm

JP201600019000
作者寄贈



181 版画

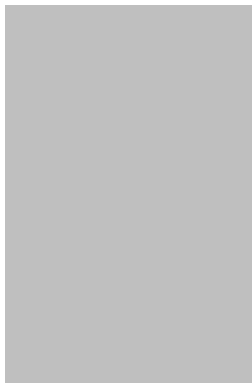
加納光於

風のールカ・パチオウリにⅠ

1987年
カラーインタリオ、紙
49.3×31.8 cm

KANO Mitsuo
Of the Wind-For Luca Pacioli I
1987
color intaglio on paper
49.3×31.8 cm

JP201600016000
作者寄贈



185 版画

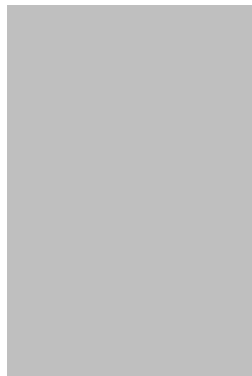
加納光於

《汽水よ、ゆるやかにそして速く》Ⅴ

1990年
カラーインタリオ、紙
59.6×39.4 cm

KANO Mitsuo
Estuary!...Gently and Rapidly V
1990
color intaglio on paper
59.6×39.4 cm

JP201600020000
作者寄贈

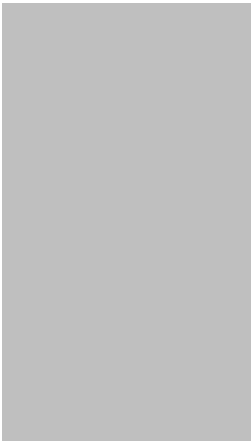


186 版画
加納光於
《引潮》—ユークリッドへI

1991-92年
カラーインタリオ、紙
30.5×16.7 cm

KANO Mitsuo
Ebb Tide-To Euclid I
1991-92
color intaglio on paper
30.5×16.7 cm

JP201600021000
作者寄贈



190 版画
加納光於
《引潮》—ユークリッドへVII

1991-92年
カラーインタリオ、紙
39.2×25.0 cm

KANO Mitsuo
Ebb Tide-To Euclid VII
1991-92
color intaglio on paper
39.2×25.0 cm

JP201600025000
作者寄贈

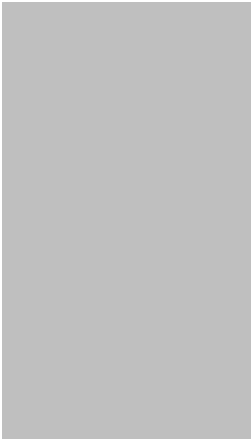


187 版画
加納光於
《引潮》—ユークリッドへII

1991-92年
カラーインタリオ、紙
30.1×16.6 cm

KANO Mitsuo
Ebb Tide-To Euclid II
1991-92
color intaglio on paper
30.1×16.6 cm

JP201600022000
作者寄贈



191 版画
加納光於
《引潮》—ユークリッドへIX

1991-92年
カラーインタリオ、紙
41.4×29.7 cm

KANO Mitsuo
Ebb Tide-To Euclid IX
1991-92
color intaglio on paper
41.4×29.7 cm

JP201600026000
作者寄贈

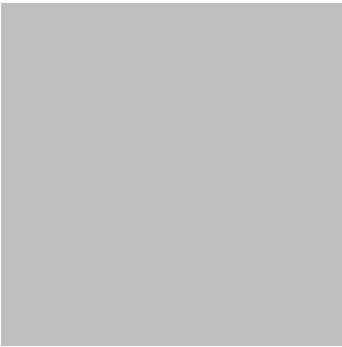


188 版画
加納光於
《引潮》—ユークリッドへIV

1991-92年
カラーインタリオ、紙
40.9×41.4 cm

KANO Mitsuo
Ebb Tide-To Euclid IV
1991-92
color intaglio on paper
40.9×41.4 cm

JP201600023000
作者寄贈



192 版画
加納光於
《しし座》—偶有と変容 I

1991-92年
カラーインタリオ、紙
50.2×39.2 cm

KANO Mitsuo
Leo-Having an Accident and Transformation I
1991-92
color intaglio on paper
50.2×39.2 cm

JP201600027000
作者寄贈

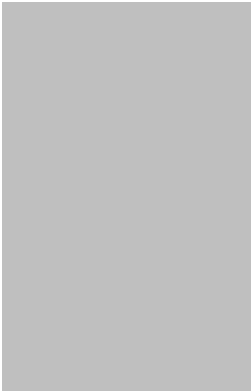


189 版画
加納光於
《引潮》—ユークリッドへVI

1991-92年
カラーインタリオ、紙
39.4×25.2 cm

KANO Mitsuo
Ebb Tide-To Euclid VI
1991-92
color intaglio on paper
39.4×25.2 cm

JP201600024000
作者寄贈



193 版画
加納光於
《しし座》—偶有と変容 III

1991-92年
カラーインタリオ、紙
50.3×39.3 cm

KANO Mitsuo
Leo-Having an Accident and Transformation III
1991-92
color intaglio on paper
50.3×39.3 cm

JP201600028000
作者寄贈



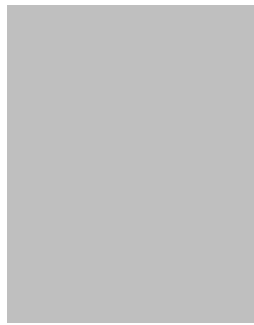
194 版画

加納光於
《しし座》－偶有と変容Ⅴ

1991-92年
カラーインタリオ、紙
50.3×39.3 cm

KANO Mitsuo
Leo-Having an Accident and Transformation V
1991-92
color intaglio on paper
50.3×39.3 cm

JP201600029000
作者寄贈



199 版画

エドヴァルド・ムンク
老いた漁師

1897年
木版・手彩色（水彩）、紙
44.2×35.9 cm

Edvard MUNCH
Old Fisherman
1897
woodcut with watercolor on paper
44.2×35.9 cm

FP201600003000



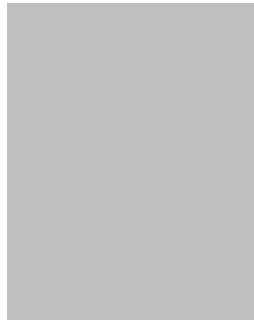
195 版画

加納光於
《しし座》－偶有と変容Ⅰ'

1991-92年
インタリオ、紙
50.1×39.3 cm

KANO Mitsuo
Leo-Having an Accident and Transformation I'
1991-92
intaglio on paper
50.1×39.3 cm

JP201600030000
作者寄贈



200 版画

エドヴァルド・ムンク
太った娼婦

1899年
多色刷り木版、紙
25.3×20.0 cm

Edvard MUNCH
The Fat Whore
1899
color woodcut on paper
25.3×20.0 cm

FP201600004000



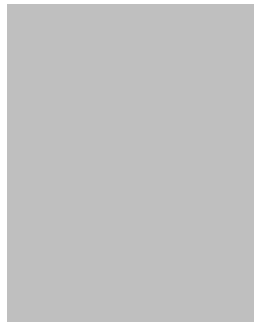
196 版画

加納光於
《しし座》－偶有と変容Ⅲ'

1991-92年
インタリオ、紙
50.3×39.2 cm

KANO Mitsuo
Leo-Having an Accident and Transformation III'
1991-92
intaglio on paper
50.3×39.2 cm

JP201600031000
作者寄贈



201 版画

エドヴァルド・ムンク
祈る老人

1902年
2色刷り木版、紙
46.2×32.8 cm

Edvard MUNCH
Old Man Praying
1902
two-colored woodcut on paper
46.2×32.8 cm

FP201600005000



197 版画

エドヴァルド・ムンク
病める子

1894年
ドライポイント・ルーレット、紙
36.1×27.3 cm

Edvard MUNCH
The Sick Child
1894
drypoint with roulette on paper
36.1×27.3 cm

FP201600001000



202 版画

エドヴァルド・ムンク
髭の老人の頭部

1902年
木版、紙
42.0×23.6 cm

Edvard MUNCH
Head of an Old Man with Beard
1902
woodcut on paper
42.0×23.6 cm

FP201600006000



198 版画

エドヴァルド・ムンク
接吻

1895年
エッチング・ドライポイント・アクアチント、紙
33.1×26.3 cm

Edvard MUNCH
The Kiss
1895
etching, drypoint and aquatint on paper
33.1×26.3 cm

FP201600002000



203 版画

エドヴァルド・ムンク
橋の上の少女たち

1903年
エッチング・アクアチント、紙
18.2×25.7 cm

Edvard MUNCH
The Girls on the Bridge
1903
etching and aquatint on paper
18.2×25.7 cm

FP201600007000



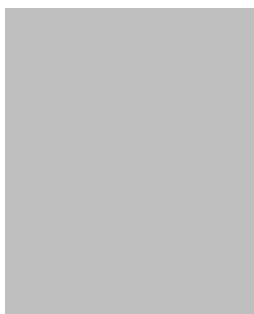
204 写真

オノデラユキ
窓の外を見よ No. 20

2000年
ゼラチン・シルバー・プリント
60.0×50.0 cm

ONODERA Yuki
Look Out the Window No. 20
2000
gelatin silver print
60.0×50.0 cm

JF201600022000
作者寄贈



205 写真

北野謙
光を集めるプロジェクト、愛知県美術館から
2015年冬至－2016年夏至

2016年
インクジェット・プリント
100.0×150.0 cm

KITANO Ken
Gathering Light Project, from Aichi
Prefectural Museum of Art, from winter
solstice in 2015 to summer solstice in 2016
2016
inkjet print
100.0×150.0 cm

JF201600023000
作者寄贈



206 写真

北野謙
光を集めるプロジェクト、石灰の積出港
大分県津久見市の石灰会社古手川産業社屋か
ら 2015年冬至－2016年夏至

2016年
インクジェット・プリント
100.0×150.0 cm

KITANO Ken
Gathering Light Project, from Kotegawa
Sangyo Lime Company's Office Building at
the Outport of Lime in Tsukumi city, Oita
Prefecture, from winter solstice in 2015 to
summer solstice in 2016
2016
inkjet print
100.0×150.0 cm

JF201600024000
作者寄贈



207 写真

北野謙
光を集めるプロジェクト、埼玉県立近代美術館
屋上から（西） 2015年冬至－2016年夏至

2016年
インクジェット・プリント
100.0×150.0 cm

KITANO Ken
Gathering Light Project, from the Roof
Floor of the Museum of Modern Art, Saitama (the
western direction) , from winter solstice in
2015 to summer solstice in 2016
2016
inkjet print
100.0×150.0 cm

JF201600025000
作者寄贈



208 写真

北野謙
光を集めるプロジェクト、埼玉県立近代美術館
屋上から（東） 2015年冬至－2016年夏至

2016年
インクジェット・プリント
100.0×150.0 cm

KITANO Ken
Gathering Light Project, from the Roof
Floor of the Museum of Modern Art, Saitama (the eastern direction) , from
winter solstice in 2015 to summer solstice in
2016
2016
inkjet print
100.0×150.0 cm

JF201600026000
作者寄贈



209 写真

北野謙
光を集めるプロジェクト、愛知県美術館から
2015年冬至－2016年夏至

2016年
インクジェット・プリント
25.4×31.7 cm

KITANO Ken
Gathering Light Project, from Aichi
Prefectural Museum of Art, from winter
solstice in 2015 to summer solstice in 2016
2016
inkjet print
25.4×31.7 cm

JF201600027000
作者寄贈



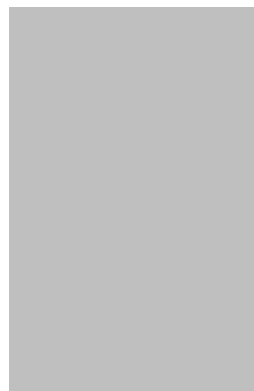
210 写真

北野謙
光を集めるプロジェクト、新宿ニコンサロン
から 2015年冬至－2016年夏至

2016年
インクジェット・プリント
50.8×33.1 cm

KITANO Ken
Gathering Light Project, from Nikon Salon,
Shinjuku, from winter solstice in 2015 to
summer solstice in 2016
2016
inkjet print
50.8×33.1 cm

JF201600028000
作者寄贈



211 写真
米田知子
ビーチ ― ノルマンディ上陸作戦の海岸／ソードビーチ・フランス「Scene」シリーズより

2002年／2016年
発色現像方式印画
75.5×96.0 cm

YONEDA Tomoko
Beach—Location of the D-Day Normandy Landings, Sword Beach, France, from the series of *Scene*
2002/ 2016
chromogenic print
75.5×96.0 cm

JF201600029000
作者寄贈



212 写真
米田知子
坂口安吾の眼鏡 ―「朝鮮会議に関する日記」の原稿を見る「Between Visible and Invisible」シリーズより

2013年
ゼラチン・シルバー・プリント
75.0×75.0 cm

YONEDA Tomoko
Sakaguchi Ango's Glasses—Viewing his "Diary of the Korean Conference", from the series of *Between Visible and Invisible*
2013
gelatin silver print
75.0×75.0 cm

JF201600030000
作者寄贈



213 資料
北川民次
FM愛知「話の広場」録音テープ No. 5375

制作年不詳
オープンリール式6mmテープ
—

KITAGAWA Tamiji
Reel to reel tape of "Talk Square" broadcast in FM Aichi, No. 5375
date unknown
reel to reel tape (6mm)
—

JM201600006000
株式会社日動画廊名古屋支店寄贈



214 資料
北川民次
FM愛知「話の広場」録音テープ No. 5376

制作年不詳
オープンリール式6mmテープ
—

KITAGAWA Tamiji
Reel to reel tape of "Talk Square" broadcast in FM Aichi, No. 5376
date unknown
reel to reel tape (6mm)
—

JM201600007000
株式会社日動画廊名古屋支店寄贈

管理換え等作品（3件）

215 彫刻・立体
野水信
コの記号

1963年
真鍮、黒御影石
125.0×35.0×35.0 cm

NOMIZU Shin
Sign of a Japanese Character ‘コ’
1963
brass and granite
125.0×35.0×35.0 cm

JS201600074000



216 映像
山城知佳子
創造の発端 ― アブダクション／子供 ―

2015年
デジタル・ビデオ／ハードディスク、ブルーレイディスク
18分、16：9

YAMASHIRO Chikako
Beginning of Creation—Abduction/ Child
2015
Digital Video/ HD, Blu-ray Disc
18 minutes, 16：9

JV201600040000



217 映像
田村友一郎
アポロンの背中

2016年
デジタル・ビデオ／ハードディスク、ブルーレイディスク
20分、16：9

TAMURA Yuichiro
Apollo's back
2016
Digital Video/ HD, Blu-ray Disc
20 minutes, 16：9

JV201600041000



寄託

新規寄託品

2016（平成28）年度には絵画1件、彫刻・立体1件、水彩・素描2件、インスタレーション1件の計5件の寄託を受けた。

寄託品の状況（2017（平成29）年3月末現在）

分類	件数
日本画	47
絵画	102
彫刻・立体	27
版画	124
水彩・素描	91
写真	92
インスタレーション	1
資料	15
計	35所蔵者499件

2 保存

保存事業の実施状況（2016（平成28）年度）

2016（平成28）年度は改修工事に伴う作品移動を念頭においた所蔵品管理が中心になった。また外部委託としては前年度に引き続き木村定三コレクションの調査、保存処置を優先的に行った。その他の所蔵作品については、貸出や展示に伴い状態が悪い作品について処置を行った。環境調査として収蔵庫の菌類生息調査を追加することができた。

2016（平成28）年度 外部委託による保存処置作品一覧

No.	作家名 制作年（時代）	作品名 (技法材料)	種別	処置前の状態	処置内容	処置者
1	作者不詳 (鎌倉-南北朝時代 14世紀)	黒漆厨子 木村定三コレクション M616	工芸	剥離・剥落・汚損	解体修理	株式会社文化財保存 北村繁 財団法人元興寺文化財研究所
2	丹羽和子 1980年	朱い糸 (油彩・画布)	絵画	剥離・剥落	剥落留	杉並絵画修復工房 (館内処置)
3	加藤金一郎 1964年	HEKEBEKE (油彩・画布)	絵画	剥離・剥落・汚損	剥落留、洗浄	杉並絵画修復工房 (館内処置)

2016（平成28）年度 外部に委託した詳細状態調査作品一覧（学術調査を目的とした調査研究を含む）

No.	作家名 制作年（時代）	作品名（現在の公開名）	種別	調査項目	目的	依頼先
1	作者不詳 (制作年代不詳)	帝王の宝冠 藤井達吉コレクション FT1401	工芸	蛍光X線分析 (定性・元素マッピング) X線透過撮影	学術調査・修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
2	作者不詳 (鎌倉-南北朝時代 14世紀)	黒漆厨子 木村定三コレクション M616	工芸	蛍光X線分析 (定性顔料分析)	学術調査	奈良国立博物館
3	作者不詳	怪獣帯鉤 木村定三コレクション KT247	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
4	作者不詳	蟹帯鉤 木村定三コレクション KT274	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
5	作者不詳 (平安時代 12世紀)	銅経筒 木村定三コレクション M310	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
6	作者不詳 (中国・唐時代 8世紀)	竹叢双犀鏡 木村定三コレクション M343	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
7	作者不詳 (3世紀)	三角縁・日月日日・唐草文帯四神四獣鏡 木村定三コレクション M347	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
8	作者不詳 (平安時代後期 12世紀後半)	松喰鶴鏡 木村定三コレクション M359	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
9	作者不詳 (江戸時代 17-18世紀)	金銅割五銚杵 木村定三コレクション M944	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
10	作者不詳 (鎌倉-南北朝時代 14世紀)	十一面観音懸仏 木村定三コレクション M1022	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
11	作者不詳 (江戸時代 17世紀)	唐草文銀象嵌釜鎖 木村定三コレクション M1170	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
12	作者不詳 (江戸-明治時代 19世紀)	登龍銀象嵌釜釣 木村定三コレクション M1244	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
13	作者不詳 (江戸時代中期 18世紀)	銀象嵌轡鐙 木村定三コレクション M1245	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
14	作者不詳 (江戸時代または中国・清時代 18-19世紀)	銀象嵌筒形香炉 木村定三コレクション M1370	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
15	作者不詳 (江戸-明治時代 19世紀)	錫鳥形香合 木村定三コレクション M1514	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
16	作者不詳 (江戸時代 18-19世紀)	鉄蟬螂 木村定三コレクション M2316	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
17	作者不詳 (江戸時代後期 18-19世紀)	尾長鳥水滴 木村定三コレクション M2379	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所
18	作者不詳 (明治時代 19世紀)	兎水滴 木村定三コレクション M2842-6	工芸	詳細調査	修理計画	財団法人元興寺文化財研究所

2016（平成28）年度 新規額・保存箱製作作品一覧

No.	作家名 制作年（時代）	作品名	種別	製作物	製作者
1	奈良美智 (2014年)	Girl From the North Country	絵画	専用保存箱および 展示補助具の作成	ACS佐藤
2	阿部芳文（展也） (1943年)	雑誌『みちしるべ』表紙原画	水彩・素描	マット装および額の新調	ACS佐藤
3	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 A	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
4	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 B	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
5	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 C	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
6	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 D	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
7	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 E	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
8	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 F	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
9	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 G	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
10	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 H	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
11	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 I	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
12	杉本健吉 (1998-2003年)	幀 J	水彩・素描	専用保存箱の作成	ACS佐藤
13	設楽知昭 (1993年)	目の服・上衣	絵画	専用保存箱の作成	ACS佐藤
14	杉本健吉	新平家物語挿絵	資料	大衣差箱 2 作成	ACS佐藤
15	杉本健吉	新平家物語挿絵	資料	太子差箱 4 作成	ACS佐藤
16	杉本健吉	新平家物語挿絵	資料	八切差箱 1 作成	ACS佐藤

3 管理

所蔵作品管理状況（2016（平成28）年度）

作品の管理

「愛知県美術館所蔵作品点検要領」に基づき、作品を8分類し、毎年1分類ずつ行う管理状況の確認として、水彩・素描の点検を行うとともに、愛知県財務規則第118条に基づく年1回の全作品所在確認作業を実施した。

作品の貸出

他の美術館等からの展覧会等への貸出要請に対して、作品の保存状態が比較的良好で、コレクション展や移動美術館等の展示計画に支障がないものについて、展覧会の内容やその意義を勘案し、展示施設・設備の状況を確認した上で、所蔵作品貸出要領に則し貸出を行った。

また、このような館外への貸出も所蔵作品公開の機会と位置付け、各会場での入場者状況を調査した。

貸出の概要（貸出期間 2016（平成28）年4月1日～2017（平成29）年3月31日）

貸出先		件数	点数	総入場者数（うち小中生）※
国内	美術館・博物館	38件	154点	1,740,739人（83,692人）
	県関係機関	4件	46点	
国外	美術館・博物館	1件	1点	
計		43件	201点	

※データは2017（平成29）年3月31日現在。一部、年度をまたいで開催した展覧会を含むが、2016（平成28）年度中に作品が返却された案件について報告する。また、入場者区分・集計範囲は貸出先によって異なるため、小中生数については報告があったものの合計。

木村定三コレクションの調査研究および公開

日本・中国・東南アジアの陶磁器について、外部研究者を招き調査を行った。また、来年度発行予定の分野別図録『文人趣味と煎茶』についての調査も引き続き行った。『研究紀要第23号 木村定三コレクション編』では、「尾張の近世画家作品」・「欧米陶磁器およびガラス工芸」および木村定三氏と熊谷守一の往復書簡についての調査成果を収録した。

藤井達吉関係資料の調査研究および公開

藤井達吉の変体仮名について、友の会サポート部会の協力を得て、作品内の歌などについて解読作業を継続して行い、その成果をまとめ『研究紀要第23号』で公開した。

1 コレクション展

展示の概要（2016（平成28）年度）

コレクション展では、主に20世紀以降の美術の展開やその特質に触れることができる展示を行うと同時に、来館者の関心の多様化を考慮して、各期に、企画展と関連する時代や作家、あるいは一つのまとまりのある美術動向や作品群に焦点をあてた特集展示を行っている。2016年度は年間を3期に分けてコレクション展を開催。各期に作品を入れ替え、幅広い作品の紹介に努めた。

2016年度のコレクション企画は、「日本で洋画、どこまで洋画？」展を開催した。同展では日本独自の「洋画」の展開を明治期から現代に至るまでの具象的作品により紹介した。そのほか、与謝蕪村と伊藤若冲の生誕300年記念の特集、戦後から現代に至る美術を「出来事」をキーワードに紹介した展示、「愛美社」で活動を共にした大沢鉦一郎と宮脇晴の特集、俯瞰的・鳥瞰的視点をテーマとした「うえからながめる」、重層的空間表現に焦点を当てた「極薄の深さ」、木村定三コレクションからは熊谷守一と仏教美術の特集、さらには新収蔵のムンク、ボルタンスキーの展示などを行った。

コレクション展の開催状況と入場者数

		総入場者数	一日平均
平成28年度 第1期	2016年4月1日－5月29日 特集等：木村定三コレクション 生誕300年 蕪村・若冲と江戸時代絵画 20世紀の美術 出来事 ―「いま、ここ」という経験	18,472人	(51日間) 362人
	内訳 企画展「黄金伝説展」共通入場者数	17,867人	350人
	コレクション展のみの入場者数	605人	12人
平成28年度 第2期	2016年11月18日－12月18日 特集等：大沢鉦一郎と宮脇晴 20世紀以降の西洋美術 うえからながめる 木村定三コレクション 熊谷守一 洋画と日本画 APMoA Project, ARCH vol. 19 新野洋「日月の江」	6,282人	(27日間) 233人
	内訳 コレクション企画「日本で洋画、どこまで洋画」展（展示室1－3）とコレクション展（展示室4－8）の入場者数	6,282人	233人
平成28年度 第3期	2017年1月3日－3月20日 特集等：新収蔵記念：ムンクと19世紀末・20世紀美術 極薄の深さ キュビズム以降の絵画空間 木村定三コレクション 仏教美術 絵画と工芸 ボルタンスキー《影》 APMoA Project, ARCH vol. 20 梅津庸一「未遂の花粉」	153,183人	(67日間) 2,286人
	内訳 企画展「ゴッホとゴーギャン」展共通入場者数	152,766人	2,280人
	コレクション展のみの入場者数	417人	6人
2016年度 合計		177,937人	一日平均 (145日間) 1,227人

コレクション展 展示作品リスト

2016年度第1期コレクション展展示作品リスト〔2016年4月1日(金)ー5月29日(日)〕

通常の企画展とコレクションの会場を入れ替え、コレクション展は展示室1－3を会場とした。展示室1では与謝蕪村と伊藤若冲の生誕300年を記念し、木村定三コレクションの中から、彼らの作品を中心とした江戸時代の絵画を紹介した。展示室2の初め3分の1では当館所蔵の名品により20世紀美術の多様性を展観し、続く会場では「出来事」をテーマとし、20世紀後半から現代の様々な作品による考察を行った。

展示室1 木村定三コレクション 生誕300年 蕪村・若冲と江戸時代絵画			
日本画	与謝蕪村 薄に鹿図	木村定三コレクション JJ200200029000 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	与謝蕪村 富嶽列松図〔重要文化財〕	木村定三コレクション M2890 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	与謝蕪村 紫陽花にほととぎす図	木村定三コレクション JJ200200031000 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	与謝蕪村 若竹図 自賛	木村定三コレクション JJ200200032000 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	与謝蕪村 静然上人図扇面 自賛	木村定三コレクション JJ200200030000 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	与謝蕪村 盆踊図扇面 自賛	木村定三コレクション M2459 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	呉春 島原盆踊図	木村定三コレクション M1799 江戸時代中－後期 (18世紀末－19世紀初)	
日本画	呉春 蛙図扇面	木村定三コレクション M2032 江戸時代中－後期 (18世紀末－19世紀初)	
日本画	呉春 青梅図	木村定三コレクション M1800 江戸時代中－後期 (18世紀末－19世紀初)	
日本画	松村景文 雪中古松小禽図	木村定三コレクション M1933 江戸時代後期 (19世紀前半)	
日本画	松村景文 三羽鶴図	木村定三コレクション M1932 江戸時代後期 (19世紀前半)	
日本画	長沢芦雪 眼下千丈図	木村定三コレクション M1913 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	伊藤若冲 菊に双鶴図	木村定三コレクション M2028 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	伊藤若冲 六歌仙図	木村定三コレクション M2029 江戸時代中期・寛政3年 (1791)	
日本画	伊藤若冲 伏見人形図	木村定三コレクション M2030 江戸時代中期 (18世紀後半)	
日本画	西村清狂 六歌仙図	木村定三コレクション M2043 江戸時代中期 (18世紀)	
展示室2・3 20世紀の美術／出来事ー「いま、ここ」という経験			
20世紀の美術			
絵画	ポール・ゴーギャン 木靴職人	玉谷文男・做子夫妻からの寄附金による購入	1888年

絵画	エドゥアール・ヴエイヤール 窓辺の女		1898年
絵画	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣		1902年
絵画	ラウル・デュフィ サントドレスの浜辺		1906年
絵画	ピエール・ボナール 子どもと猫		1906年頃
絵画	ピエール・ボナール にぎやかな風景		1913年頃
絵画	アンリ・マティス 待つ	中部電力株式会社寄贈	1921-22年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭		1935年
絵画	フランティšek・クプカ 灰色と金色の展開		1919年
絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I		1927年
絵画	ジョアン・ミロ 絵画		1925年
絵画	フェルナン・レジェ 緑の背景のコンポジション (葉のあるコンポジション)	カニエプロバン株式会社からの寄附金による購入	1931年
絵画	ベン・ニコルソン 1933 (スペインの絵葉書のあるコラージュ)		1933年
絵画	ポール・デルヴォー こだま (あるいは「街路の神秘」)		1943年
絵画	マックス・エルンスト ボーランドの騎士		1954年
絵画	アド・ラインハート No. 114		1950年
絵画	サム・フランシス 消失に向かう地点の青		1958年
彫刻・立体	ジム・ダイン 芝刈機		1962年
出来事ー「いま、ここ」という経験			
第1章 痕跡に見る出来事			
絵画	白髪一雄 作品		1963年

絵画	元永定正 作品		1961年
絵画	岡崎乾二郎 野には (この世界では見えぬ) 育ちも摘…		2009年
絵画	岡崎乾二郎 あなたがたの考え (善悪) は紙に書かれ…		2009年
絵画	岡崎乾二郎 天使は翼があるから鳥という。顔かたち…		2009年
絵画	加納光於 たてがみ 北東風-IV	服部眞稔氏寄贈	1985年
絵画	田淵安一 風のじま No. 1	作者寄贈	1991年
絵画	ルーチョ・フォンタナ 空間概念		1960年
絵画	吉川民仁 対話		2010年
絵画	デイヴィッド・スミス チャイニーズ・レストラン	寄託作品	1959年
絵画	荒川修作 作品		1963年
写真	瑛九 驚き		1951年
写真	瑛九 シャガんで		1951年
写真	瑛九 作品		制作年不詳
素描	ロバート・ラウシェンバーク コース		1958年
素描	麻生三郎 海 (明石の海)	麻生美智子氏寄贈	1955年
素描	麻生三郎 月 (蓬萊屋カレンダーのための素描)	麻生美智子氏寄贈	1982年
素描	麻生三郎 (空)	麻生美智子氏寄贈	1985年
彫刻・立体	設楽知昭 目の服・上衣	土崎正彦氏 (旧白土舎) 寄贈 2015年度新収蔵作品	1993年
彫刻・立体	西村陽平 Iron Container for Mummified Magazines		1992年
絵画	榎倉康二 干涉 (Story-No. 49)		1992年

第2章 出来事を共有する			
写真	安斎重男 The 10th Tokyo Biennale, Tokyo Metropolitan Museum, May 1970	1962年	
写真	大辻清司 eyewitness	1970年	
資料	『人間と物質』展ポスター	個人蔵 1970年	
資料	愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 『人間と物質』展カタログ	1970年	
資料	愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 『愛知県文化会館 ニュース窓口』142号	1970年	
資料	愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 『美術手帖』1970年7月号	1970年	
資料	愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 『季刊藝術』1970年No. 4	1970年	
資料	関連新聞記事6点	個人蔵 1970年	
第3章 記憶の中の出来事			
写真 レシ	バク・ヒョンギ ブルー・ダイニング・テーブル	1995年	
版画	野田哲也 日記 1978年2月10日	1978年	
版画	野田哲也 日記 1987年5月30日 柏台2-12-4	1987年	
版画	野田哲也 日記 1983年2月27日 小金井	1983年	
写真	澤田知子 School Days / A	寄託作品 2004年	

写真	澤田知子 School Days / F	寄託作品 2004年	
写真	澤田知子 School Days / H	寄託作品 2004年	
絵画	アラン・デュケ ジョルジュ・サンドからの手紙	木村定三コレクション M2590 1970年	
絵画	アラン・デュケ バスのチケット	木村定三コレクション M2591 1970年	
資料	浜田知明 木村定三コレクション M2959 木村定三宛浜田知明書簡	2015年度新収蔵作品 制作年不詳	
資料	須田剋太 木村定三宛須田剋太書簡	木村定三コレクション M2940 制作年不詳	
資料	北川民次 株式会社日動画廊名古屋支店寄贈 スケッチブック（沖縄・瀬戸）	2015年度新収蔵作品 制作年不詳	
資料	北川民次 株式会社日動画廊名古屋支店寄贈 スケッチブック（瀬戸）	2015年度新収蔵作品 制作年不詳	
版画	吉田克朗 Work "8"	吉田槩子氏寄贈 1970年	
版画	吉田克朗 Work "9"	吉田槩子氏寄贈 1970年	
版画	吉田克朗 Work "10"	吉田槩子氏寄贈 1970年	
素描	野田弘志 リルケの「マルテの手記」	木村定三コレクション M2612 制作年不詳	
素描	野田弘志 女の手（『湿原』挿絵原画）	木村定三コレクション M2607 制作年不詳	
素描	野田弘志 ローソク（『湿原』挿絵原画）	木村定三コレクション M2609 1983年	
絵画	設楽知昭 こんにちとはとさようなら	作者寄贈 2001年	

絵画	設楽知昭 男、女、子供	作者寄贈 2001年
絵画	設楽知昭 駆ける	作者寄贈 2001年
映像	田中功起 買物袋	2004年

ビデオテーク

映像	三宅唱 愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品 THE COCKPIT	2014年
----	---	-------

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 財団法人日本宝くじ協会寄贈 飛躍の瞬間	1984年
-------	------------------------------------	-------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

12階アールスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

コレクション企画「日本で洋画、どこまで洋画？」／2016年度第2期コレクション展展示作品リスト
〔2016年11月18日(金)－12月18日(日)〕

展示室1から3では明治期半ばに「日本画」と対になるようにして生まれた「洋画」の展開と特質、また戦後から現代の国際化した美術状況の中での位置づけなどを考察するコレクション企画を行った。この関連イベントとして、日本舞踊家とバレエ・ダンサーによるダンスパフォーマンス「螺旋」を開催した。展示室4では大正期の愛知で特色ある活動をした「愛美社」の大沢鉦一郎と宮脇晴を晩年作まで含めて特集した。展示室5ではコレクション企画に合せて20世紀以降の具象的な西洋絵画を展示した。展示室7では俯瞰・鳥瞰的な視点による作品を特集し、特別出品として田原市博物館所蔵の渡辺華山《千山万水図》(重文)も紹介した。展示室8の木村定三コレクションでは、人気の高い熊谷守一の作品を展示した。

前室 1				絵画	長原孝太郎 山村	1919年	絵画	中野安次郎 樹氷	作者寄贈 1936年
彫刻・立体	加藤昭男 何処へ	加藤多美子氏寄贈 2015年度新収蔵作品	2002年	絵画	国吉康雄 帽子の女	1920年頃	絵画	山田光春 門	山田愛子氏寄贈 1936年
展示室 1－3 日本で洋画、どこまで洋画？ －高橋由一から現代画家まで－									
絵画	高橋由一 厨房具		1878-79年	水彩・素描	椿貞雄 菊子像	木村定三コレクション M2749 1921年	絵画	伊藤廉 水牛の喧嘩	1937年
絵画	高橋由一 不忍池		1880年頃	絵画	神原泰 生命の流動	1924年	絵画	安井曾太郎 承德喇嘛廟	1938年
絵画	山本芳翠 月下の裸婦		1882-86年頃	絵画	藤田嗣治 青衣の少女	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1925年	絵画	梅原龍三郎 北京紫禁城	1939年
絵画	浅井忠 八王子付近の街		1887年	絵画	小出橋重 蔬菜静物	1925年	絵画	川口軌外 二婦	1939年
絵画	久米桂一郎 秋景		1892年	絵画	萬鐵五郎 紅葉風景	1926年	絵画	林武 婦人像	1940年
絵画	黒田清輝 暖き日	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入	1897年	絵画	古賀春江 夏山	1927年	絵画	北川民次 南国の花	1940年
絵画	野崎華年 武具		1895年	絵画	山下新太郎 野村百合子像	1928年	絵画	須田国太郎 夏	1941年
絵画	山下新太郎 白耳義の少女		1909年	絵画	村井正誠 ゴルフジュアンの船	1929年	絵画	鬼頭鍋三郎 機銃分隊習作	鬼頭伊佐郎氏寄贈 1942年
絵画	安井曾太郎 婦人像		1912年頃	絵画	里見勝蔵 裸婦	1928-29年頃	絵画	内堀勉 早春	1944年
絵画	岡田三郎助 山県有朋像	鬼頭鍋三郎氏寄贈	1913年	絵画	海老原喜之助 ゲレンデ	1930年	絵画	中沢弘光 春来る	1946年
絵画	中村彝 少女裸像		1914年	絵画	鬼頭鍋三郎 手鏡を持つ裸婦	1930年	絵画	岡鹿之助 窓	1949年
絵画	坂本繁二郎 海岸の家		1915年	絵画	満谷国四郎 裸婦	1930年	絵画	田淵安一 鬼に金棒	作者寄贈 1953年
絵画	佐伯祐三 自画像		1917年	絵画	松下春雄 二人のポーズ	1933年	絵画	山口薫 ボタン雪と騎手	1953年
絵画	河野通勢 自画像		1917年	水彩・素描	鬘光 自顔像	1934年	絵画	桂ゆき 人と魚	1954年
水彩・素描	岸田劉生 蓼		1918年	水彩・素描	鬘光 編み物をする女	1934年	絵画	伊藤高義 粘土採掘場	1954年
				絵画	猪熊弦一郎 馬と裸婦	1936年	絵画	森芳雄 女たち	1954年

絵画	太田三郎 人物（昇天）	1955年頃
絵画	金山康喜 静物	1956年
絵画	中村宏 内乱期	1958年
絵画	尾藤豊 拠点の崩壊	1959-60年
絵画	東郷青児 月夜	1958年
絵画	北川民次 砂の工場	1959年
絵画	林武 ノートルダム	1960年
絵画	麻生三郎 オヤコ	麻生美智子氏寄贈 1960年
日本画	水谷勇夫 口上人	作者寄贈 1960年
絵画	鳥海青児 石の街（ペルー マチュ・ピチュ）	1961年
日本画	中村正義 ピエロ	中村あや氏寄贈 1963年
絵画	香月泰男 綱渡	木村定三コレクション JO200200017000 1963年
日本画	星野真吾 喪中の作品（昇天）	1965年
絵画	中西夏之 K.T像・オレンザドア	作者寄贈 1966年
絵画	三尾公三 FICTION SPACE（X）	1974年
絵画	上田薫 なま玉子 G	1976年
絵画	島田章三 石庭女人図	長谷川久道氏寄贈 1976年
絵画	富田弘一 集会	富田冬生氏寄贈 1977年
絵画	芝田米三 幸あれ	1981年
絵画	石河彦男 島の城塞都市	石河暁一郎氏寄贈 1981年
絵画	吉本作次 中断された眠りⅡ	1985年
絵画	松本英一郎 さくら・うし 93-9	松本泰子氏寄贈 1993年
絵画	櫃田伸也 空き地	1997/2008年

絵画	藪野健 登場人物たちの日	作者寄贈 1999年
絵画	久野和洋 地の風景・坂の道	作者寄贈 1998-99年
絵画	岩城直美 TV - Geese -	土崎正彦氏（旧白土舎）寄贈 2015年度新収蔵作品 2000年
絵画	斎藤吾朗 描けば描くほど	味岡源太郎氏寄贈 2002年
絵画	中澤英明 子供の顔 - 寝ぐせ	2003年
絵画	森北伸 a colony	土崎正彦氏（旧白土舎）寄贈 2004年
絵画	藤代凡子 chapter 5 そして月と地球	土崎正彦氏（旧白土舎）寄贈 2006年
絵画	坂本夏子 Tiles、髪	土崎正彦氏（旧白土舎）寄贈 2015年度新収蔵作品 2007年
絵画	小林孝亘 Stairs	株式会社カサハラ画廊寄贈 2008年
絵画	安藤正子 おへその庭	2010年
絵画	設楽知昭 オオサカ	土崎正彦氏（旧白土舎）寄贈 2015年度新収蔵作品 2010年
絵画	奈良美智 Girl From the North Country	2014年

展示室4 大沢鉦一郎と宮脇晴

絵画	大沢鉦一郎 自画像	1919年
絵画	宮脇晴 自画像	1920年
水彩・素描	大沢鉦一郎 手	1916年
水彩・素描	大沢鉦一郎 自画像	1919年
水彩・素描	大沢鉦一郎 婦人像	1919年
水彩・素描	大沢鉦一郎 少女	1919年
水彩・素描	大沢鉦一郎 婦人像	1920年
絵画	大沢鉦一郎 大曽根風景	1919年
絵画	山田睦三郎 樹間風景	中嶋美瑛子氏寄贈 1919年
絵画	大沢鉦一郎 ジンベを着たる少女	株式会社東海銀行寄贈 1920年

絵画	宮脇晴 お手玉の少女	作者寄贈 1922年
水彩・素描	宮脇晴 鳥打帽の自画像	1922年
水彩・素描	宮脇晴 少女像	1922年
水彩・素描	宮脇晴 母の像	1925年
水彩・素描	宮脇晴 鉢巻の自画像	1925年
水彩・素描	大沢鉦一郎 少女	1928年
絵画	大沢鉦一郎 人形を持つ少女	1928年
絵画	大沢鉦一郎 ミルクのむ子	寄託作品 1928年
水彩・素描	大沢鉦一郎 女子海水浴下絵Ⅰ	1932年
絵画	大沢鉦一郎 少女海水浴	1932年
絵画	大沢鉦一郎 椿と少女	寄託作品 1944年
絵画	大沢鉦一郎 しべ	寄託作品 1966年
絵画	大沢鉦一郎 つり	寄託作品 1972年頃
絵画	宮脇晴 子等遊ぶ谿	1943年
絵画	宮脇晴 シャボン玉吹き	1956年
絵画	宮脇晴 月と雲と山	1967年
絵画	宮脇晴 焚火	1968年
水彩・素描	宮脇晴 木馬に乗る子	1935年
水彩・素描	宮脇晴 コートをはおる裸婦	1950年
水彩・素描	宮脇晴 K夫人像	1953年
水彩・素描	宮脇晴 黄の支那服	1958年
水彩・素描	宮脇晴 N嬢像	1955年

展示室5 20世紀以降の西洋美術		
絵画	エドワード・ジョン・ポインター 世界の若かりし頃	1891年
絵画	エドゥワール・ヴェイヤール 窓辺の女	1898年
絵画	パブロ・ピカソ 青い肩かけの女	株式会社東海銀行寄贈 1902年
絵画	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年
絵画	グスタフ・クリムト 人生は戦いなり（黄金の騎士）	トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 1903年
絵画	ラウル・デュフィ サントドレスの浜辺	1906年
絵画	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー グラスのある静物	1912年
絵画	ピエール・ボナール にぎやかな風景	1913年頃
絵画	エミール・ノルデ 静物L（アマゾン、能面等）	1915年
絵画	アンリ・マティス 待つ	中部電力株式会社寄贈 1921-22年
水彩・素描	パウル・クレー 蛾の踊り	1923年
絵画	アンドレ・ボーシャン フィアンセを訪ねて	1928年
絵画	フェルナン・レジェ 緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）	カニエプロバン株式会社からの寄附金による購入 1931年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭	1935年
絵画	パウル・クレー 回心した女の墮落	1939年
絵画	ジャン・デュビュッフェ 二人の脱走兵	1953年
絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
絵画	リュシアン・クートー 干潮の帽子	1962年
絵画	コンスタンチン・テレスコヴィッチ 屏風の前の日本女性	1966-67年
水彩・素描	アンドリュウ・ワイエス 氷塊 I	アンドリュウ・ワイエス夫妻寄贈 1968年
絵画	アンディ・ウォーホル レディース・アンド・ジェントルメン	1975年

絵画	ジョルジ・パバゾフ 無題	1928年頃
絵画	ピエール・ラブレード バルコニー	制作年不詳
版画	フランツ・ゲルチュ ナターシャ IV	1987-88年
水彩・素描	ラインハルト・セビエ 病室から	1992年
水彩	ラインハルト・セビエ 思想家	1993年
展示室6 APMoA Project, ARCH vol. 19 新野洋「日月の江（じつげつのかわ）」		
彫刻・立体	新野洋 日月の江	作家蔵 2015年
展示室7 うえからながめる		
絵画	川島理一郎 伎場の図	秋田利松氏寄贈 1925年
絵画	須田昶太 甲子園高校野球	木村定三コレクション M407 1988年
絵画	香月泰男 サッカー	木村定三コレクション JO200200019000 1970年
日本画	小林古径 洗濯場 その2	中央信託銀行株式会社からの寄附金により購入 1926年
絵画	北川民次 タスコからの遠望	1933年
資料	東松照明 『中央公論』	伊藤典子氏寄贈 1958年
資料	ロベール・ドローネー他 『ドローネーのエッフェル塔』	愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 1974年
日本画	青木蒲堂 養老山真景図	木村定三コレクション M1751 江戸時代後期（19世紀）
日本画	渡辺崋山 千山万水図〔重要文化財〕	田原市博物館蔵 19世紀後半
日本画	小川芋銭 海島秋来 稿本	木村定三コレクション M1819 1932年頃
日本画	小川芋銭 湖村秋晴	木村定三コレクション M1821 制作年不詳
日本画	 春日宮曼荼羅図	木村定三コレクション M2121 南北朝時代（14世紀）
日本画	渡辺清 源氏物語図	木村定三コレクション M2172 安政5（1858）年
日本画	菱川派 隅田川舟遊図	木村定三コレクション M2008 江戸時代前期-中期（17世紀末-18世紀初）
日本画	前田青邨 江島詣	1917年

水彩・素描	杉本健吉 週刊朝日第63回挿絵A「良人讒訴」原画	1951年
資料	杉本健吉 週刊朝日「新平家物語 篇外の下 新平家今昔紀行 会下山展望」挿絵Bの下絵	1954年
資料	杉本健吉 週刊朝日「新平家物語 凱歌の下にも」690のための未発表画稿	1972年頃
資料	杉本健吉 週刊朝日「新平家能登紀行（春海鎮男）」カット原画	1956年
版画	ヴォルス 地誌『ヴォルス版画集』より	1948-49年(1962年刷り)
版画	ヴォルス 街―横から『ヴォルス版画集』より	1948-49年(1962年刷り)
工芸	源内窯 緑釉日本地図角鉢	木村定三コレクション M2374 江戸時代(18世紀後半)
参考出品	愛知県図書館蔵 尾張国絵図（複製） 原本：元禄14（1701）年	
展示室8 木村定三コレクション 熊谷守一 洋画と日本画		
絵画	熊谷守一 猫	木村定三コレクション M2461 1963年
絵画	熊谷守一 氏家桃林	木村定三コレクション M250 1956年
絵画	熊谷守一 池水	木村定三コレクション M261 1961年
絵画	熊谷守一 雨滴	木村定三コレクション JO200200034000 1961年
絵画	熊谷守一 石亀	木村定三コレクション JO200200030000 1957年
絵画	熊谷守一 海の図	木村定三コレクション M247 1957年
絵画	熊谷守一 焚火	木村定三コレクション M2467 1956年
絵画	熊谷守一 ハルシャ菊	木村定三コレクション M255 1954年
絵画	熊谷守一 雨水	木村定三コレクション JO200200033000 1959年
日本画	熊谷守一 雨だれ	木村定三コレクション JJ200200026000 1950年
日本画	熊谷守一 縁側	木村定三コレクション M257 1949年
日本画	熊谷守一 富士山に鳥	木村定三コレクション M244 1943年
日本画	熊谷守一 百舌鳥の雛	木村定三コレクション M268 1951年
日本画	熊谷守一 薪	木村定三コレクション M177 制作年不詳

日本画	熊谷守一 鯉	木村定三コレクション JJ200200044000	1958年
日本画	熊谷守一 猫	木村定三コレクション JJ200200028000	制作年不詳
日本画	熊谷守一 蝶にゼラニウム	木村定三コレクション M276	1965年
日本画	熊谷守一 かけすに紅葉	木村定三コレクション M281	1965年

前室2

彫刻・立体	新野洋 形質の遺伝	作家蔵	2016年
彫刻・立体	新野洋 生命の房（2016.9.23）	作家蔵	2016年

ビデオテーク

映像	松本俊夫 愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 モナ・リザ	1973年
----	-------------------------------------	-------

10階ロビー

彫刻・立体	徳富満 2D or not 2D	寄託作品	1993年
彫刻・立体	徳富満 Flying Carpet	寄託作品	1994年

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻・立体	アルナルド・ポモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈	1984年
-------	----------------------	---------------	-------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
彫刻・立体	小田襄 円柱の構造	1988年

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

12階アートスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

2016年度第3期コレクション展展示作品リスト〔2017年1月3日(火)－3月20日(月)〕

展示室4では、新収蔵を記念してムンクの油彩と版画を紹介し、あわせて19世紀末から20世紀の西洋美術を展示した。展示室5は「極薄の深さ」と題して、キュビズム以降の絵画が獲得した重層的な空間表現を紹介。展示室7では平成27年度に収蔵したボルタンスキーのインスタレーション作品を初公開。木村定三コレクションでは仏教関係の絵画と工芸を紹介した。

前室1

彫刻・立体	ジョルジュ・ミンヌ 聖遺物箱を担ぐ少年	1897年
彫刻・立体	ケーテ・コルヴィッツ 恋人たちⅡ	1913年（1973年頃鑄造）

展示室4 新収蔵記念：ムンクと19世紀末・20世紀美術

版画	ポール・ゴーギャン 玉谷文男・飯子夫妻からの寄附金による購入 水浴するブルターニュの女たち	1889年
版画	ポール・ゴーギャン 玉谷文男・飯子夫妻からの寄附金による購入 テ・ポ（夜）	1893-94年
版画	トゥールーズ=ロートレック 寄託作品 ムーラン・ルージュ、ラ・グーリュ	1891年
版画	ピエール・ボナール 寄託作品 小さな洗濯屋さん	1896年
版画	エドゥワール・ヴェイヤール 寄託作品 母性	1896年
絵画	エドゥワール・ヴェイヤール 窓辺の女	1898年

版画	エドヴァルド・ムンク 寄託作品 二人だけで	1894年
版画	エドヴァルド・ムンク 病める子	1894年
版画	エドヴァルド・ムンク 接吻	1895年
版画	エドヴァルド・ムンク 老いた漁師	1897年
版画	エドヴァルド・ムンク 太った娼婦	1899年
版画	エドヴァルド・ムンク 祈る老人	1902年
版画	エドヴァルド・ムンク 髭の老人の頭部	1902年
版画	エドヴァルド・ムンク 橋の上の少女たち	1903年
絵画	エドヴァルド・ムンク 寺島八千代氏からの寄附金による購入 イブセン『幽霊』からの一場面	1906年
絵画	グスタフ・クリムト トヨタ自動車株式会社からの寄附金による購入 人生は戦いなり（黄金の騎士）	1903年

絵画	アルベール・マルケ ノートルダムの後陣	1902年
絵画	ピエール・ボナール 子供と猫	1906年頃
絵画	ラウル・デュフィ サンタドレスの浜辺	1906年
絵画	エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー 日の当たる庭	1935年
絵画	エミール・ノルデ 静物L（アマゾン、能面等）	1915年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー 夕暮れ	1903年
版画	ヴァシリー・カンディンスキー 鏡	1907年
版画	エミール・ノルデ 騎士	1906年
版画	エミール・ノルデ E.N. 自画像	1908年
版画	エーリヒ・ヘッケル 疲れ	1913年

版画	ケーテ・コルヴィッツ 死 (版画集『職工の蜂起』第2葉)	山村博男氏寄贈 1893-97年
版画	ケーテ・コルヴィッツ 鎌を研ぐ (版画集『農民戦争』第3葉)	山村博男氏寄贈 1905年
彫刻・立体	エルンスト・バルラッハ 忘我	1911-12年
展示室5 極薄の深さ キュビズム以後の絵画空間		
版画	ジョルジュ・ブラック 小さなキュビズム的ギター	1909(1954)年
版画	ジョルジュ・ブラック Fox	1911(1912)年
版画	ジョルジュ・ブラック Bass	1911-12(1950)年
版画	ジョルジュ・ブラック Pale Ale	1912(1954)年
版画	ジョルジュ・ブラック Job	1911(1912)年
版画	ジョルジュ・ブラック 静物 I	1911(1950)年
版画	ジョルジュ・ブラック コンポジション	1911(1950)年
版画	ジョルジュ・ブラック テーブルの上の静物	寄託作品 1910-11年
版画	パブロ・ピカソ 男の頭部	1911(1912)年
版画	パブロ・ピカソ 果物皿のある静物	1909年
版画	パブロ・ピカソ マックス・ジャコブ『聖マトレル』のための挿絵 レオニー嬢	1910(1911)年
版画	パブロ・ピカソ マックス・ジャコブ『聖マトレル』のための挿絵 テーブル	1910(1911)年
版画	パブロ・ピカソ マックス・ジャコブ『聖マトレル』のための挿絵 長椅子のレオニー嬢	1910(1911)年
版画	パブロ・ピカソ マックス・ジャコブ『聖マトレル』のための挿絵 修道院	1910(1911)年
版画	パブロ・ピカソ 男と犬	1914(1930)年
版画	パブロ・ピカソ ギターを持つ男	1915(1929)年
版画	ルイ・マルクーシ ギョーム・アポリネールの肖像	1912-20年
絵画	クルト・シュヴァイトース メルツ絵画52 美容	1920年
絵画	クルト・シュヴァイトース メルツ絵画305 ロボジッツ	1921年

絵画	ライオネル・ファイニンガー 夕暮れの海 I	1927年
絵画	ベン・ニコルソン 1933(スペインの絵葉書のあるコラージュ)	1933年
絵画	フランティシェク・クプカ 灰色と金色の展開	1919年
絵画	ジャック・ヴィヨン 存在	1920年
版画	ジャック・ヴィヨン 食卓	1912-13年
版画	ジャック・ヴィヨン 横顔のイヴォンス	1913年
版画	ジャック・ヴィヨン 機械のある工場	1914年
彫刻・立体	レイモン・デュシャン=ヴィヨン 恋人たち	1913年
水彩・素描	ジャコモ・バッラ 太陽の前を通過する水星(習作)	1914年
彫刻・立体	アレクサンダー・アーチペンコ 歩く女	1912年
資料	イードウイード・マイブリッジ 愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 『マイブリッジの人と動物の運動 完全版』	1979年
資料	エティエンヌ=ジュール・マレ 愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 『運動:1894 (空間の発見2:アール・ヴイヴァン叢書)』	1982年
資料	ラーズロー・モホリ=ナジ 愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 『絵画・写真・映画 (バウハウス叢書8)』(第二版)	1927年
版画	ラーズロー・モホリ=ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
版画	ラーズロー・モホリ=ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
版画	ラーズロー・モホリ=ナジ コンストラクション『ケストナー版画集6』より	1922-23年
写真	ラーズロー・モホリ=ナジ 無題 (フォトグラム)	寄託作品 1929年
版画	ラーズロー・モホリ=ナジ 無題『バウハウス・マイスター版画作品集』より	1923年
版画	マン・レイ 回転扉 道化	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 長距離	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 オーケストラ	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 会議	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 伝説	1926(1972)年

版画	マン・レイ 回転扉 ガラス壺	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 若い娘	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 影	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 コンクリート・ミキサー	1926(1972)年
版画	マン・レイ 回転扉 トンボ	1926(1972)年
水彩・素描	フランシス・ピカビア 糸巻き	1921-22年
絵画	ジョアン・ミロ 絵画	1925年
絵画	フェルナン・レジェ 緑の背景のコンポジション (葉のあるコンポジション)	カニエプロバン株式会社からの寄附金による購入 1931年
絵画	マックス・エルンスト ポーランドの騎士	1954年
絵画	ルーチョ・フォンタナ 空間概念	1960年
絵画	フランク・ステラ リヴァー・オブ・ポンズ IV	1969年
絵画	フランク・ステラ シンジェリ・ヴァリエーションズ	寄託作品 (6点組) 1977年
絵画	ジャン・フォートリエ 黒の青	寄託作品 1959年
絵画	アグネス・マーティン Untitled #3	寄託作品 1991年
絵画	アド・ラインハート No. 114	1950年
展示室6 APMoA Project, ARCH vol. 20 梅津庸一「未遂の花粉」		
絵画	梅津庸一 霊魂	個人蔵 2010年
絵画	梅津庸一 フロアールー 汚い光に混じった大きな花粉 —	作家蔵 2012-14年
絵画	梅津庸一 昼 — 東洋のわたし —	作家蔵 2015年
絵画	梅津庸一 智・感・情・A	作家蔵 2012-14年
絵画	梅津庸一 死霊がわたしを見ている	作家蔵 2016年
絵画	梅津庸一 個体発生は系統発生を繰り返す	作家蔵 2016年
絵画	高橋由一 厨房具	1878-79年

絵画	山本芳翠 月下の裸婦	1882-86年頃
絵画	坂本繁二郎 海岸の家	1915年
絵画	青木繁 太田の森	1902年
絵画	瑛九 黄色い花	1957-58年
絵画	上原欽二 ひまわり	1960年
絵画	織田広喜 オペラ栈敷	1966年
絵画	鶴岡政男 夜	桑原幹根氏寄贈 1955年
絵画	麻生三郎 胴体と頭と電球	1964年

展示室7 ボルトانسキー《影》

イシタリーニ	クリスチャン・ボルトانسキー	2015年度新収蔵作品
	影	1986年

展示室8 木村定三コレクション 仏教美術 絵画と工芸

工芸	木村定三コレクション M2481 黒漆散蓮華文螺鈿蒔絵磬架	江戸時代(17-18世紀)
工芸	木村定三コレクション M929 金銅孔雀文磬	室町時代（15-16世紀）
工芸	木村定三コレクション M931 銅蝶荷葉文磬	平安時代（12世紀）
工芸	木村定三コレクション M2909 銅孔雀文磬	鎌倉時代（12-13世紀）
工芸	木村定三コレクション M930 金銅蓮華形磬	鎌倉時代（13世紀）
工芸	木村定三コレクション M1450 金銅蓮唐草文透彫華籠	江戸時代(17-18世紀)

日本画	木村定三コレクション M2115 阿弥陀三尊来迎図	鎌倉時代(14世紀前半)
-----	------------------------------	--------------

工芸	木村定三コレクション M1013 宝冠装飾	室町－桃山時代(16-17世紀)
----	--------------------------	------------------

工芸	木村定三コレクション M956 金銅宝珠杵・銅鍍銀宝珠杵	鎌倉時代(13-14世紀)・室町時代(15-16世紀)
----	---------------------------------	-----------------------------

日本画	木村定三コレクション M2118 求聞持虚空蔵菩薩像	鎌倉－南北朝時代(14世紀)
-----	-------------------------------	----------------

工芸	木村定三コレクション M940 金銅輪宝	鎌倉－南北朝時代（14世紀）
----	-------------------------	----------------

彫刻	木村定三コレクション M1022 十一面観音懸仏	鎌倉－南北朝時代(14世紀)
----	-----------------------------	----------------

工芸	木村定三コレクション M965 金銅五鈷鈴	平安時代（12世紀）
----	--------------------------	------------

日本画	木村定三コレクション M2116 愛染明王像	鎌倉－南北朝時代（14世紀）
-----	---------------------------	----------------

工芸	木村定三コレクション M950 金銅三鈷杵	平安時代（12世紀）
----	--------------------------	------------

工芸	木村定三コレクション M949 銅三鈷杵	奈良時代－平安時代（8-9世紀）
----	-------------------------	------------------

考古	木村定三コレクション M985 瓦経	平安時代（12世紀）
----	-----------------------	------------

工芸	木村定三コレクション M309 銅経筒	平安時代（12世紀）
----	------------------------	------------

工芸	木村定三コレクション M994 銅経筒・陶製外容器	平安時代（12世紀）
----	------------------------------	------------

書	木村定三コレクション M988 紺紙金字解脱道論巻第七	平安時代（12世紀）
---	--------------------------------	------------

書	木村定三コレクション M987 無量義経断簡	平安時代（11世紀）
---	---------------------------	------------

書	木村定三コレクション M2320 摩訶般若波羅蜜経巻第三断簡	平安時代(12世紀)
---	-----------------------------------	------------

前室2

彫刻・立体	アレクサンダー・コールダー ゴースト	寄託作品 1976年
-------	-----------------------	---------------

彫刻・立体	吉田哲也 Untitled	吉田博氏寄贈 2016年度新収蔵作品 1996年
-------	------------------	-----------------------------

彫刻・立体	吉田哲也 Untitled	吉田博氏寄贈 2016年度新収蔵作品 1997年
-------	------------------	-----------------------------

彫刻・立体	イケムラレイコ 茶耳っ気のある	1993年
-------	--------------------	-------

ビデオテーク

映像	石田尚志 愛知芸術文化センター・アートライブラリー蔵 椅子とスクリーン	2002年
----	--	-------

10階屋上庭園（レストラン脇）

彫刻・立体	アルナルド・ボモドーロ 飛躍の瞬間	財団法人日本宝くじ協会寄贈 1984年
-------	----------------------	------------------------

屋外展示スペースⅠ（12階屋上）

彫刻・立体	コルネリス・ジットマン カリブの女	1983年
-------	----------------------	-------

彫刻・立体	加藤昭男 大地	1986年
-------	------------	-------

彫刻・立体	小田襄 円柱の構造	1988年
-------	--------------	-------

屋外展示スペースⅡ（10階）

彫刻・立体	今井瑾郎 大地	1992年
-------	------------	-------

12階アールスペースロビー

彫刻・立体	舟越保武 花を持つ少女	1966年
-------	----------------	-------

コレクション企画

日本で洋画、どこまで洋画？ — 高橋由一から現代画家まで —

会 期：2016年11月18日（金）－12月18日（日）
会 場：展示室1－3
担 当：平瀬礼太（愛知県美術館主任学芸員）・久保田有寿（愛知県美術館学芸員）
内 容：明治期半ばに「日本画」と対になるようにして生まれた「洋画」の展開と特質、
また戦後から現代の国際化した美術状況の中での位置づけなどを考察した。

入 場 者 数：6,282人（1日平均233人）

ギャラリートーク（学芸員による展示説明会）：

日 時：2016年12月3日（土）午前11時～11時40分 参加者17人
12月9日（金）午後6時30分～7時10分 参加者20人
12月17日（土）午前11時～11時40分 参加者20人

会 場：展示室1－3

担 当：平瀬礼太

ぺちゃくちゃ夜話会：

日 時：2016年11月25日（金）午後6時30分～7時 参加者15人
12月2日（金）午後6時30分～7時 参加者21人

会 場：展示室1－3

担 当：久保田有寿

ダンスパフォーマンス「螺旋」：

日 時：2016年12月10日（土）午後1時30分～1時50分 参加者50人
午後4時～4時20分 参加者61人

会 場：展示室1－3

出 演：高橋創（日本舞踊家）・玉川智美（バレエダンサー）

友の会会員のための特別鑑賞会：

日 時：2016年11月24日（木）
午前10時30分～11時30分 参加者14人
午後5時30分～7時 参加者25人

会 場：展示室1－3、アートスペースEF（愛知芸術文化センター12階）

担 当：平瀬礼太

先生方との鑑賞学習交流会：

日 時：2016年11月19日（土）午後1時30分～2時 参加者32人

会 場：展示室1－3

担 当：平瀬礼太



展示風景

APMoA Project, ARCH

この事業の大きな特徴として、愛知県美術館の学芸員と作家が展覧会を行う点があげられる。それを通して、美術館が作家の表現活動をサポートするだけでなく、企画全体が作家、美術館、鑑賞者の架け橋となることが意図されている。プロジェクト名「ARCH」とは、こうした思いが込められたものである。

また、作家の選択については、各学芸員が当館で今、取り上げべき作家を推薦し、それを美術館全体で議論して決定するかたちをとる。そのため、本企画は、作家、学芸員、画廊等にとって大きな刺激となり、中部圏における現代美術の交流、発信に寄与するものと期待される。

vol. 19 新野洋^{じつげつ かわ}「日月の江」

会 期：2016年11月18日（金）－12月18日（日）

会 場：展示室6ほか

主 催：愛知県美術館

担 当：中野悠（愛知県美術館学芸員）

内容と結果：新野洋（1979年、京都府生まれ）は、拠点にしている土地で目にする自然物を観察、採集し、造形を抜き出し組み換えることで生物のような造形物を制作する。本展で展示した作品も、各パーツは新野が山や湖、海岸で見つけた種子や流木などを基としている。抜き出した造形を組み合わせた、同じ造形を反復して用いたりすることで、巨大な動物の骨格のような造形物や、小さな昆虫の集合体のような造形物が作り出されている。

作品を構成する有機的な造形は、それらを採集した土地の生態系を反映してもいて、その場所に生息する生きものの、当然、

人間の営みとも無関係ではない。また、それらの造形は、抜き出された時点のかたちを留めると同時に、それらが形づくられるまでに辿ってきた時間を内包している。作品タイトルであり、展覧会タイトルにもなった「日月の江」は、作品に取り込まれた造形が辿った非常に長い時間の流れのイメージを重ねた、新野による造語である。

公立美術館での初個展となる本展では、新野にとって過去最大級の大きさとなる作品や、本展のための新作を交えたインスタレーションを展開した。照明を落とした空間の中に浮かび上がる造形は、植物と動物の境界を曖昧にすると同時に、そういった区別や時間を超越した「いきもの」の気配を凝縮したような個体として観る者の前に提示された。

パンフレット：

B4判 二つ折り4ページ（2,000部）

テキスト：中野悠

デザイン：伊藤敦志（AIRS）

撮 影：林育正

発 行：愛知県美術館

関連事業：

アーティストトーク（作家による展示説明会）

日 時：2016年11月20日（日）午後1時30分～3時

参加者18人

会 場：アーツスペースEF（愛知芸術文化センター12階）

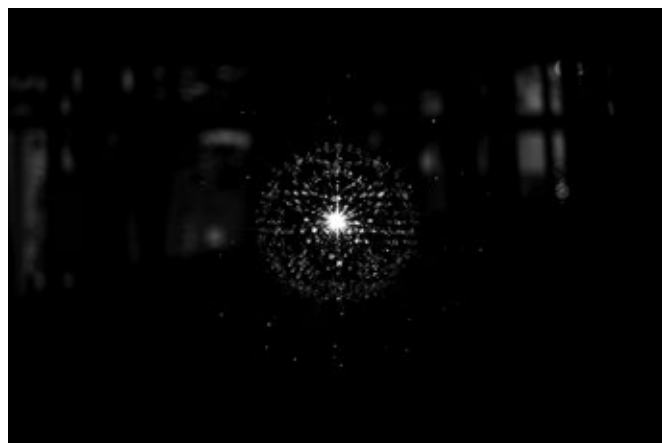
作 家：新野洋

関連記事：

・大野左紀子「新野洋『日月の江』愛知県美術館 植物・動物、現実・幻想の境目」『朝日新聞』2016年11月30日



展示風景



展示風景

vol. 20 梅津庸一「未遂の花粉」

会 期：2017年1月3日（火）－3月20日（月・祝）

会 場：展示室6ほか

主 催：愛知県美術館

担 当：中村史子（愛知県美術館学芸員）

内容と結果：梅津庸一（1982年、山形県生まれ）は日本における近代美術の展開とその末尾に位置する自分自身の関係を探求している作家である。梅津はラファエル・コランや黒田清輝等の日本近代美術史の源流にまで立ち戻り、その歴史を自らの身体を通して再解釈している。

本展覧会タイトルの「花粉」とは、梅津にとって芸術家が別の芸術家に様式や感性の影響を与える際の媒介物を意味する。そこで、今回は梅津の絵画作品と愛知県美術館所蔵の近代洋画を共に並置することで、美術史の中を縦横無尽に飛散する「花粉」の存在を浮かび上がらせようとした。それによって、梅津自身の作品の特徴がコンセプト、描画技法の両面で明らかになった。また、当館の作品を普段のコレクション展とは異なる形で紹介することもできた。

なお、この会期中に梅津は愛知県美術館外の別会場でも関連企画展を自主的に開催し、美術について考えるプラットフォーム作りにも寄与した。

パンフレット：

B4判 二つ折り4ページ（2,000部）

テキスト：中村史子「彼方からの花粉」

デザイン：伊藤敦志（AIRS）

撮 影：林育正

発 行：愛知県美術館

関連事業：

アーティストトーク（作家による展示説明会）

日 時：2017年3月5日（日）午後1時30分～3時

参加者40人

会 場：アートスペースEF（愛知芸術文化センター12階）

作 家：梅津庸一

シンポジウム「前衛、近代、コミュニティの再設定」

日 時：2017年3月4日（土）午後1時～5時

参加者80人

会 場：アートスペースEF

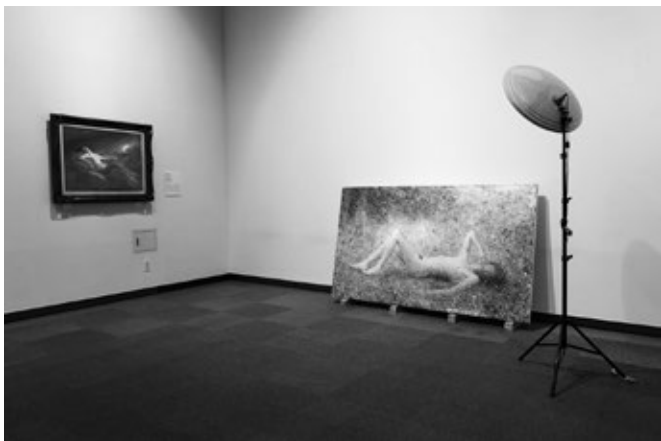
登 壇 者：梅津庸一、黒瀬陽平、土屋誠一、筒井宏樹、
中村史子、松浦寿夫

主 催：「前衛、近代、コミュニティの再設定」実行委員会

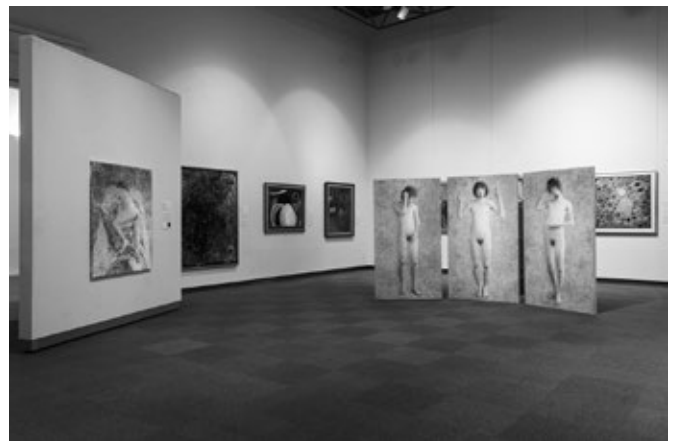
共 催：愛知県美術館

関連記事：

- ・「絵画は今、どこにあるのか」『月刊ギャラリー』2017年1月号
- ・星野太「密室の瘴気」『美術手帖』2017年3月号
- ・志田康広「梅津庸一 未遂の花粉展」『美術運動史』No.159
2017年2月
- ・鈴木俊晴「レビュー APMoA Project, ARCH vol.20 梅津庸一 未遂の花粉」ほか同時関連企画『芸術批評誌リア』No.40
2017年10月



展示風景



展示風景

移動美術館

名 称：愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 平成28年度
移動美術館「水のある風景」

会 期：2016年6月11日（土）～7月9日（土）

会 場：安城市民ギャラリー 1階展示室A・B・C

主 催：愛知県美術館、愛知県陶磁美術館、安城市、安城市
教育委員会

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、長久智子（愛
知県陶磁美術館）、田畑潤（愛知県陶磁美術館）

休 館 日：月曜日

観 覧 料：無料

出 品 点 数：愛知県美術館（油彩画17点、版画5点、日本画9点
計31点）
愛知県陶磁美術館（陶磁器7点）

入 場 者 数：3,240人（1日平均130人）

内容と結果：

愛知県美術館では、1994年度から年に1度、県内各地で移動美術館を開催している。

安城市での開催は、2010年に続き2度目の開催であるが、愛知県陶磁美術館の所蔵作品と併せて展示したのは初めてである。「水」をテーマに、愛知県美術館からは近代から現代までの油彩・版画・日本画の幅広い画題の作品を選択し、また愛知県陶磁美術館は古代から現代までの陶磁器を出品した。展示にあたっては、絵画作品と陶磁器作品の水の表現を呼応させる展示も試みた。また、団体鑑賞については、市から小・中学校に積極的な働きかけが行われ、見学学習での参加は1,186人であった。展示説明会（ギャラリートーク）では、一般の大人を対象に、児童を対象に使用している鑑賞ツールを用いてクイズ形式の鑑賞を行い、参加者からは好評を得た。



展示風景

関連事業：

記念講演会「美術のたのしみ」

日 時：2016年6月11日（土）午前11時～正午 参加者50人

会 場：安祥公民館 大会議室

講 師：島敦彦（愛知県美術館長）

展示説明会（ギャラリートーク）

日 時：2016年6月26日（日）
午前11時～正午（一般向け 参加者36人）
午後2時～3時（一般、大人と子どもペア向け
参加者20人）

会 場：安城市民ギャラリー 1階展示室A・B・C

講 師：藤島美菜、田畑潤

学校団体鑑賞会

日 時：2016年6月14日（火）、15日（水）、21日（火）、
22日（水）、23日（木）、28日（火）、29日（水）、
30日（木）、7月1日（金）、7日（木）、8日（金）

対 象：安城市内11校小学校6年生 1,181人

講 師：安城市民ギャラリー学芸員

愛知県美術館・愛知県陶磁美術館 平成28年度 移動美術館「水のある風景」展示作品リスト

番号	作家名	作品名	技法・材質	制作年	寸法(cm)	所 蔵
1	高橋由一(1828-1894)	不忍池	油彩、画布	1880年頃	67.0×97.2	愛知県美術館
2	加藤静児(1887-1942)	渚	油彩、画布	1910年	80.3×116.7	愛知県美術館
3	伊藤康(1898-1983)	エトルタ風景	油彩、画布	1928-30年	45.5×60.7	愛知県美術館
4	アンリ・マティス(1869-1954)	待つ	油彩、画布	1921-22年	61.0×50.0	愛知県美術館(中部電力株式会社寄贈)
5	大沢鉦一郎(1893-1973)	少女海水浴	油彩、画布	1932年	96.9×145.4	愛知県美術館
6	宮脇晴(1902-1985)	子等遊ぶ谿	油彩、画布	1943年	91.0×117.0	愛知県美術館
7	小林和作(1888-1974)	通り雨	油彩、画布	1935年	66.6×193.7	愛知県美術館
8	児島善三郎(1893-1962)	伊豆の海	油彩、画布	1951年	80.5×99.9	愛知県美術館
9	熊谷守一(1880-1977)	海の図	油彩、画布	1957年	31.3×40.5	愛知県美術館 (木村定三コレクション M248)
10	熊谷守一(1880-1977)	雨滴	油彩、画布	1959年	24.3×33.4	愛知県美術館 (木村定三コレクション JO200200034000)
11	牛島憲之(1900-1997)	埋れる船	油彩、画布	1962年	72.5×116.5	愛知県美術館
12	尾崎良二(1934-)	惜陽の海(伊良湖)	油彩、画布	1975年	53.0×41.0	愛知県美術館 (木村定三コレクション M39)
13	杉本健吉(1905-2004)	宇治川	油彩、画布	1973年	53.0×72.8	愛知県美術館
14	石井柏亭(1882-1958)	不忍池晩秋	リトグラフ、紙	1929年	26.6×18.6	愛知県美術館
15	川瀬巴水(1883-1957)	不忍池之雨	木版、紙	1929年	23.9×36.1	愛知県美術館
16	北川民次(1894-1989)	メキシコの浴み	木版、紙	1941年頃(1960)	25.2×29.0	愛知県美術館
17	駒井哲郎(1920-1976)	海底の祭	メゾチント・ソフト グラント他、紙	1951年	23.8×17.1	愛知県美術館
18	南桂子(1911-2004)	海辺の少女	カラーエッチング、 紙	1969年	35.7×28.8	愛知県美術館 (木村定三コレクション M2722)
19	村井正誠(1905-1999)	ゴルフジュアンの船	油彩、画布	1929年	100.0×80.3	愛知県美術館
20	木村忠太(1917-1987)	マルヌ河の運河	油彩、画布	1967年	114.0×145.8	愛知県美術館
21	堀浩哉(1947-)	水の肌へー84・2	油彩、画布	1984年	227.0×162.0	愛知県美術館
22	吉田克朗(1943-1999)	“触”湖底ー13、ー14	油彩・アクリル・ 黒鉛、画布	1992年	各194.0×259.0	愛知県美術館
23	川端玉章(1842-1913)	龍門之図	絹本墨画淡彩	1901年頃	174.0×86.0	愛知県美術館 (カニエプロパン株式会社寄贈)
24	横山大観(1868-1958)	飛泉	絹本着色	1900年頃	110.1×49.1	愛知県美術館
25	小川芋銭(1868-1938)	水芭蕉	紙本墨画淡彩	1926年	133.0×34.5	愛知県美術館 (木村定三コレクション JJ200200008000)
26	前田青邨(1885-1977)	朝鮮五題 水汲	紙本墨画淡彩	1939年	65.4×107.0	愛知県美術館 (木村定三コレクション JJ200100014000)
27	不染鉄(1891-1976)	南海之図	紙本墨画	1955年頃	295.0×119.5	愛知県美術館
28	平川敏夫(1924-2006)	黄山松雨	紙本墨画	1982年	166.0×360.0	愛知県美術館
29	嶋谷自然(1904-1993)	緑影	紙本着色	1950年	137.2×242.6	愛知県美術館
30	竹内浩一(1941-)	雨まじか	紙本着色	1983年	181.0×227.0	愛知県美術館
31	梶原緋佐子(1896-1988)	湯の宿	紙本着色	1977年	162.0×94.0	愛知県美術館

番号	作家名	作品名	制作地	制作年	最大寸(cm)	所 蔵
1	加藤土師萌(1900-1968)	吹墨色絵水禽文大皿	横浜	1963年	口径48.0	愛知県陶磁美術館(川崎音三氏寄贈)
2	深見陶治(1954-)	宙	京都	1992年	胴径62.0	愛知県陶磁美術館
3	塚本快示(1912-1990)	青白磁華文水盤	土岐	1978-81年頃	口径32.9	愛知県陶磁美術館
4	三浦小平二(1933-2006)	青磁飾り壺 「アフガン文 水汲み」	東京	1992年	高24.5	愛知県陶磁美術館(三浦竹子氏寄贈)
5		灰釉短頸壺	猿投	平安時代前期 (9世紀)	胴径24.0	愛知県陶磁美術館
6		鉄沙龍文壺	朝鮮半島	朝鮮時代 (17世紀後半)	胴径37.7	愛知県陶磁美術館(李吉秀コレクション)
7		緑釉生命樹	中国	後漢時代 (1-2世紀)	胴径41.8	愛知県陶磁美術館 (茂木計一郎コレクション)

愛知県陶磁美術館での長期展示

2008年度以降、愛知県陶磁美術館常設展で、サテライト展示と位置づけ長期展示を行っている。2016年度は4点を公開した。

入場者数：15,319人

「日本と世界のやきもの」内で展示。

番号	制作地・作家名	作品名	制作年
1	美濃	志野茶碗 銘「鵬」(木村定三コレクション M792)	桃山時代 (16世紀末)
2	中国・越州窯	青磁天鵝壺 (木村定三コレクション M1236)	東晋時代 (4 - 5世紀)
3	ベトナム	青磁瓜形水注 (木村定三コレクション M1232)	14世紀
4	京都・長次郎焼	黒樂茶碗 銘「苔志水」(木村定三コレクション M820)	桃山時代 (16世紀)

2 企画展

企画展の入場者数（1992年度から2016年度・展覧会別）

年度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)*
92年度	フォーヴィスムと日本近代洋画	92/10/30	92/12/20	45	41,343	919
	近代の日本画 ― 西洋との出会いと対話	93/01/05	93/02/11	33	26,166	793
	20世紀愛知の美術	93/02/19	93/03/21	27	11,585	429
	合 計			105	79,094	753
93年度	パウル・クレーの芸術	93/04/02	93/05/23	45	103,239	2,294
	小川芋銭展	93/06/04	93/07/04	27	26,106	967
	現代の陶芸1950-1990展	93/07/16	93/08/22	33	13,153	399
	安田靉彦展	93/09/03	93/10/17	39	43,003	1,103
	リール市美術館所蔵 ― バロック・ロココの絵画	93/10/29	94/01/16	63	47,042	747
	戸張孤雁と大正期の彫刻	94/01/25	94/03/06	36	7,996	222
	色彩の宇宙 クブカ展	94/03/18	94/05/08	45	33,652	748
	合 計			288	274,191	952
	累 計			393	353,285	899
94年度	杉本健吉展	94/05/14	94/06/02	17	19,568	1,151
	シカゴ美術館展 ― 近代絵画の100年 ―	94/06/10	94/07/24	38	89,204	2,347
	レジェ展	94/08/05	94/09/11	33	22,793	691
	聖なるかたち 後期ゴシックの木彫と板絵 ― アーヘン市立ズエルモント＝ルードヴィヒ美術館所蔵	94/09/23	94/11/03	37	27,976	756
	没後20年 香月泰男展	94/11/18	95/01/16	46	27,164	591
	アンドリュー・ワイエス展 ― アメリカの郷愁 心の風景を描く	95/02/03	95/04/02	51	120,177	2,356
	合 計			222	306,882	1,382
	累 計			615	660,167	1,073
95年度	ウィーンのジャポニスム	95/04/11	95/05/14	30	27,803	927
	フランツ・ゲルチュ	95/05/26	95/07/02	33	22,392	679
	還流 ― 日韓現代美術展	95/07/14	95/09/03	45	25,072	557
	ウィンザー城王立図書館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図	95/09/15	95/10/15	27	68,439	2,535
	表現主義彫刻	95/10/27	96/01/15	64	12,428	194
	リチャード・マイヤーとフランク・ステラ ― 建築と絵画の接点	96/02/02	96/04/07	57	16,599	291
	合 計			256	172,733	675
	累 計			871	832,900	956
96年度	大英博物館所蔵イタリア素描展	96/04/19	96/05/26	33	30,973	939
	抽象表現主義展 ― アメリカ黄金期の絵画	96/07/26	96/09/16	46	19,005	413
	富岡鉄斎展 ― 理想郷を語る	96/09/27	96/11/10	39	25,680	658
	北川民次展 ― 愛と人間をえがく	96/11/22	97/01/26	51	28,789	564
	カンディンスキーとミュンター 愛と創造の日々 1901-1917	97/02/08	97/03/16	32	22,891	715
	没後50年 ボナール展	97/03/28	97/05/18	45	54,094	1,202
	合 計			246	181,432	738
	累 計			1,117	1,014,332	908
97年度	理智と幻想のシュルレアリスト 北脇昇展	97/05/30	97/07/13	39	15,951	409
	モダンデザインの父 ウィリアム・モリス展	97/07/25	97/08/31	33	54,835	1,662
	20世紀美術の冒険 ― セザンヌ、ファン・ゴッホから現在まで ― アムステルダム市立美術館コレクション展	97/09/12	97/11/03	46	31,750	690
	イタリア美術 1945-1995 ― 見えるものと見えないもの	97/11/14	98/01/15	48	16,739	349
	近代美術の100年 ― 愛知県美術館コレクションの精華 ―	98/01/30	98/03/08	33	17,985	545
	川合玉堂展 ― めぐりゆく季節 ―	98/03/20	98/05/05	41	70,936	1,730
	合 計			240	208,196	867
	累 計			1,357	1,222,528	901
98年度	久野真・庄司達展 ― 鉄の絵画と布の彫刻 ―	98/05/15	98/06/07	21	10,236	487
	ナイアガラの虹を越えて… オルブライト＝ノックス美術館展 名画への誘い	98/06/19	98/08/02	39	66,342	1,701
	生誕100年記念 佐伯祐三展	98/08/16	98/09/27	37	39,972	1,080
	アルトゥング展	98/10/09	98/12/13	57	18,845	331
	没後50年 松本竣介展	99/01/08	99/02/21	39	24,551	630
	ブッサンとラファエッロ 借用と創造の秘密	99/03/05	99/04/11	33	13,387	406
	合 計			226	173,333	767
	累 計			1,583	1,395,861	882

年度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)*
99年度	ファウスト・メロッティ展	99/04/23	99/06/13	45	13,614	303
	前田寛治の芸術 ― 詩情と造形 ―	99/07/02	99/08/22	45	14,851	330
	危機の時代と絵画 1930-1945	98/09/03	98/10/17	39	8,379	215
	生誕100年 関根正二展	99/10/29	99/12/12	39	22,719	583
	セザンヌ展	00/01/05	00/03/12	59	171,060	2,899
	合 計			227	230,623	1,016
	累 計			1,810	1,626,484	899
00年度	レンブラント・フェルメールとその時代 アムステルダム国立美術館所蔵 17世紀オランダ美術展	00/04/07	00/06/18	63	104,226	1,654
	田中恭吉展	00/07/15	00/08/27	38	22,788	600
	加納光於「骨ノ鏡」あるいは色彩のミラージュ	00/09/15	00/11/05	45	11,606	258
	アメリカン・ドリームの世紀展	00/11/23	01/01/28	52	25,390	488
	岸田劉生展	01/02/09	01/04/01	45	38,752	861
	合 計			243	202,762	834
	累 計			2,053	1,829,246	891
01年度	メルツバッハー・コレクション展	01/04/13	01/05/27	39	47,245	1,211
	ロダンと日本	01/06/22	01/08/19	51	57,339	1,124
	バックミンスター・フラー展	01/09/14	01/11/04	45	10,962	244
	世界遺産 ポンペイ展	02/02/08	02/04/07	51	101,367	1,988
	合 計			186	216,913	1,166
	累 計			2,239	2,046,159	914
02年度	開館10周年記念 大英博物館所蔵フランス素描展	02/04/26	02/06/30	57	25,638	450
	開館10周年記念 韓国の色と光	02/07/26	02/09/23	52	10,652	205
	開館10周年記念 ミロ展	02/10/04	02/12/01	51	83,084	1,629
	開館10周年記念 中西夏之展 広さと近さ ― 絵の姿形	02/12/20	03/02/23	51	14,525	285
	合 計			211	133,899	635
	累 計			2,450	2,180,058	890
03年度	菱田春草展	03/04/11	03/05/18	33	53,578	1,624
	戸谷成雄 森の襲の行方	03/06/06	03/07/27	45	12,934	287
	レオン・スピリアルト展	03/08/05	03/09/23	43	15,674	365
	空海と高野山	03/10/10	03/11/24	40	109,612	2,740
	中村彝の全貌	04/01/06	04/02/29	48	20,004	417
	合 計			209	211,802	1,013
	累 計			2,659	2,391,860	900
04年度	ベン・ニコルソン	04/04/09	04/05/23	39	10,855	278
	野見山暁治展	04/06/04	04/07/19	40	7,310	183
	国吉康雄展	04/08/06	04/09/26	45	24,702	549
	木村定三コレクションによる熊谷守一展	04/10/08	04/12/05	51	17,555	344
	自然をめぐる千年の旅 ― 山水から風景へ ―	05/03/11	05/05/08	51	63,052	1,236
	合 計			226	123,474	546
	累 計			2,885	2,515,334	872
05年度	アジアの潜在力 ― 海と島が育んだ美術 ―	05/05/24	05/07/10	42	8,109	193
	ゴッホ美術館、クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品によるゴッホ展 ― 孤高の画家の原風景 ―	05/07/26	05/09/25	54	423,745	7,847
	生誕100年記念 吉原治良展	05/12/16	06/02/26	57	12,651	222
	江戸絵画 ― 小世界を愉しむ ― 木村定三コレクションの近世絵画	06/03/10	06/05/07	63	14,260	226
	合 計			216	458,765	2,124
	累 計			3,101	2,974,099	959
06年度	愛知曼陀羅 ― 東松照明の原風景 ―	06/06/02	06/07/23	45	18,181	404
	愉しき家	06/08/04	06/10/01	51	13,831	271
	ベルシャ文明展	06/10/13	06/12/10	51	62,194	1,219
	ルソーの見た夢／ルソーに見る夢	06/12/20	07/02/12	42	35,389	843
	合 計			189	129,595	686
	累 計			3,290	3,103,694	943
07年度	プライスコレクション 若沖と江戸絵画展	07/04/13	07/06/10	52	92,852	1,786
	愛知・岐阜・三重 三県立美術館共同企画 20世紀美術の森	07/06/29	07/08/26	51	13,964	274
	サイクルとリサイクル	07/09/07	07/11/04	51	11,595	227
	ロートレック展	07/11/13	08/01/14	49	50,042	1,021
	合 計			203	168,453	830
	累 計			3,493	3,272,147	937

年度	展 覧 会 タ イ ト ル	会 期		日数(日)	入場者(人)	一日平均(人)*
08年度	杉本健吉展	08/04/04	08/06/01	51	16,721	328
	誌上のユートピア ― 近代日本の絵画と美術雑誌 1889-1915 ―	08/06/14	08/07/27	38	9,545	251
	ライオネル・ファイニンガー	08/10/17	08/12/23	58	12,693	219
	アンドリュース・ワイエス 創造への道程	09/01/04	09/03/08	55	62,245	1,132
	合 計			202	101,204	501
	累 計			3,695	3,373,351	913
09年度	アヴァンギャルド・チャイナ〈中国当代美術〉二十年	09/04/03	09/05/24	45	11,051	246
	生活と芸術 アーツ&クラフツ展 ウィリアム・モリスから民芸まで	09/06/12	09/08/16	57	35,338	620
	あいちトリエンナーレ2010 プレイベント 放課後のはらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち	09/08/28	09/10/25	51	13,702	269
	日本の自画像 写真が描く戦後 1945-1964	09/11/06	09/12/13	33	10,580	321
	大ローマ展	10/01/06	10/03/22	65	128,496	1,977
	合 計			251	199,167	793
	累 計			3,946	3,572,518	905
10年度	小川芋銭と珊瑚会の画家たち	10/04/09	10/05/23	39	8,607	221
	あいちトリエンナーレ2010	10/08/21	10/10/31	**65	***147,821	2,274
	レンバツハハウス美術館所蔵 カンディンスキーと青騎士	11/02/15	11/04/17	54	22,647	419
	合 計			158	179,075	1,133
	累 計			4,104	3,751,593	914
11年度	麻生三郎展	11/04/29	11/06/12	39	9,532	244
	棟方志功 祈りと旅	11/07/09	11/09/04	50	51,966	1,039
	島田章三展	11/09/16	11/10/30	39	10,881	279
	生誕100年 ジャクソン・ポロック展	11/11/11	12/01/22	58	42,531	733
	合 計			186	114,910	618
	累 計			4,290	3,866,503	901
12年度	魔術／美術 ― 幻視の技術と内なる異界 ―	12/04/13	12/06/24	63	26,637	423
	マックス・エルンスト ― フィギュア×スケープ	12/07/13	12/09/09	51	18,148	356
	生誕150年記念 クリムト黄金の騎士をめぐる物語	12/12/21	13/02/11	41	82,214	2,005
	円山応挙展	13/03/01	13/04/14	39	73,022	1,872
	合 計			194	200,021	1,031
	累 計			4,484	4,066,524	907
13年度	ブーシキン美術館展 フランス絵画の300年	13/04/26	13/06/23	52	123,915	2,383
	あいちトレエンナーレ2013	13/08/10	13/10/27	**72	***114,869	1,595
	印象派を超えて 点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで	14/02/25	14/04/06	39	78,666	2,017
	合 計			163	317,450	1,948
	累 計			4,647	4,383,974	943
14年度	シャガール展	14/04/17	14/06/08	47	82,328	1,752
	これからの写真	14/08/01	14/09/28	51	16,440	322
	デュフィ展	14/10/09	14/12/07	52	39,068	751
	ロイヤル・アカデミー展	15/02/03	15/04/05	54	41,919	776
	合 計			204	179,755	881
	累 計			4,851	4,563,729	941
15年度	『月映』展	15/04/17	15/05/31	39	9,561	245
	生誕110年 片岡球子展	15/06/12	15/07/26	39	37,405	959
	芸術植物園	15/08/07	15/10/04	51	17,900	351
	ピカソ、天才の秘密	16/01/03	16/03/21	69	123,386	1,788
	合 計			198	188,252	951
	累 計			5,049	4,751,981	941
16年度	黄金伝説展	16/04/01	16/05/29	51	38,185	749
	あいちトリエンナーレ2016	16/08/11	16/10/23	**68	***75,575	1,111
	ゴッホとゴーギャン展	17/01/03	17/03/20	67	225,041	3,359
	合 計			186	338,801	1,822
	累 計			5,235	5,090,782	972

* 小数点以下を四捨五入

** 愛知県美術館の開館日数

*** 愛知県美術館の入場者数

企画展の開催状況（2016（平成28）年度）

黄金伝説展

会 期：2016年4月1日（金）－5月29日（日）
会 場：愛知県美術館前室1，2 展示室4，5，7，8
主 催：愛知県美術館、中日新聞社、CBCテレビ
後 援：外務省、文化庁、イタリア大使館、オランダ王国大使館、ギリシャ大使館、ドイツ連邦共和国総領事館、ブルガリア共和国大使館

特別協賛：住友金属鉱山

協 力：アリタリアーイタリア航空、エールフランス航空、KLMオランダ航空、名古屋市交通局、名古屋鉄道、近畿日本鉄道

担 当：藤島美菜（愛知県美術館主任学芸員）、森美樹（愛知県美術館主任学芸員）

休 館 日：毎週月曜日

観 覧 料：一般1,400（1,200）円、高校・大学生1,100（900）円、中学生以下無料
（ ）内は前売り及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：276点

入 場 者 数：38,185人（1日平均749人）

展覧会巡回先：国立西洋美術館

2015年10月16日－2016年1月11日（100,571人）

宮城県美術館

2016年1月22日－3月6日（22,857人）

内容と結果：

ギリシャ神話には、黄金にまつわる様々な物語が語られ、これら黄金をテーマとした物語は、古代からルネサンスやバロック、20世紀に至るまで、多くの絵画や彫刻作品に表現されてきた。約40年前、黒海沿岸のブルガリアの町ヴァルナで発見された大量の墓の副葬品である金製品は、ギリシャ神話に伝えられた、黒海の果ての黄金豊かな国が、単なる伝説ではないことを

裏付けた。今回の展示の冒頭の章では、この発掘された墓の一つを復元し、エジプト最古のピラミッドより以前の、今から6000年以上前の銅石器時代に加工された金製品を、発掘されたままの状態を再現し展示した。全体を構成する金製品は、一つの地域に限らず、古代ギリシャ、トラキア、エトルリア、古代ローマと章を分け、古代の黒海や地中海沿岸の国々で繁栄を誇った各古代文明の技巧凝らされた傑作を展示した。なかでも、ブルガリアの古代民族トラキア地域の土中や墳墓から発掘された、宗教性高い荘厳な酒杯や頭飾りはブルガリアの宝であり、ギリシャ詩人ホメロスが語る、トラキアと黄金の結びつきをまさに裏付けたものとして見ごたえある展示となった。

あわせて、古代ギリシャの壺絵や16世紀から20世紀の絵画や彫刻に様々な表現された、黄金を主題とした様々の作品の中に、愛知県美術館の代表的な作品、グスタフ・クリムト《人生は戦いなり（黄金の騎士）》（1903年）を展示した。古代から20世紀に至るまで、ヨーロッパの多くの作家が黄金に魅了され、神話と共に黄金の神性や崇高性を表現してきた美術の歴史的な流れのなかで、当館の作品を位置づける絶好の機会となった。

直前の企画展の展示スケジュールの調整から、開館以来初めて、企画展示室に通常コレクション展示室である第4室から第8室までを使用した。LEDを効果的に使用した展示の工夫に加えて、また異なった新しい印象の展示室を演出することが出来た。

展覧会カタログ：

B5変形（25.1×20.4cm） 307ページ

編集 飯塚隆（国立西洋美術館研究員）、東京新聞文化事業部

制作 アイメックス・ファインアート

発行 東京新聞、中日新聞社、TBSテレビ

関連事業：

1 記念講演会

日 時：2016年4月16日（土）午後1時30分～3時

参加者170人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：飯塚隆（国立西洋美術館研究員）

演 題：「古代美術の競演」

2 スライドトーク（学芸員による展示説明会）

第1回

日 時：2016年4月15日（金）午後6時～6時40分

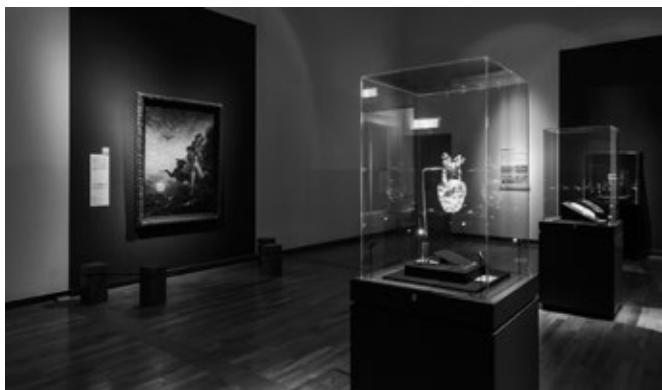
参加者60人

会 場：アートスペースEF（愛知芸術文化センター12階）

講 師：藤島美菜

第2回

日 時：2016年4月23日（土）午前11時～11時40分



展示風景

参加者60人

会 場：アートスペースEF

講 師：藤島美菜

第3回

日 時：2016年5月7日（土）午前11時～11時40分

参加者60人

会 場：アートスペースEF

講 師：藤島美菜

第4回

日 時：2016年5月15日（日）午前11時～11時40分

参加者60人

会 場：アートスペースEF

講 師：藤島美菜

3 友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2016年4月14日（木）

午前10時30分～11時30分 参加者27人

午後5時30分～7時 参加者31人

会 場：アートスペースEF

担当：藤島美菜

4 先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2016年4月23日（土）午後1時30分～2時

参加者43人

会 場：アートスペースEF

担 当：藤島美菜

新聞』朝刊 2016年3月26日

・杉全美帆子「黄金伝説展で古代の金製品に心わしづかみ」『中日新聞』朝刊 2016年4月30日

・遠藤憲一「黄金伝説展①「動物模様のある留め金」」『中日新聞』朝刊 2016年4月5日

・辛酸なめ子「黄金伝説展②「エロスが表された耳飾り一対」」『中日新聞』朝刊 2016年4月6日

・田川啓二「黄金伝説展③「耳飾り」」『中日新聞』朝刊 2016年4月7日

・里中満智子「黄金伝説展④「金の羊毛を手にするイアソン」」『中日新聞』朝刊 2016年4月8日

・四方義啓「黄金伝説展⑤「女神をかたどったリュトン」」『中日新聞』朝刊 2016年4月9日

・飯塚隆「「黄金伝説展」に寄せて 永遠の輝きのつかいの間の競演」『中日新聞』夕刊 2016年4月22日

・無記名「グラフ「黄金伝説」展 来月29日まで 愛知県美術館 時空を超え輝きと対話 6000年以上前世界最古の金製品も」『中日新聞』夕刊 2016年4月22日

・福本英司「魔性の輝き 黄金伝説展から 上 欲望を刺激 昔も今も」『中日新聞』朝刊 2016年5月6日

・福本英司「魔性の輝き 黄金伝説展から 中 儀式的要素、権力の象徴」『中日新聞』朝刊 2016年5月7日

・福本英司「魔性の輝き 黄金伝説展から 下 黄金リング 神も夢中に」『中日新聞』朝刊 2016年5月8日



展示風景

関連記事：

- ・田中由紀子「世界最高峰の金工品が愛知に一挙集結、6000年を経て色あせない、黄金の魅力をご堪能あれ！」『AAC』2016年87号
- ・無記名「世界最古の金製品が登場！黄金に魅了された人類の歴史」『月刊 アートコレクターズ』2016年79号
- ・青柳正規「黄金伝説 4月1日～5月29日 愛知県美術館」『中日新聞』朝刊 2016年3月26日



ゴッホとゴーギャン展

会 期：2017年1月3日（火）－3月20日（月・振休）
会 場：愛知県美術館展示室1－3
主 催：愛知県美術館、中日新聞社、CBCテレビ
後 援：オランダ王国大使館
特別協賛：東海東京証券
協 賛：アイシン・エイ・ダブリュ、日本写真印刷
協 力：エールフランス航空／KLMオランダ航空、日本航空、オランダ政府観光局、ライトアンドリヒト、JR東海、近畿日本鉄道
担 当：森美樹（愛知県美術館主任学芸員）、塩津青夏（愛知県美術館学芸員）、中野悠（愛知県美術館学芸員）
休 館 日：毎週月曜日（ただし1月9日（月・祝）、3月20日（月・祝）は開館）、1月10日（火）
観 覧 料：一般1,500（1,300）円、高校・大学生1,200（1,000）円、中学生以下無料
（ ）内は前売り及び20名以上の団体料金

出 品 点 数：64点

入 場 者 数：225,041人（1日平均3,359人）

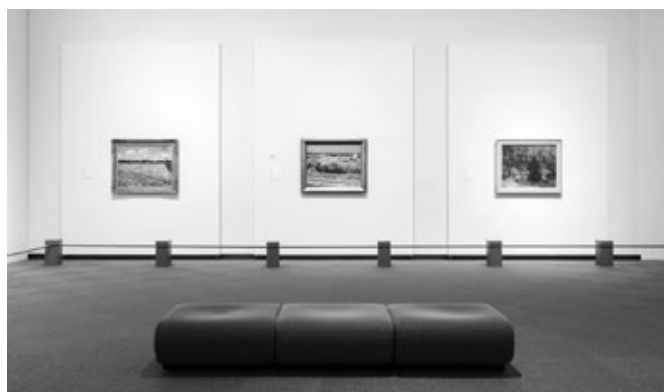
展覧会巡回先：東京都美術館

2016年10月8日－12月18日（391,791人）

内容と結果：

19世紀末に活躍し、100年以上たった今なお、世界中の多くの人々に愛されてやまない画家フィンセント・ファン・ゴッホとポール・ゴーギャンの関係性をテーマにした展覧会。パリで出会い、アルルで3か月間共同生活を送り、その後も文通を行っていた彼らの交流を中心に、それぞれの初期から晩年の代表的な作品で制作活動をたどった。また彼らに影響を与えたバルビゾン派や印象派の画家たちの作品も展示した。

ファン・ゴッホの代表的な作品を多く所蔵するファン・ゴッホ美術館とクレラー＝ミュラー美術館から多大な協力を得ることによって、ファン・ゴッホの作品は一般的に知られているよ



展示風景

うな重要な代表作を数多く展示することができた。一方、ゴーギャンの作品は借用がきわめて困難であり、ファン・ゴッホの作品数と同じ程度に集めることは叶わなかったが、世界各地の美術館から見ごたえのある作品を出品することができた。特にアルルでの共同生活時にファン・ゴッホが購入し、ゴーギャンが使用した椅子を描いた、ファン・ゴッホ《ゴーギャンの椅子》（1888年）と、晩年ゴーギャンが描いた《肘掛け椅子のひまわり》（1901年）の展示は、展覧会の内容的にも、広報的な役割という意味でも、本展の象徴として非常に効果的であった。

ファン・ゴッホとゴーギャンの関係性に焦点を当てた展覧会は、日本初の試みであり、巡回先の東京都美術館で開催された時から話題となり、注目を集めた。当館では、歴代2位となる来場者数を記録した。初めて美術館に來たという方も多く、展覧会に対する関心の高さがうかがえた。

展覧会カタログ：

A 4 変形（28×22cm） 191ページ

編集 東京都美術館、愛知県美術館、東京新聞、中日新聞社、TBSテレビ

制作 日本写真印刷

印刷 日本写真印刷

発行 東京新聞、中日新聞社、TBSテレビ

関連事業：

1 記念講演会①

日 時：2017年1月22日（日） 午後1時30分～3時30分
参加者147人

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

講 師：小泉順也（一橋大学大学院准教授）

演 題：「ゴッホとゴーギャン：イメージの反復と転用」

2 記念講演会②

日 時：2017年2月19日（日） 午後1時30分～3時30分
参加者184人

会 場：アートスペースA

講 師：森村泰昌（美術家）

演 題：「ゴッホとゴーギャン、どちらが好きか」

3 スライドトーク（学芸員による展示説明会）

第1回

日 時：2017年1月20日（金） 午後6時30分～7時10分
参加者42人

会 場：アートスペースA

講 師：森美樹

第2回

日 時：2017年1月29日（日） 午前11時～11時40分

参加者94人

会 場：アートスペースA

講 師：森美樹

第3回

日 時：2017年2月4日（土）午前11時～11時40分

参加者75人

会 場：アートスペースA

講 師：森美樹

第4回

日 時：2017年2月11日（土・祝）午前11時～11時40分

参加者98人

会 場：アートスペースA

講 師：森美樹

第5回

日 時：2017年2月23日（木）午後2時～2時40分

参加者115人

会 場：アートスペースA

講 師：森美樹

第6回

日 時：2017年3月5日（日）午前11時～11時40分

参加者65人

会 場：アートスペースA

講 師：森美樹

4 友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2017年1月12日（木）

午前10時30分～11時30分 参加者21人

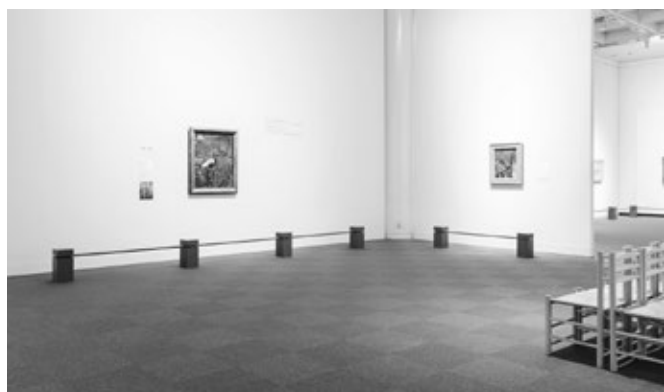
午後5時30分～7時 参加者49人

会 場：アートスペースEF（愛知芸術文化センター12階）

担 当：森美樹

5 先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2017年2月18日（土）午後1時30分～2時



展示風景

参加者53人

会 場：アートスペースA

担 当：森美樹

関連記事：

- ・無記名「ゴッホとゴーギャン 交流に焦点の展覧会」『中日新聞』朝刊 2016年6月2日
- ・無記名「ゴッホとゴーギャン展 謎めいた友情の真実」『中日新聞』朝刊 2016年10月1日
- ・六人部昭典「世界と日本 大図解シリーズ ゴッホとゴーギャン 自画像が語るもの」『中日新聞』朝刊 2016年10月2日
- ・樋口薫「ひまわりと青空 ゴッホとゴーギャン展にむけて ①～⑤」2016年10月12、13、15、18、19日
- ・田中由紀子「嫉妬、不安、そして葛藤…。複雑な友情で結ばれた関係に焦点を当てた日本初の二人展」『AAC』2016年12月号
- ・林綾野「ゴッホとゴーギャン 黄色い家の9週間 上・中・下」『Flying Postman Press』2016年10、11、12月号
- ・藤沢有哉「ゴッホとゴーギャン展 一瞬の交差 永遠の輝き」『中日新聞』朝刊 2016年12月15日
- ・森村泰昌「ゴッホとゴーギャンは友達である」『中日新聞』夕刊 2016年11月15日
- ・平原綾香、日比野克彦、中川翔子、古澤巖、鶴田真由、浅井新平「私の一枚 ゴッホとゴーギャン展 ①～⑤」『中日新聞』朝刊 2016年12月7日～15日
- ・三田村泰和「県美『ゴッホとゴーギャン展』準備OK、来月開幕」『中日新聞』朝刊 2016年12月27日
- ・無記名「ゴッホとゴーギャン 来月開幕前に内覧会」『中日新聞』朝刊 2016年12月28日
- ・無記名「ゴッホとゴーギャン 交流をたどる 愛知県美術館で展示始まる」『中日新聞』朝刊 2017年1月4日
- ・熊田マリ「ゴッホとゴーギャン展に寄せて 二人を結んだ弟テオ」『中日新聞』朝刊 2017年1月7日
- ・千葉真智子「ゴッホとゴーギャン展 2人の独自性 くっきりと」『日本経済新聞』夕刊 2017年1月18日
- ・塚田真裕「ゴッホとゴーギャン展 絵筆が語る二人の絆」『中日新聞』夕刊 2017年1月20日
- ・無記名「お仕事ファイル 空間デザイナー 展示が引き立つ会場演出」『中日新聞』朝刊 2017年1月22日
- ・リゼット・ベルサース「名画を解く ゴッホとゴーギャン展① 自画像」『中日新聞』朝刊 2017年1月24日
- ・ニンケ・バックカー「名画を解く ゴッホとゴーギャン展② ゴーギャンの椅子」『中日新聞』朝刊 2017年1月25日
- ・アンネ・ビルギッテ・フォンスマルク「名画を解く ゴッホとゴーギャン展③ ブドウの収穫、人間の悲惨」『中日新聞』朝刊 2017年1月26日

- ・ フランシス・フォール「名画を解く ゴッホとゴーギャン展④
タヒチの3人」『中日新聞』朝刊 2017年1月27日
- ・ 三品信（構成）、佐藤正明（イラスト）「名作のとびら ゴッホ
《ジョゼフ・ルーランの肖像》 ゴーギャン《自画像》」『中日新
聞』 2017年1月27日
- ・ 浅野和生「ゴッホとゴーギャン展 2人の軌跡 作品で追う」
『中日新聞』夕刊 2017年1月27日
- ・ 森美樹（監修）「美術館に行こう」「ゴッホとゴーギャン展の楽
しみ方」『C life』2017年2月号
- ・ 中島咲樹「本に描かれたゴッホら 県図書館で小説400冊展示」
『中日新聞』朝刊 2017年2月2日
- ・ 木村泰司「親子で学ぶ ゴッホとゴーギャン展 ①～⑤」『中
日新聞』朝刊 2017年2月14～19日
- ・ 安藤孝憲「来場10万人 瀬戸の母子 県美、ゴッホとゴーギヤ
ン展」『中日新聞』朝刊 2017年2月12日
- ・ 河北彬光「両巨匠への熱い思い ゴッホとゴーギャン 森村さ
ん講演」『中日新聞』朝刊 2017年2月20日
- ・ 白田信之「編集局デスク 画家を愛した人々」『中日新聞』朝
刊 2017年3月4日
- ・ 無記名「20万人目に渡辺さん母子 名古屋『ゴッホとゴーギヤ
ン展』」『中日新聞』朝刊 2017年3月1日



3 関連事業

あいちトリエンナーレ2016（国際芸術祭）

会 期：2016年8月11日（木・祝）－10月23日（日）
主 催：あいちトリエンナーレ実行委員会
後 援：在大阪イタリア総領事館、スペイン大使館、ブラジル大使館、メキシコ大使館、イタリア文化会館－大阪、在日フランス大使館、アンスティチュ・フランス日本、駐日韓国大使館 韓国文化院、ブリティッシュ・カウンシル

参加アーティスト数：119組 ※38の国と地域から参加

愛知県美術館兼務担当者：越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）、石崎尚（愛知県美術館学芸員）、中村史子（愛知県美術館学芸員）、副田一穂（愛知県美術館学芸員）

総入場者数：601,635人

内容と結果：

芸術監督に港千尋氏を迎え、愛知県で三回目となる国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2016」を開催した。今回のテーマは「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」。2010年の第一回は「都市の祝祭」というテーマを掲げ、「都市」を舞台にアートが本来持っている祝祭性を結びつけた。第二回は、2011年3月の東日本大震災による世界への衝撃を受けとめ、「揺れる大地 一われわれはどこに立っているのか 一場所、記憶、そして

復活」をテーマとして、不安定な「大地」とアートの持つ鋭敏な感受性とを絡めた。今回は「人間」そして「旅」がテーマとなった。先史時代より現代まで、何かを作り出すことが人間の証しとなってきた。また、人間は旅することを楽しむ一方で、やむを得ず移動を余儀なくされてきた歴史も持っている。どのような状況におかれても、創造を続けるたくましい人間の姿や考えを、アートを通して見つめ直し、世界に発信した。夏から秋にかけての74日間の会期中、国内外の119組の参加アーティストやグループによる最先端の美術表現や国内外の映像そして、パフォーマンスアーツを紹介するとともに、モーツァルトのオペラ『魔笛』を上演。併せて、テーマに準じたレクチャーや、鑑賞や作品制作プログラムなど一般から専門家まで、子どもから大人までを対象にした普及・教育の活動も展開した。前回の名古屋市内と岡崎市内に加えて、豊橋市内でも展示や公演が展開された。週末にかけて、作品展示を行う移動型の展示であるモバイル・トリエンナーレも、一宮市、設楽町、大府市そして安城市の4市町で開催された。こうして、あいちトリエンナーレの名にふさわしく、県内広域の各地で展開されることで地域に根ざすとともに、その魅力の向上に繋がる事業を行った。

*助成、協賛、協力、会場提供、認定、関連事業、関連記事、カタログ等の発行物については、全てを表記することが困難なため、ここでは省いている。

*休館日及び観覧料が、会場や企画ごとによって異なるため、ここでは省いている。



展示風景



展示風景

4 映像事業

1920年代に興ったアヴァンギャルド映画を源流とする、映像表現の可能性を拡張するような実験的な動向に着目し、上映会の開催やオリジナル映像作品制作などの事業を行った。

愛知県美術館コレクション作品 キドラット・タヒミック『フィリピンふんどし 日本の夏』上映会

「あいちトリエンナーレ2016」映像プログラムに新作長編『バリクバヤン#1』（2015年）の出品が決まった、フィリピンの先駆的インディペンデント映画作家キドラット・タヒミックが監督した『フィリピンふんどし 日本の夏』（1996年、愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品第5弾）などを上映した。

日 時：2016年6月19日（日）午後2時～

会 場：アートスペースA（愛知芸術文化センター12階）

入場者：15人

第21回アートフィルム・フェスティバル

「日本で洋画、どこまで洋画？」展関連プログラム、特集プログラム「水のイメージ」を実施した。また愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品の最新作である、田村友一郎『アポロンの背中』（2016年、シリーズ第25弾）を初公開するとともに、作家によるトークを行った。

会 期：2016年11月18日（金）～11月25日（金）＊7日間開催（11月21日（月）休映、上映時間は日により異なる）

会 場：アートスペースA

入場者：434人（延べ）

アーティストトーク：2016年11月19日（土）

午後2時～3時30分（田村友一郎『アポロンの背中』初公開終了後 参加者35人）

作 家：田村友一郎

聞き手：越後谷卓司（愛知県美術館主任学芸員）



アーティストトーク

愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品の制作

草野なつかを担当作家に選出し、シリーズ通算第26弾『王国（あるいはその家について）』の制作を行った。

本シリーズは、“身体”を統一テーマに様々な作品を生み出してきたが、本作では、映画における“演技”とは何か、演ずることは役者の身体やこころにどのように影響するのかという、映画の根本的な命題を考察することを試みた。



5 教育普及

教育普及事業の実施状況（2016（平成28）年度）

美術館では、社会の多様なニーズに応えるため、教育普及事業の充実に努めてきた。講演会や作品解説会については、館内で行うギャラリートークなどのほか、県内市町村へ出向いて講演会などを開催する県政お届け講座の一環として「出前講座」を実施した。また、教育現場との連携では、「鑑賞学習交流会」のほか、「鑑賞学習ワーキンググループ（研究会）」を開催した。鑑賞学習ワーキンググループの教員と協力して、子ども鑑賞会を開催した。友の会との連携では、会員向け特別鑑賞会などを開いた一方、友の会からは、企画展の広報や所蔵作品の保存備品作成作業、モニター協力などの支援を受けた。また、トリエンナーレ事務局と連携し、視覚に障がいのある方向けのプログラムを実施した。

出版・発行

企画展に関するもの

○黄金伝説展

・カタログ

B 5 変形（25.1×20.4cm） 307ページ

編集 飯塚隆（国立西洋美術館研究員）、東京新聞文化事業部

制作 アイメックス・ファインアート

発行 東京新聞、中日新聞社、TBSテレビ

カタログ内容

黄金の遺産：起源、神話、技 飯塚隆

図版

第一章 世界最古の金

第二章 古代ギリシャ

第三章 トラキア

第四章 エトルリアと古代ローマ

文献略記

出品作品リスト

・鑑賞ガイド（作品解説） A 3 二つ折り



カタログ・表紙



鑑賞ガイド

○ゴッホとゴーギャン展

・カタログ

A 4 変形（28×22cm） 191ページ

編集 東京都美術館、愛知県美術館、東京新聞、中日新聞社、TBSテレビ

制作 日本写真印刷

印刷 日本写真印刷

発行 東京新聞、中日新聞社、TBSテレビ

カタログ内容

ファン・ゴッホとゴーギャン——現実と想像 シラール・ファン・ヒューフテン

図版

第一章 近代絵画のパイオニア誕生

第二章 新しい絵画、新たな刺激と仲間との出会い

第三章 ポン＝タヴェンのゴーギャン、アルルのファン・ゴッホ、そして共同生活へ

第四章 共同生活後のファン・ゴッホとゴーギャン

第五章 タヒチのゴーギャン

ファン・ゴッホ／ゴーギャン関連地図

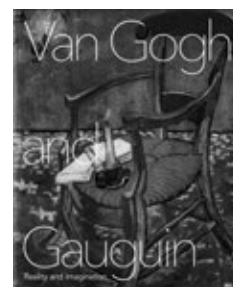
「ゴッホとゴーギャン展」相関図

ファン・ゴッホとゴーギャンの年譜

師という仮面——ポール・ゴーギャン、エミール・ベルナール、フィンセント・ファン・ゴッホが交わした手紙をめぐる ウォウター・ファン・デル・フェーン

ひまわり——ゴーギャンとファン・ゴッホを結ぶ花 ゴーギャンによる〈ひまわり〉の連作（1901年）を中心に 森美樹

出品作品リスト



カタログ・表紙

APMoA Project, ARCHIに関するもの

Ovol. 19 新野洋「日月の江」

・パンフレット

B 4 判 二つ折り 4 ページ（2,000部）

テキスト：中野悠

デザイン：伊藤敦志（AIRS）

撮影：林育正

発行：愛知県美術館



パンフレット・表紙

Ovol. 20 梅津庸一「未遂の花粉」

・パンフレット

B 4 判 二つ折り 4 ページ（2,000部）

テキスト：中村史子「彼方からの花粉」

デザイン：伊藤敦志（AIRS）

撮影：林育正

発行：愛知県美術館



パンフレット・表紙

コレクション展に関するもの

○コレクション展 作品リスト

第1期	展示作品リスト	A 3 二つ折り
第2期	展示作品リスト	
	(日本で洋画、どこまで洋画?含む)	A 3 二つ折り
第3期	展示作品リスト	A 3 二つ折り

○所蔵作品ワークシート

ミュージアムワークシート (高学年以上)
 エドヴァルド・ムンク
 《イブセン『幽霊』からの一場面》
 A 4 三つ折り



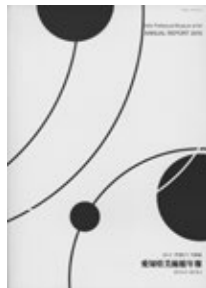
ワークシート

○研究紀要・年報

愛知県美術館研究紀要第23号 B 5 判64頁
 愛知県美術館年報第24号 A 4 判66頁



研究紀要・表紙



年報・表紙

木村定三コレクションに関するもの

○研究紀要

愛知県美術館研究紀要第23号
 木村定三コレクション編
 B 5 判132頁



研究紀要・表紙

講演会・シンポジウム・展示説明会・関連イベント等 企画展に関するもの

○黄金伝説展

・記念講演会

日 時：2016年4月16日(土) 午後1時30分～3時
 参加者170人
 会 場：アートスペースA (愛知芸術文化センター12階)
 講 師：飯塚隆 (国立西洋美術館研究員)
 演 題：「古代美術の競演」

・スライドトーク (学芸員による展示説明会)

日 時：2016年4月15日(金) 参加者60人

4月23日(土) 参加者60人

5月7日(土) 参加者60人

5月15日(日) 参加者60人

会 場：アートスペースEF (愛知芸術文化センター12階)

講 師：藤島美菜 (愛知県美術館主任学芸員)

・友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2016年4月14日(木)
 午前10時30分～11時30分 参加者27人
 午後5時30分～7時 参加者31人

会 場：アートスペースEF

担 当：藤島美菜

・先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2016年4月23日(土) 午後1時30分～2時
 参加者43人

会 場：アートスペースEF

担 当：藤島美菜

○ゴッホとゴーギャン展

・記念講演会①

日 時：2017年1月22日(日) 午後1時30分～3時30分
 参加者147人

会 場：アートスペースA

講 師：小泉順也 (一橋大学大学院准教授)

演 題：「ゴッホとゴーギャン：イメージの反復と転用」

・記念講演会②

日 時：2017年2月19日(日) 午後1時30分～3時30分
 参加者184人

会 場：アートスペースA

講 師：森村泰昌 (美術家)

演 題：「ゴッホとゴーギャン、どちらが好きか」

・スライドトーク (学芸員による展示説明会)

日 時：2017年1月20日(金) 参加者42人
 1月29日(日) 参加者94人
 2月4日(土) 参加者75人
 2月11日(土・祝) 参加者98人
 2月23日(木) 参加者115人
 3月5日(日) 参加者65人

会 場：アートスペースA

講 師：森美樹 (愛知県美術館主任学芸員)

・友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2017年1月12日（木）
午前10時30分～11時30分 参加者21人
午後5時30分～7時 参加者49人
会 場：アトスペースEF
担 当：森美樹

・先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2017年2月18日（土）午後1時30分～2時 参加者53人
会 場：アトスペースA
担 当：森美樹

・友の会会員のための特別鑑賞会

日 時：2016年11月24日（木）
午前10時30分～11時30分 参加者14人
午後5時30分～7時 参加者25人
会 場：展示室1-3、アトスペースEF
担 当：平瀬礼太

・先生方との鑑賞学習交流会

日 時：2016年11月19日（土）午後1時30分～2時 参加者32人
会 場：展示室1-3
担 当：平瀬礼太

コレクション展に関するもの

○日本で洋画、どこまで洋画？

・ギャラリートーク（学芸員による展示説明会）

日 時：2016年12月3日（土）午前11時～11時40分 参加者17人
12月9日（金）午後6時30分～7時10分
参加者20人
12月17日（土）午前11時～11時40分 参加者20人
会 場：展示室1-3
担 当：平瀬礼太（愛知県美術館主任学芸員）

・べちゃくちゃ夜話会

日 時：2016年11月25日（金）午後6時30分～7時 参加者15人
12月2日（金）午後6時30分～7時 参加者21人
会 場：展示室1-3
担 当：久保田有寿（愛知県美術館学芸員）



日本で洋画、どこまで洋画？ べちゃくちゃ夜話会

・ダンスパフォーマンス「螺旋」

日 時：2016年12月10日（土）午後1時30分～1時50分
参加者50人
午後4時～4時20分 参加者61人
会 場：展示室1-3
出 演：高橋創（日本舞踊家）・玉川智美（バレエダンサー）

○展示説明会（コレクショントーク）

日 時：2017年2月24日（金）午後6時～6時40分 参加者30人
会 場：前室1
演 題：「彫刻家が語る／彫刻家を語る」
講 師：棚田康司（彫刻家）
聞き手：石崎尚（愛知県美術館学芸員）

APMoA Project, ARCHに関するもの

○アーティストトーク（作家による展示説明会）

日 時：2016年11月20日（日）午後1時30分～3時 参加者18人
会 場：アトスペースEF
作 家：新野洋
司会進行：中野悠（愛知県美術館学芸員）

日 時：2017年3月5日（日）午後1時30分～3時 参加者40人
会 場：アトスペースEF
作 家：梅津庸一
司会進行：中村史子（愛知県美術館学芸員）

○シンポジウム

「前衛、近代、コミュニティの再設定」
日 時：2017年3月4日（土）午後1時～5時 参加者80人
会 場：アトスペースEF
登壇者：梅津庸一、黒瀬陽平、土屋誠一、筒井宏樹、中村史子、
松浦寿夫
主 催：「前衛、近代、コミュニティの再設定」実行委員会
共 催：愛知県美術館

各種教育プログラム

教員研修に関するもの

○先生方との鑑賞学習交流会

(1) 2016年4月23日(土) 参加者43人

「黄金伝説展」解説 藤島美菜

「展示室での鑑賞学習実践」研修 藤島美菜、鑑賞学習ワーキンググループ教員

(2) 2016年11月19日(土) 参加者32人

「日本で洋画、どこまで洋画？」解説 平瀬礼太

「展示室での鑑賞学習実践」研修 藤島美菜、鑑賞学習ワーキンググループ教員

(3) 2017年2月18日(土) 参加者53人

「ゴッホとゴーギャン展」解説 森美樹

「未就学児プログラム 小学校との連携」発表 藤田雅也(静岡県立大学短期大学部准教授)

時 間：各日午後1時30分～2時45分

会 場：アートスペースEF(1)(2)、アートスペースA(3)

○鑑賞学習ワーキンググループ

(1) 2016年4月9日(土)「第1回鑑賞学習交流会の研修計画」
参加者10人

(2) 2016年4月23日(土)「上半期研修計画」 参加者14人

(3) 2016年11月19日(土)「第3回研修計画」 参加者14人

(4) 2017年2月18日(土)「次年度計画」 参加者15人

時 間：各日午後3時～4時30分

会 場：アートスペースEF(1)(2)(3)、アートスペースA(4)

担 当：藤島美菜

一般対象に関するもの

○愛知県美術館学芸員によるリレートーク

日 時：2016年5月29日(日) 午後1時30分～5時

参加者延べ120人

会 場：アートスペースA

演題・講師：

「コレクション再考—美術館の現場から」

島敦彦(愛知県美術館館長)

「作品をまもる、伝える—美術館における保存・修復」

栗名彩香(愛知県美術館学芸員)

「愛知のアーティスト・ラン・スペース」

石崎尚

「藤井達吉とその周辺—愛知県美術館所蔵の作品・資料から」

中野悠

「パブロ・ピカソの《ゲルニカ》再考」

久保田有寿

「モーリス・ルイスの《デルタ・ミュー》再考」

塩津青夏(愛知県美術館学芸員)

日 時：2016年11月23日(水・祝) 午後1時30分～3時

参加者延べ50人

会 場：展示室1-8

演題・講師：

「日本で洋画、どこまで洋画？」

平瀬礼太

「大沢鉦一郎と宮脇晴」

深山孝彰(愛知県美術館美術課長)

「新野洋『日月の江(じつげつのかわ)』」

中野悠

「うえからながめる」

副田一穂(愛知県美術館学芸員)

「熊谷守一：洋画と日本画」

久保田有寿

日 時：2017年3月17日(金) 午後5時～7時10分

参加者延べ55人

会 場：アートスペースEF

演題・講師：

「新収蔵のムンク作品について」

深山孝彰

「戦争画は終戦を迎えたのか？さて、戦争画は戦中から戦後にかけてどこをさまよい、そしてその間に何が起きていたのだろうか—」

平瀬礼太

「1950年代パリを生きた画家 田淵安一について」

久保田有寿

「1980年代小考」

島敦彦

○出前講座(県政お届け講座)

日 時：2016年7月12日(火) 午前10時～11時45分 参加者76人

場 所：尾張旭市中央公民館

尾張旭市高齢者教室(長寿学園)

演 題：「美術の楽しみ方、美術館の活用法」

講 師：古田浩俊(愛知県美術館副館長)

幼児、児童、生徒対象に関するもの

○幼児向けプログラム

「いろとかたちであそぼう これはようが？いろとかたちで
〇〇がおつくっちゃおう！」

日 時：2016年12月11日（日）午後2時～4時 参加者22人
担 当：藤島美菜、藤田雅也（静岡県立大学短期大学部准教授）、水谷誠孝（名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科講師）、西村志磨（修文大学短期大学部保育科准教授）、岡島叔子（名古屋経済大学短期大学部保育科特任教授）、中山知恵子（常滑市三和小学校教諭）、学生11人



○子ども鑑賞会

・小学生向けプログラム

「ウォッチ・キャッチ・かたち」

日 時：2017年1月21日（土）
午前10時30分～正午 参加者7人（小学生）
午後2時～3時30分 参加者13人（小学生）
担 当：藤島美菜、鑑賞学習ワーキンググループ小学校教員3人・大学教員1人・元教員1人



・中学生向けプログラム

「おかしな絵をつくってみよう（キュビズムの世界体験）」

日 時：2017年1月21日（土）
午前10時30分～正午 参加者5人（中学生）
午後2時～3時30分 参加者7人（中学生）
担 当：藤島美菜、鑑賞学習ワーキンググループ中学校教員3人・高校教員2人



・高校生向けプログラム

「極薄の深さ 高校生ワークショップ」

日 時：2017年1月28日（土）
午前10時～午後3時40分 参加者27人（高校生）
担 当：藤島美菜、鑑賞学習ワーキンググループ高校教員5人、学生アシスタント3人



○視覚に障がいのある人を対象としたもの

・視覚に障がいのある方への鑑賞プログラム

「あいちトリエンナーレ2016 視覚に障がいのある方との鑑賞会」

日 時：2016年9月29日（木）
午後1時30分～3時30分 参加者5人
2016年10月1日（土）
午前10時30分～午後12時30分 参加者10人



「ゴッホとゴーギャン展 視覚に障がいのある方との鑑賞会」
 日 時：2017年1月18日（水）
 午前10時30分～午後12時30分 参加者7人

協 力：「アートな美」(ガイドボランティアグループ)16人、
 「六点会」(点訳ボランティアグループ)4人
 担 当：深山孝彰、藤島美菜、あいちトリエンナーレ事務局
 スタッフ(9月29日、10月1日)

各種団体による鑑賞への対応

	小	中	高	大	専門	養護	一般	合計
総人数	386	859	653	177	53	0	974	3,102
総件数	8	36	9	4	1	0	31	89
学芸対応件数	1	1	1	1	0	0	2	6
学芸対応人数	45	20	160	33	0	0	36	294

博物館実習生の受け入れ

2016年度は、あいちトリエンナーレ2016の開催年のため博物館学芸員資格課程の取得に係る実習は実施しなかった。

学生アシスタントの受け入れ

教育普及事業の補助を中心とした実務の研修を行い、下記大学から学生を受け入れた。

名古屋経済大学短期大学部、名古屋学芸大学、名古屋女子大学短期大学部 計11人

美術館友の会との協力

○友の会会員のための特別鑑賞会

昼の部：午前10時30分～11時30分
 夜の部：午後5時30分～7時

黄金伝説展

2016年4月14日（木）
 昼の部：藤島美菜 参加者27人
 夜の部：藤島美菜 参加者31人

あいちトリエンナーレ2016

2016年8月30日（木）
 午前10時30分～11時30分：拝戸雅彦（トリエンナーレチーフ
 キュレーター） 参加者48人
 午後1時～2時：石崎尚 参加者38人
 午後6～7時：副田一穂 参加者32人

日本で洋画、どこまで洋画？

2016年11月24日（木）
 昼の部：平瀬礼太 参加者14人
 夜の部：平瀬礼太 参加者25人

ゴッホとゴーギャン展

2017年1月12日（木）
 昼の部：森美樹 参加者21人
 夜の部：森美樹 参加者49人

○アートカフェ

APMoA Project, ARCH Vol. 19 新野洋「日月の江」
 2016年11月20日（日）午後4時～5時 参加者13人
 新野洋（作家）、中野悠

APMoA Project, ARCH Vol. 20 梅津庸一「未遂の花粉」
 2017年3月5日（日）午後4時～5時 参加者9人
 梅津庸一（作家）、中村史子

○講演、講座

・友の会講座

日 時：2016年11月12日（土）午後1時30分～3時 参加者32人
 会 場：アートスペースEF
 講 師：仲野泰裕(陶磁文化研究家 元愛知県陶磁美術館副館長)
 演 題：「木村定三コレクションの全容を探る分野別調査研究
 『陶磁資料を中心として』」

日 時：2017年1月27日（金）午前10時30分～午後0時45分
 参加者58人

会 場：アートスペースEF
 講 師：小林英樹（愛知県立芸術大学名誉教授・画家）
 演 題：「ゴッホとゴーギャン『二人が後世の画家に遺したもの』」

日 時：2017年2月25日（土）午後1時30分～3時 参加者48人
 会 場：アートスペースEF
 講 師：伊藤大輔（名古屋大学大学院文学研究科教授）
 演 題：「風流の精神と日本の絵巻物—院政期を中心に『第一回 鳥獣戯画』」

日 時：2017年3月11日（土）午後1時30分～3時 参加者49人
 会 場：アートスペースEF
 講 師：伊藤大輔（名古屋大学大学院文学研究科教授）
 演 題：「第二回 伴大納言絵詞・信貴山縁起絵巻」

○会報『空中回廊』の発行

2016年9月43号：「日本で洋画、どこまで洋画？」展紹介、
一泊ツアーほかツアー特集等

2017年3月44号：フィンランド・デザイン展紹介、懇親日帰り
バスツアー特集等



43号



44号

○所蔵品管理サポート

保存関係	第2・第4水曜日活動	年間22回
藤井達吉読み下し	第1・第3水曜日活動	年間22回

○美術館モニターサポート

会場アンケート集計作業（年2回）

2016年8月16日（火）黄金伝説展

2017年4月11日（火）ゴッホとゴーギャン展

所蔵作品に関すること

○深山孝彰

- ・「エドヴァルド・ムンク《イブセン『幽霊』からの一場面》」『空中回廊』第43号、2016年10月
- ・（ギャラリートーク）「大沢鉦一郎と宮脇晴」『第三回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知県美術館展示室4、2016年11月23日
- ・（講演）「新収蔵のムンク作品について」『第四回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2017年3月17日
- ・（編集）「木村定三コレクション『尾張の近世画家作品』調査報告目録」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第23号、2017年3月

○長屋菜津子

- ・（編集）『愛知県美術館研究紀要』第23号、2017年3月
- ・（編集）『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第23号、2017年3月

○平瀬礼太

- ・（ギャラリートーク）「日本で洋画、どこまで洋画？」『第三回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知県美術館展示室1-3、2016年11月23日
- ・「章解説」「テーマ解説」「作品解説」『日本で洋画、どこまで洋画？コレクション企画——高橋由一から現代作家まで——』展、2016年11月

○石崎尚

- ・「絵と書の両方から迫る熊谷守一」『FORUM PRESS』公益財団法人かすがい市民文化財団、2017年2月
- ・（コレクショントーク）棚田康司、石崎尚「彫刻家が語る／彫刻家を語る」愛知県美術館展示室、2017年2月24日
- ・（講演）「コレクター木村定三と熊谷守一の交流」香雪美術館、2017年3月19日
- ・「愛知における木村定三と熊谷守一のネットワーク」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第23号、2017年3月
- ・（共編）「木村定三と熊谷守一をめぐる往復書簡（翻刻）」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第23号、2017年3月

○副田一穂

- ・（ギャラリートーク）「うえからながめる」『第三回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知県美術館展示室7、2016年11月23日

- ・「阿部展也（芳文）と『みちしるべ』：日本占領下のフィリピンにおける画家の活動の一断片」『愛知県美術館研究紀要』第23号、2017年3月

○塩津青夏

- ・（講演）「モーリス・ルイス《デルタ・ミュー》再考」『第二回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2016年5月29日

○中野悠

- ・（講演）「藤井達吉とその周辺——愛知県美術館所蔵藤井達吉コレクションより」『第二回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2016年5月29日

○久保田有寿

- ・（講演）「パブロ・ピカソの《ゲルニカ》再考」『第二回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2016年5月29日
- ・（ギャラリートーク）「熊谷守一：洋画と日本画」『第三回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知県美術館展示室8、2016年11月23日
- ・「章解説」「作品解説」『日本で洋画、どこまで洋画？コレクション企画——高橋由一から現代画家まで——』展、2016年11月
- ・（講演）「1950年代パリを生きた画家 田淵安一について」『第四回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2017年3月17日
- ・「田淵安一 1951-1961 同時代資料に見る評価の軌跡」『愛知県美術館研究紀要』第23号、2017年3月
- ・（編集）「木村定三コレクション『尾張の近世画家作品』調査報告目録」『愛知県美術館研究紀要 木村定三コレクション編』第23号、2017年3月
- ・「フェルナン・レジェ《緑の背景のコンポジション（葉のあるコンポジション）》」『空中回廊』第44号、2017年3月

展覧会等に関すること

○森美樹

- ・「ひまわり——ゴーギャンとファン・ゴッホを結ぶ花 ゴーギャンによる〈ひまわり〉の連作（1901年）を中心に」「ゴッホとゴーギャン アルルでの共同生活の記録」「ゴーギャンとファン・ゴッホの『再会』——1893年、コペンハーゲン」「作品解説」「『ゴッホとゴーギャン展』相關図」「ファン・ゴッホとゴーギャンの年譜」「ゴッホとゴーギャン展」図録、2016年10月

○中村史子

- ・「作家解説」『フィンランド・デザイン展』図録、日本経済新聞社、2017年1月
- ・「彼方からの花粉」『APMoA Project, ARCH vol. 20 梅津庸一 未遂の花粉』パンフレット、2017年2月

○塩津青夏

- ・「作品解説」『ゴッホとゴーギャン展』図録、2016年10月
- ・「章解説」「作品解説」『「東の間の美術館」とオールドマスター 展覧会史の外観』『大エルミタージュ美術館展 オールドマスター 西洋絵画の巨匠たち』図録、2017年3月

○中野悠

- ・「作品解説」『ゴッホとゴーギャン展』図録、2016年10月
- ・（ギャラリートーク）「新野洋『日月の江』」『第三回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知県美術館展示室6、2016年11月23日
- ・『APMoA Project, ARCH vol. 19 新野洋 日月の江』パンフレット、2016年12月

教育普及に関すること

○藤島美菜

- ・（研修会）「愛知県総合教育センター10年目経験者研修」愛知芸術文化センター、2016年8月18日
- ・「『さわるアートブック』制作の課題と展望」『ひとが優しい博物館』青弓社、2016年8月
- ・「ミュージアムワークシート エドヴァルド・ムンク《イブセン『幽霊』からの一場面》」2017年3月

○石崎尚

- ・（講演）「ワークからプレイへ——美術館の寛容さのために」『全国美術館会議第48回教育普及研究部会』名古屋市美術館、2016年9月5日

作品の保存等に関すること

○長屋菜津子

- ・「施設と環境に応じた施設管理」『第6回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会テキスト』文化財虫菌害研究所、2016年11月
- ・（講演）「施設と環境に応じた施設管理」『（文化財虫菌害研究所主催）第6回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会』九州国立博物館、2016年12月14日

○桑名彩香

- ・（講演）「作品をまもる、つたえる——美術館における保存・修復」『第二回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2016年5月29日

映像事業に関すること

○越後谷卓司

- ・（トークイベント）萩原朔美、越後谷卓司「アートフィルム 上映：ちかの名作劇場」青森県立美術館、2016年7月30日

あいちトリエンナーレに関すること

○島敦彦

- ・（シンポジウム）加治屋健司、庄司達、高橋綾子、島敦彦「言葉の記録 日本現代美術のオーラル・ヒストリー——80年代後半から90年代前半の名古屋のアートシーンをめぐって——」『あいちトリエンナーレ2016 レクチャープログラム』名古屋市美術館2階講堂、2016年8月21日

○深山孝彰・藤島美菜

- ・（企画・実施）「あいちトリエンナーレ2016 視覚に障がいのある方との鑑賞会」愛知芸術文化センター8階・10階、2016年9月29日、10月1日

○越後谷卓司

- ・（トークイベント）安井喜雄、越後谷卓司「発掘の旅」『あいちトリエンナーレ2016 映像プログラム』愛知芸術文化センター、2016年8月31日
- ・（講演）「べちゃくちゃないと名古屋Vol. 27あいちトリエンナーレスペシャル」名古屋テレビ塔3階、2016年9月22日
- ・「映画と旅の思索的逍遥」「映像プログラム作品解説」『あいちトリエンナーレ2016 虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅』2016年10月

○石崎尚

- ・（トークイベント）聞き手：石崎尚「アーティストトーク」名古屋市美術館、2016年8月11日
- ・（トークイベント）「ベビーカーツアー」名古屋市美術館、2016年8月27日
- ・（ディスカッション）吉澤弥生、石崎尚「芸術祭における人材育成と雇用を考える」『あいちトリエンナーレ2016エデュケーションプログラム』愛知芸術文化センター8階プラットフォーム、2016年9月2日

○中村史子

- ・（トークイベント）大竹敏之、中村史子「浅野祥雲——B級と美術・文化のはざままで——」愛知芸術文化センター、2016年9月10日
- ・（トークイベント）聞き手：中村史子「アーティストトーク：クララ・ドゥブランク」愛知芸術文化センター、2016年9月18日
- ・（トークイベント）聞き手：中村史子「アーティストトーク：中村裕太」愛知芸術文化センター、2016年9月18日
- ・（トークイベント）「ベビーカーツアー」愛知県美術館、2016年10月15日

○副田一穂

- ・（企画・実施）山中麻美「美術の世界へようこそ！歴史を旅するボードゲームで遊ぶ」愛知芸術文化センター、2016年9月3日
- ・（企画・実施）伊藤啓太「展示照明のワークショップ」愛知芸術文化センター、2016年9月11日
- ・（トークイベント）小松英彦、副田一穂「なぜものがそう見えるのか？視知覚のメカニズム」愛知芸術文化センター、2016年9月17日
- ・（企画・実施）松永伸司「ゲームの何を保存する？ゲームのアーカイブと芸術の哲学」愛知芸術文化センター、2016年10月15日
- ・「鳥の歌：メッセンジャーの系譜学」「異郷にて：西江雅之が歩いた世界」『あいちトリエンナーレ2016 虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅』2016年10月

その他

○島敦彦

- ・（講演）「コレクション再考——美術館の現場から」『第二回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2016年5月29日
- ・（講演）「美術の楽しみ」『愛知県美術館・愛知県陶磁美術館2016年度移動美術館』安祥公民館大会議室、2016年6月11日
- ・（インタビュー）聞き手：島敦彦「ARTIST INTERVIEW 折元立身」『美術手帖』2016年7月号
- ・（トークイベント）O JUN、吉開菜央（聞き手：島敦彦）「O JUN、吉開菜央によるアーティストトーク」Minatomachi POTLUCK BUILDING 1F、2016年7月9日
- ・（トークイベント）馬場駿吉、島敦彦「瀧口修造とデカルコマニーについて」『瀧口修造展』SHUMOKU GALLERY、2016年7月10日
- ・「昨日読んだ文庫」『毎日新聞』2016年8月28日

- ・（トークイベント）港千尋、島敦彦「アートを読む」愛知県図書館5階大会議室、2016年9月3日
- ・（シンポジウム）服部浩之、村田真宏、島敦彦（進行：田中由紀子）「あいちから世界へ——今何を発信すべきか——」名古屋コンテンポラリーアートマップ参加ギャラリー、名古屋市民ギャラリー矢田、2016年10月9日
- ・「特集 芸術と摩擦」「大浦信行に会った頃」「2015～2016 私のこの3点」『美術評論家連盟会報ウェブ版』第6号、2016年11月
- ・「第9回絹谷幸二賞選評」『毎日新聞』、2017年3月3日
- ・（シンポジウム）「VOCA展——過去・現在・未来——」本江邦夫、島敦彦、光田由里、柳沢秀行（司会：建畠哲）『VOCA展2017 現代美術の展望——新しい平面の作家たち』上野の森美術館、2017年3月10日
- ・（講演）「1980年代小考」『第四回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2017年3月17日
- ・「発想は贅沢？」『VOCA展2017 現代美術の展望——新しい平面の作家たち』図録、VOCA展実行委員会・上野の森美術館、2017年3月

○長屋菜津子

- ・（講演）「Museum Conservatorとは何か」葵の会講演会、2017年1月23日

○越後谷卓司

- ・「撮ることと、それを拒むこと 土方宏史『ヤクザと憲法』」『芸術批評誌REAR』37号、2016年6月
- ・「松本俊夫著作集成刊行に寄せて」『朝日新聞』2016年6月22日
- ・「渦巻き、あるいは螺旋について」『若杉しのぶ展』極小美術館、2016年7月
- ・「モダニズムの臨界点と、その先へ アメリカ実験映画の史的考察」『アメリカン・アヴァンギャルド・ムーヴィー』森話社、2016年11月
- ・（講演）「ポートフォリオミーティング（メディア・パフォーマンス系）」アートラボあいち大津橋、2017年1月21日

○平瀬礼太

- ・（講演）「こいつが敵だ！冒涇のイメージ」志賀直哉旧居、2016年9月19日
- ・「それでも《四つの風》は吹く」『北海道新聞』2016年10月19日
- ・（発表）「戦争美術の戦後」立教大学学芸員課程共同研究会『ミュージアム——歴史をかたる権利と権力』2016年11月26日
- ・（トークイベント）小田原のどか、平瀬礼太「戦争・彫刻・京都」MEDIA SHOP Gallery、2017年3月10日
- ・（講演）「戦争画は終戦を迎えたのか？さて、戦争画は戦中から戦後にかけてどこをさまよい、そしてその間に何が起きて

いたのだろうか——。』『第四回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2017年3月17日

- ・「戦後の肉体——彫刻、マネキン、額縁ショウ」『りずむ』6号、2017年3月

○石崎尚

- ・（講演）「愛知のアーティスト・ラン・スペース」『第二回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2016年5月29日

○中村史子

- ・「記録：オープン・ディスカッション『表現と倫理の現在』」HAPS PRESS、2016年5月6日、(http://haps-kyoto.com/haps-press/fn_03252016/fnakamura_report/2/)
- ・「長島有里枝展レビュー 家庭の中の表現者」『美術手帖』6月号、2016年5月
- ・「アート、地域、プロジェクト それを評するのは誰か」『芸術批評誌REAR』37号、2016年6月
- ・（対談）服部浩之、中村史子「地域美学スタディ vol. 2 地域とアートに関係性は必要か？」Minatomachi POTLUCK BUILDING、2016年7月1日
- ・（講演）「美術評論家連盟2016年度シンポジウム 美術と表現の自由」東京都美術館、2016年7月24日
- ・「古部史人展レビュー 古代への憧憬の先に」『美術手帖』8月号、2016年7月
- ・（インタビュー）聞き手：中村史子「ARTIST INTERVIEW 長島有里枝」『美術手帖』10月号、2016年9月
- ・「あなたの知らないニューカマー・アーティスト」『美術手帖』12月号、2016年11月
- ・（講演）「シンポジウム2：「アーカイヴ」再考 - 現代美術と美術館の新たな動向」国立新美術館、2017年1月28日
- ・（トークイベント）有馬かおる、梅津庸一、佐藤克久 聞き手：中村史子「トークシリーズ 絵画の夕べ、危機／不定形」Minatomachi POTLUCK BUILDING、2017年2月24日
- ・（講演）「シンポジウム 前衛、近代、コミュニティの再設定」愛知芸術文化センター、2017年3月4日
- ・「パート・タイム・スーツ レビュー 熱をおびたバラード」『美術手帖』4月号、2017年3月
- ・「その場所らしさを超えて」『アッセンブリッジ・ナゴヤ2016 現代美術展レビュー』アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会、2017年3月

○副田一穂

- ・「REVIEW：スペインの彫刻家 フリオ・ゴンサレス展」『芸術批評誌REAR』37号、2016年6月
- ・「台風、その後：あの時みんな熱かった！アンフォルメルと

日本の美術」『美術手帖』68号、2016年9月

- ・（トークイベント）「場所の目録」展アーティストトーク、2016年9月22日
- ・「REVIEW：LIFE IS BEAUTIFUL」『芸術批評誌REAR』38号、2016年11月
- ・「脱出孔からの展望（パースペクティブ）」狩野哲郎「a tree as a city」展配布資料、2017年1月
- ・「川角岳大」『VOCA展2017：現代美術の展望：新しい平面の作家たち』2017年3月
- ・（企画協力）中村裕太「タイル植物園：熱帯植物の観察術」名古屋市東山植物園温室後館、2017年3月

○中野悠

- ・「片岡球子の海外体験——初渡欧時のスケッチ・資料から」『片岡球子のスケッチ——知られざる創造のあゆみ』北海道立旭川美術館、2016年4月
- ・「REVIEW：藤田嗣治展——東と西を結ぶ絵画——」『芸術批評誌REAR』38号、2016年11月

○久保田有寿

- ・（講演）「パブロ・ピカソの《ゲルニカ》再考」『第二回愛知県美術館学芸員によるリレートーク』愛知芸術文化センター、2016年5月29日
- ・「《ゲルニカ》をめぐる言説と受容史研究——ニューヨーク近代美術館のシンポジウム（1947）を中心に——」『鹿島美術研究 年報』第33冊別冊、2016年11月

防災（2016（平成28）年度）

1 館内の体制

（1）防災担当

2013年度より、従来の正担当1名、副担当2名という体制から、来館者等の「人」に対する正担当1名及び副担当1名、作品等の「物」に対する正担当1名と、担当内容を区分し明確化している。

（2）内容とその方法

a 「人」に対する防災体制

当館の防災訓練を行う際に度々問題となってきたのが、土日勤務シフトで手薄になる人員、そして8階ギャラリーの避難誘導計画である。そのため2016年度はこれらを重ね合わせる形で、8階ラウンジに展示中の作品から火災が発生した、という状況を想定したシミュレーションミーティングおよびブライントレーニングを実施した。またこれとは別にテロ予告を想定したシミュレーションミーティングも行った。最終的にその反省や知見を盛り込んだ形で「愛知県美術館災害時初動活動実施要領」の改訂を行った。

b 「物」に対する防災体制

急務である「人」に対する防災体制への取り組みを優先し、「物」に対する防災体制への取り組みは次年度以降の課題とした。

2 愛知芸術文化センターの防災体制

（1）愛知芸術文化センター防災会議

2014年度より、美術館を除くセンターの大部分が指定管理者制度を導入した。前年度に引き続き、管理部と指定管理者である愛知県文化振興事業団との防災に関する会議を行った。

（2）防災訓練

防災訓練については前年同様に、劇場部門と美術館とがそれぞれ年に1回ずつシナリオを設定し、計2回開催された。美術館が担当したシナリオでは、8階ラウンジで火災が発生し、初期消火に失敗したという設定で、来館者の避難誘導の訓練を行った。

3 愛知県の危機管理体制

2012年度以降、「愛知県の文化財に対する危機管理体制」の問題が指摘されてきた。そこで2016年度は、文化財防災ネットワークが全国を6ブロックに分けた内、愛知県が含まれるブロックを統括する奈良国立博物館の担当者に防災訓練に参加して頂き、今後の円滑なネットワーク構築のための意見交換等を行

った。

4 その他

（1）全国美術館会議東海ブロック本部館としての活動

2011年度から引き続き、2016年度も全国美術館会議の「大災害時における連絡網実施要領」に基づく東海ブロック内での連絡訓練を、同ブロック本部館である当館が中心になって3月11日に実施した。

（2）愛知県博物館協会としての活動

2011年度以降、被災時に愛知県博物館協会として迅速かつ円滑に県内の被災館を救援できるネットワーク作りを進めている。2015年度に「災害発生時における支援活動要領」確定版が承認されたことを受け、2016年度は全加盟館による非常連絡訓練が行われた。

（3）「みんなでまもるミュージアム」事業への協力

2016年度、九州地方の文化財保護・博物館関係者による災害時の危機管理の在り方についての調査・検討を行う「みんなでまもるミュージアム」事業に対する協力者として、視察の受け入れや事例発表を行った。なお、この事業は2014年度文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に採択されたものである。

ギャラリー（貸館）

美術館ギャラリー利用状況(2016年(平成28)年度)

1 展示室利用状況

(単位：日数)

区分 月別	日 利用 可能 数 a	利用 日数 b	利用 率 b / a	展示室別利用日数											
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	審査保管室	
				室	室	室	室	室	室	室	室	室	室	第1	第2
2016年4月	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	19	21
5	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	2	25
6	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	3	14
7	27	27	100.0	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	28	17
8	28	28	100.0	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	31	31
9	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	30	30
10	28	28	100.0	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	30	31
11	26	26	100.0	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	24	28
12	22	22	100.0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	11	24
2017年1月	23	23	100.0	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	7
2	24	24	100.0	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	17	16
3	27	27	100.0	27	20	20	20	27	27	22	22	22	27	7	13
年度計	305	305	100.0											224	257

2 展覧会種別利用状況及び入場者数

区分 月別	展覧会種別利用件数（件）									入場者数 (人)
	総合展	絵画展	彫刻展	工芸展	書道展	デザイン展	写真展	版画展	計	
2016年4月	7	11	3	2	7	0	0	0	30	46,689
5	10	2	1	2	4	0	1	1	21	42,092
6	9	5	0	1	2	0	2	0	19	35,365
7	7	5	0	0	4	0	3	1	20	50,231
8	1	0	0	0	0	0	0	0	1	16,682
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,590
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,926
11	9	6	0	2	4	0	1	0	22	40,498
12	6	2	0	1	1	2	1	0	13	35,179
2017年1月	7	3	0	0	5	0	0	0	15	31,323
2	5	2	0	2	1	1	0	0	11	55,604
3	7	3	0	2	7	0	1	0	20	41,773
年度計	68	39	4	12	35	3	9	2	172	443,952

備考 利用件数は、展覧会の初日が属する月で整理し、入場者数は、当該月で整理してある。

利用団体一覧(2016(平成28)年度)

展示室利用スケジュール(2016(平成28)年4月～2017(平成29)年3月)

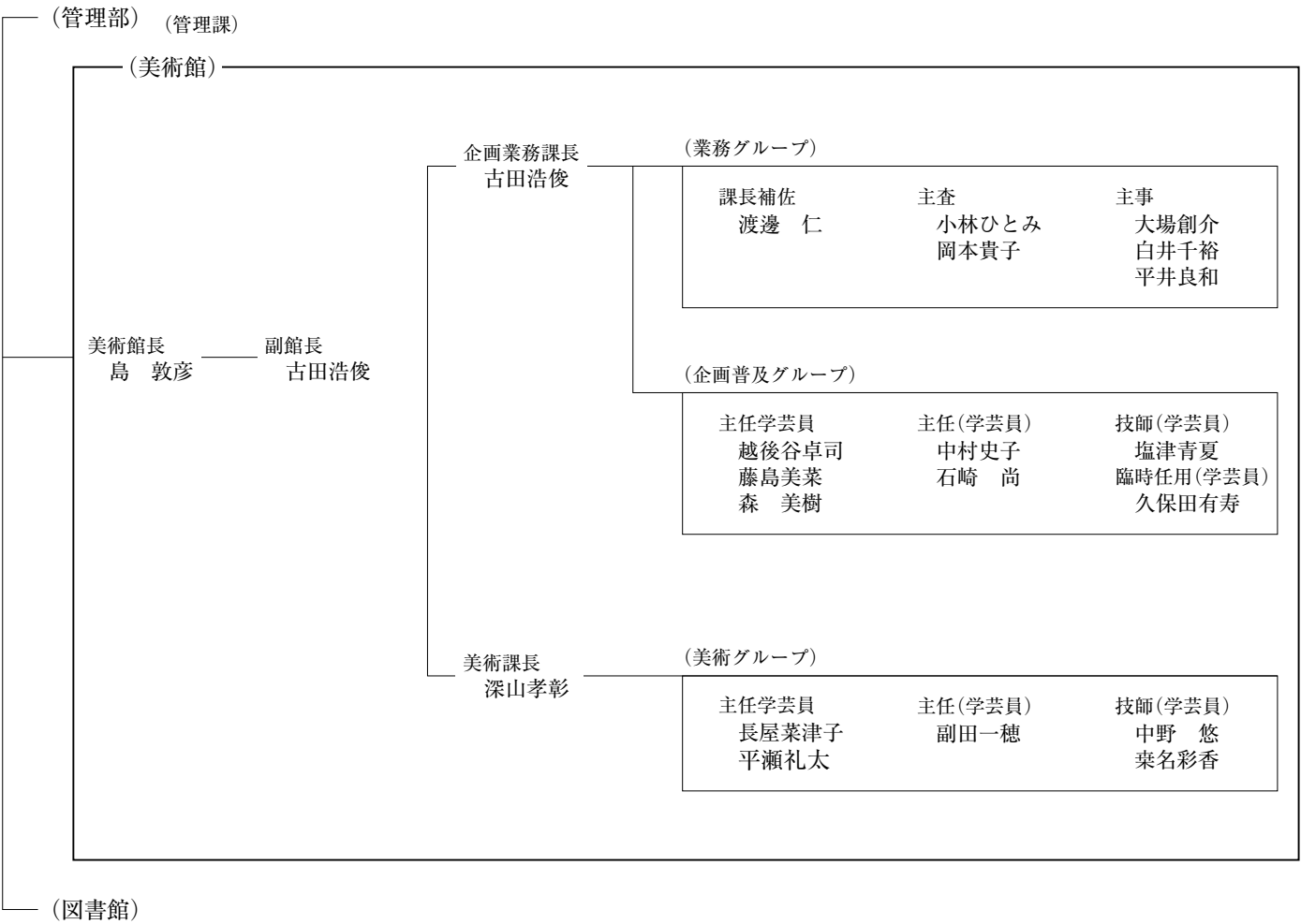
[illegible]

*⑳と表記した展覧会は、平成28年度追加許可分である。

組織および職員構成

1 組織図

2017年3月31日現在



2 愛知県美術館職員名簿

館長	島 敦彦	主任(学芸員)	石崎 尚
副館長兼企画業務課長	古田浩俊	技師(学芸員)	塩津青夏
課長補佐	渡邊 仁	臨時任用(学芸員)	久保田有寿
主査	小林ひとみ	美術課長	深山孝彰
主査	岡本貴子	主任学芸員	長屋菜津子
主事	大場創介	主任学芸員	平瀬礼太
主事	白井千裕	主任(学芸員)	副田一穂
主事	平井良和	技師(学芸員)	中野 悠
主任学芸員	越後谷卓司	技師(学芸員)	栗名彩香
主任学芸員	藤島美菜		
主任学芸員	森 美樹		
主任(学芸員)	中村史子		

関係委員会名簿

愛知県美術館専門委員会委員名簿

2017年 3 月31日

氏 名	所属及び役職
○ 江 本 菜穂子	名古屋造形大学教授
小 林 克 敏	愛知県美術館友の会会長
笹 尾 幸 夫	愛知県立旭丘高等学校長
園 田 直 子	国立民族学博物館文化資源研究センター教授
高 北 幸 矢	清須市はるひ美術館長
丹 羽 康 雄	(公財) 愛知県文化振興事業団愛知県芸術劇場館長
野々川 房 子	日本メナード化粧品(株)常務取締役 (メナード美術館アート・プロデューサー)
◎ 松 村 公 嗣	愛知県立芸術大学長
森 田 尚 人	日本放送協会名古屋放送局広報・事業部長
横 井 政 和	名古屋市美術館長
吉 田 俊 英	美術評論家 (前豊田市美術館長)

◎は委員長、○は委員長代理

(50音順)

美術館専門委員会ギャラリー部会委員名簿

2017年 3 月31日

氏 名	所属及び役職
今 井 瑾 郎	彫刻家
河 原 裕 輝	(公財) 名古屋市文化振興事業団 東文化小劇場館長 市民ギャラリー矢田所長
神 崎 かず子	愛知県陶磁美術館副館長
◎ 高 北 幸 矢	清須市はるひ美術館長
田 宮 由 美	名古屋市博物館総務課長
知 崎 剛 久	(公財) 愛知県文化振興事業団常務理事兼事務局長
山 田 美佐子	稲沢市荻須記念美術館長

◎は部会長

(50音順)

愛知県美術館美術品収集委員会委員名簿

2017年 3 月31日

氏 名	所属及び役職 (専門)
○ 天 野 一 夫	美術評論家 (近・現代美術)
蔵 屋 美 香	東京国立近代美術館企画課長 (近・現代美術)
◎ 田 中 淳	東京文化財研究所客員研究員 (日本近・現代美術)
速 水 豊	三重県立美術館館長 (日本近・現代美術)
村 上 博 哉	国立西洋美術館副館長兼学芸課長 (西洋美術)

◎は委員長、○は委員長代理

(50音順)

愛知県美術館年報2016年度版

編集
発行

2018(平成30)年3月発行

愛知県美術館

愛知県美術館

名古屋市東区東桜1-13-2

〒461-8525

Phone : 052-971-5511

Fax : 052-971-5604

表紙デザイン・本文レイアウト
印刷

共生印刷株式会社

共生印刷株式会社

Annual Report 2016, Aichi Prefectural Museum of Art

Edited by the Aichi Prefectural Museum of Art

Published by the Aichi Prefectural Museum of Art

1-13-2 Higashisakura, Higashiku, Nagoya 461-8525, Japan

Designed and laid out by Kyosei Printing Co., Ltd.

Printed by Kyosei Printing Co., Ltd.

©2018 Aichi Prefectural Museum of Art

Printed in Japan